

レンズ交換式デジタル HD ビデオカメラレコーダー

取扱説明書**Eマウント**

目次

準備する

撮影する

再生する

編集する

メニューで設定を変更する

他機器と接続する

困ったときは

その他

AVCHD
ProgressiveInfoLITHIUM L
SERIESMEMORY STICK™SD
CLASS 4HDMI®
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

NXCAM

使用前に必ずお読みください

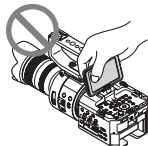
お買い上げいただきありがとうございます。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

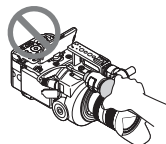
- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。



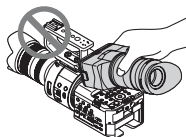
レンズ



液晶モニター



マイクまたは
マイクホルダー



大型LCDビュー
ファインダー

⚠️ ご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(124ページ)。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機をご利用になる場所の規則に従ってお使いください。

液晶モニターについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影・再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶モニターは有効画素99.99%以上の非常に精度の高い技術で作られています。黒い点が見れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



太陽光についてのご注意

- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。ビデオカメラレコーダー内部の部品が故障することがあります。また、太陽光が近くのものに結露すると、火災の原因となります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズフロントキャップを付けてください。
- 液晶モニターやファインダー、レンズを太陽など強い光源に向けしないでください。故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。
- 取り外したレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能ほどの障害をきたすおそれがあります。また故障の原因になります。

本機やバッテリーの温度について

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなる場合があります。この場合は、本機の液晶モニターにメッセージが表示されます(116ページ)。

録画・録音について

- メモリーカードの動作を安定させるためにメモリーカードを本機で初めてお使いになる場合には、まず、本機で初期化することをおすすめします。初期化すると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声乱了る場合、画像や音声などの記録内容および撮影機会の損失に対する補償についてはご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
 - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える(特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合)。
 - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調節することで現象が軽減されます(44ページ)。
 - 連続したフラッシュ光を当てた状態の被写体を撮影すると、画面の上下が分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がります。また、ソフトウェア「Content Browser」で修正可能な場合もありますので、お試しください。

ハイビジョン画質(HD)で記録したDVDについて

- AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレイヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。パソコンで保存するには107ページ、他機で保存するには103ページをご覧ください。
- [FHD] REC FORMAT]で、PSまたはFXの録画モードに設定して撮影した動画は、外付けメディアとブルーレイディスクのみに保存できます(103、105ページ)。


本機で記録した画像をパソコンで扱うには

- ソフトウェア「Content Browser」をダウンロードしてください(108ページ)。

画像が正しく記録・再生されないときは[MEDIA FORMAT]してください

- 長時間、画像の撮影・消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)されて、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[MEDIA FORMAT](78ページ)を行ってください。

本機の方法について

- 本機では、SEL/PUSH EXECダイヤル(27、80ページ)、/EXEC ボタン(80ページ)、タッチパネルで操作が行えます。ただし、メニューの設定など一部の操作はタッチパネルでは行えません。

本書について

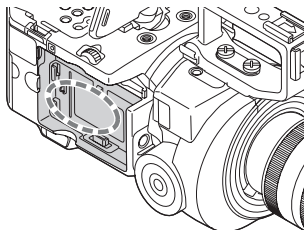
- 本書に記載されていない以下の機能は「取扱説明書(別冊)」をご覧ください。
 - RAW記録対応
 - 電動ズームレンズ対応
 - メモリースティックXC-HG対応
- 本書では、「SEL18200」のレンズとレンズフードを使用して操作の説明をしています。レンズによって操作が違う場合は「ご注意」や「ちょっと一言」に記載してありますので、あわせてご覧ください。

使用前に必ずお読みください(つづき)

- [60i/50i SEL]を変更すると、[HD] REC FORMAT]などで設定できる数値が変わります。本書では、[60i]選択時、[50i]選択時の数値を併記しています。
- 本書では、メモリーカード、フラッシュメモリーユニットを「記録メディア」といいます。
- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外觀は、予告なく変更することがあります。

機種名の表示について

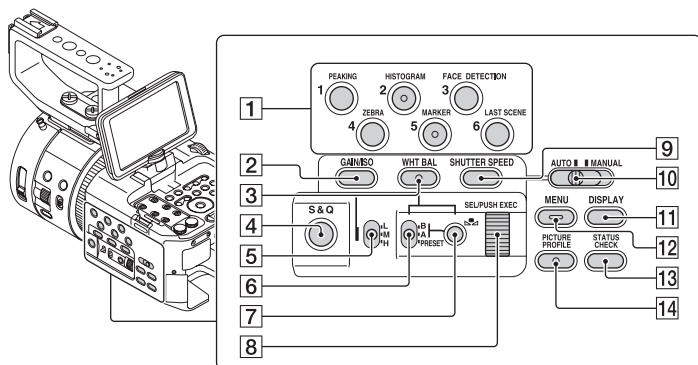
- 機種名は、フラッシュメモリーユニット取り付け面に記載されています(下図の囲み部分)。




各部のなまえ

本体

()内は参照ページです。

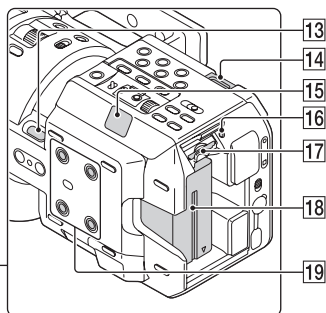
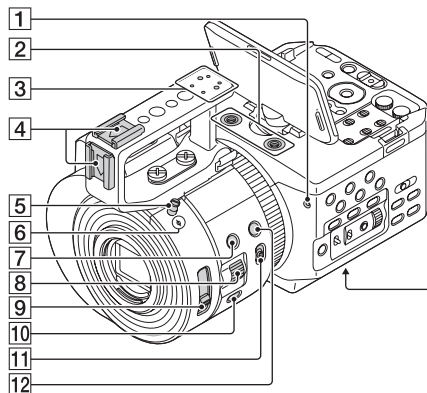


- 1 ASSIGN1/2*/3/4/5*/6ボタン(63)
- 2 GAIN/ISOボタン(43)
- 3 WHT BALボタン*(46)
- 4 S&Q ボタン(48)
- 5 ゲイン／ ISO スイッチ(43)
- 6 ホワイトバランスメモリースイッチ(46)
- 7  (one push) ボタン(46)
- 8 SEL/PUSH EXECダイヤル(27、80)
- 9 SHUTTER SPEEDボタン(44)
- 10 AUTO/MANUALスイッチ(42)
- 11 DISPLAYボタン(69)
- 12 MENUボタン**(27、80)
- 13 STATUS CHECKボタン(70)
- 14 PICTURE PROFILEボタン*(55)

* ASSIGN2ボタン、ASSIGN5ボタン、
PICTURE PROFILEボタン、WHT BALボタ
ンに凸点(突起)が付いています。操作の目印
としてお使いください。

** MENUボタンに凸バー(突起)が付いていま
す。操作の目印としてお使いください。

各部のなまえ(つづき)



1 前部録画ランプ(100)

記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

2 拡張ネジ穴(1/4 インチ)

1/4-20UNCのネジ(長さ5.5mm以下)に対応

3 アクセサリーシュー取り付け部(25)

4 アクセサリーシュー(24)

5 メジャーフック(37)

6 イメージセンサー位置マーク(37)

7 IRIS PUSH AUTOボタン(42)

8 アイリスリング(42)

9 ND FILTERスイッチ(45)

10 IRISボタン(42)

11 FOCUSスイッチ(36)

12 FOCUS HOLD/PUSH AUTOボタン(37)

13 HOLDスイッチ(62)

14 ケーブル留め/ショルダーストラップ取り付け部

15 BATT RELEASEボタン(19)

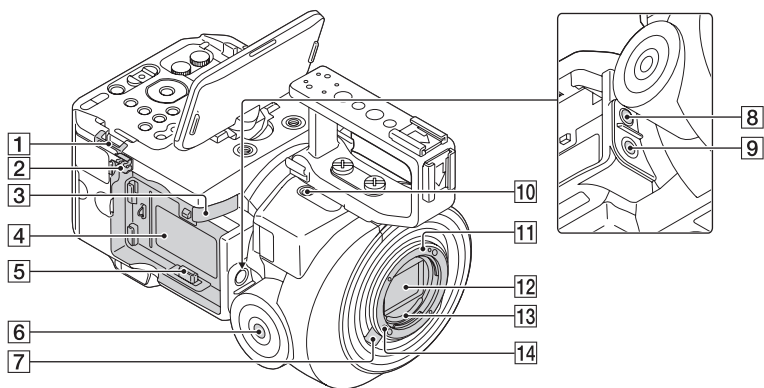
16 アクセスランプ

17 メモリーカード スロット(30)

18 バッテリー(18)

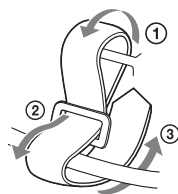
19 三脚用ネジ穴(1/4 インチ)

1/4-20UNCのネジに対応
三脚(別売、ネジの長さ5.5mm以下)を取り付けます。

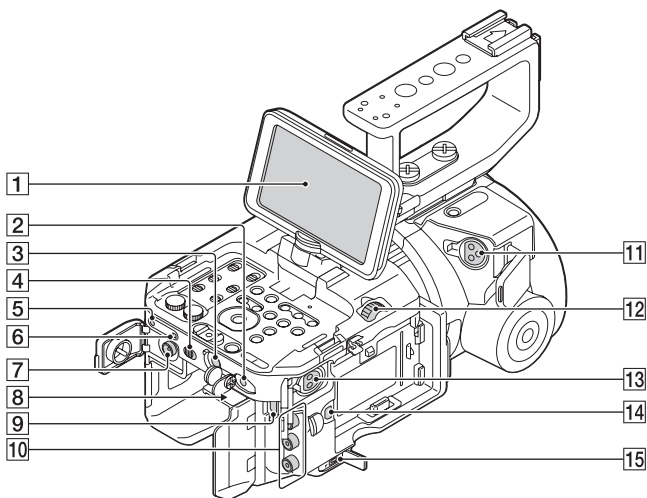


- 1 ケーブル留め/ショルダーストラップ
取り付け部
- 2 ケーブルクランパー
- 3 フラッシュメモリーユニット
RELEASE レバー(31)
- 4 フラッシュメモリーユニット取り付け
部(31)
- 5 フラッシュメモリーユニット端子
- 6 グリップ取り付けネジ穴(26)
- 7 レンズ取り外しボタン(21)
- 8 PHOTO ボタン(32)
- 9 START/STOP ボタン(32)
- 10 MODE ボタン(32)
- 11 マウント(20)
- 12 イメージセンサー
- 13 レンズ信号接点
直接手で触れたり、汚したりしないでくだ
さい。
- 14 レンズロックピン

ケーブル留め(付属)を取り付けるには
ケーブル留め/ショルダーストラップ取
り付け部に図のように取り付けてくださ
い。



各部のなまえ(つづき)



1 液晶モニター・タッチパネル(28)

2 REMOTE 端子

REMOTE端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、再生などをコントロールできるようにした端子です。

3 Ω (ヘッドホン)端子

ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。

4 HEADPHONE MONITOR スイッチ
(54)

5 後部録画ランプ(101)

記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

6 リモコン受光部(101)

7 3G/HD/SD SDI OUT 端子(71)

8 HDMI OUT端子(71)

9 COMPONENT OUT端子(71)

10 VIDEO OUT 端子/AUDIO OUT 端子
(71、106)

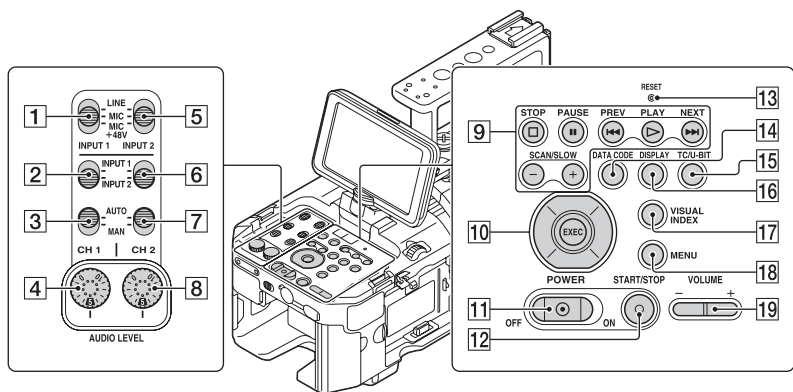
11 INPUT 2端子(25)

12 LCD HOLD(液晶モニター保持)ダイヤル(28)

13 INPUT 1端子

14 Ψ USB端子(103、105、107)

15 DC IN 端子(19)

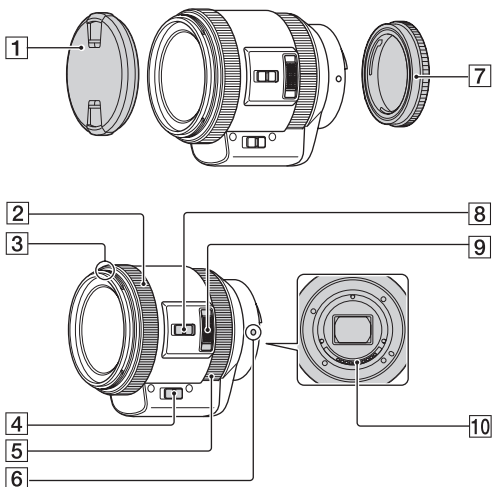


- 1 INPUT 1 スイッチ(52)
- 2 CH 1 (INPUT1/INPUT2)スイッチ (52)
- 3 CH 1 (AUTO/MAN)スイッチ(52)
- 4 AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル(52)
- 5 INPUT 2スイッチ(52)
- 6 CH 2 (INPUT1/INPUT2)スイッチ (52)
- 7 CH 2(AUTO/MAN)スイッチ(52)
- 8 AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル(52)
- 9 再生操作ボタン(STOP/PAUSE/ PREV/PLAY*/NEXT/SCAN/SLOW) (65)
- 10 ▲/▼/◀/▶/EXEC ボタン(80)
- 11 POWERスイッチ(27)
- 12 START/STOP ボタン(32)
- 13 RESET ボタン
RESETボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。ただし、ピクチャープロフィールで設定した内容は解除されません。
- 14 DATA CODEボタン(69)
- 15 TC/U-BIT ボタン
液晶モニターのタイムコード、ユーザービット表示を切り換えます。

- 13 RESET ボタン
- 14 DATA CODEボタン(69)
- 15 TC/U-BIT ボタン
- 16 DISPLAYボタン(69)
- 17 VISUAL INDEXボタン(65)
- 18 MENUボタン(27.80)
- 19 VOLUMEボタン*(65)

* VOLUMEの+ボタン、PLAYボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

レンズ(NEX-FS700RHに付属)



1 レンズフロントキャップ

2 ズームリング(35)

3 フード指標

4 ズームスイッチ

5 フォーカスリング(36)

6 マウント指標(20)

7 レンズリヤキャップ

8 ズームスピードスイッチ

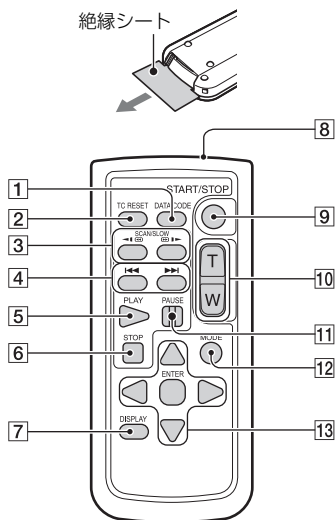
9 ズームレバー

10 レンズ信号接点

直接手で触れたり、汚したりしないでください。

ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



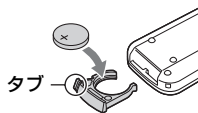
- 1 DATA CODEボタン(69)
- 2 TC RESETボタン(61)
- 3 SCAN/SLOWボタン(65)
- 4 ◀▶(PREV/NEXT)ボタン(65)
- 5 PLAYボタン(65)
- 6 STOPボタン(65)
- 7 DISPLAYボタン(69)
- 8 リモコン発光部
- 9 START/STOPボタン(32)
- 10 ズームボタン
本機では使用できません。
- 11 PAUSEボタン(65)
- 12 MODEボタン
- 13 ◀▶/▲/▼/ENTERボタン

④ご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

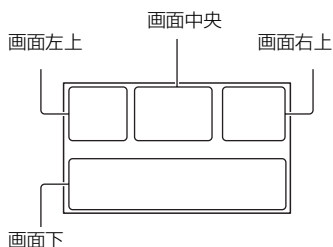
リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示



画面左上

表示	意味
100%	バッテリー残量
1080/60i SET (42)、 REC FORMAT (41)	
	WIDE REC (90)
	静止画サイズ

画面中央

表示	意味
	AE/AFロック
	手ブレ警告
	記録メディア
REC STBY	撮影状態 (32)
	警告 (116)
	再生表示 (65)

画面右上

表示	意味
0min	記録残量時間の目安
	記録/再生メディア
00:00:00.00	タイムコード(時:分:秒: フレーム)
	静止画記録中表示
>9999	静止画撮影可能枚数

画面下

表示	意味
1/64ND 1/16ND 1/4ND	NDフィルター
	顔認識 [ON]
ISO800	ISO
PEAKING	PEAKING (94)
	ZEBRA (94)
	STEADYSHOT (87)
	手動フォーカス (36)
PP1 ~ PP6	ピクチャープロフィール (55)
F3.5	アイリス (42)
9dB	ゲイン (43)
100 180°	シャッタースピード (44)
	手動音量調節 (52)
	AUDIO FORMAT (92)
-2.0EV	AE SHIFT (87)
	自動設定 (95)
	ホワイトバランス (46)
	ヒストグラム (93)

🗨️ちょっと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時にDATA CODEボタンを押すと確認できます (69ページ)。

目次

使用前に必ずお読みください	2
各部のなまえ	5
本体	5
レンズ(NEX-FS700RH に付属)	10
ワイヤレスリモコン	11
画面表示	12

準備する

準備 1:付属品を確かめる	16
準備 2:バッテリーを充電する	18
準備 3:レンズを取り付ける	20
準備 4:ハンドル、マイク、グリップを取り付ける	24
準備 5:電源を入れて日時を合わせる	27
準備 6:液晶モニターを調節する	28
準備 7:記録メディアの準備をする	30

撮影する

撮影する	32
動画を撮影する	32
静止画を撮影する	34
ズームする	35
フォーカスを調節する	36
一時的にオートフォーカス/フォーカス固定で撮る (ブッシュオートフォーカス/フォーカスホールド)	37
拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス)	37
画面をタッチしてピントを合わせる(スポットフォーカス)	38
検出した顔にピントを合わせる(顔認識)	38
フォーカストランジションを使う	39
録画設定 / 画像サイズを変更する	41
ハイビジョン画質(HD)の録画フォーマットを選ぶ	41
ハイビジョン画質(HD)/標準画質(SD)を設定する	42
静止画の画像サイズを設定する	42
明るさを調節する	42
アイリスを調節する	42
ゲイン/ISO感度を調節する	43
シャッタースピードを調節する	44
光量を調節する(NDフィルター)	45
色合いを調節する	46
自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)	46
ブラックバランスを調整する	47

目次(つづき)

スロー&クイック撮影をする	48
スロー&クイックモーション撮影をする	48
スーパースローモーション撮影をする	50
音の設定をする	52
付属のマイクで収録する	53
外部音声機器などを使う	53
好みの音量に設定する	54
ヘッドホンの音声を設定する	54
便利な機能を使う	55
あらかじめ設定した画質で撮る(ピクチャープロフィール)	55
タイムデータを設定する	61
誤操作を防止する(HOLD スイッチ)	62
最後に撮影した映像を再生する(ラストシーンレビュー)	63
ASSIGN ボタンに機能を割り当てる	63

再生する






本機で再生する	65
動画を再生する	65
静止画を再生する	68
本機の設定を変更 / 確認する	69
画面表示を切り換える	69
再生時に情報を表示する(データコード)	69
本機の設定を確認する(ステータスチェック)	70
モニターやテレビにつなぐ	71

編集する

記録した動画・静止画を保護する(プロテクト)	74
動画を分割する	74
動画・静止画を削除する	75
動画・静止画をコピーする	76
動画から静止画を作成する	77
記録メディアを初期化する	78
記録メディア上のデータを復元しにくくする	78
管理ファイルを修復する	79

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	80
メニュー一覧	82

 (CAMERA SET)メニュー	85
撮影状況に合わせるための設定(GAIN SET/  STEADYSHOT など)	
 (REC/OUT SET)メニュー	90
録画、入出力に関する設定(REC SET/VIDEO OUT)	
 (AUDIO SET)メニュー	92
録音に関する設定( AUDIO FORMAT/XLR SET など)	
 (DISPLAY SET)メニュー	93
画面の表示設定(MARKER/DISPLAY OUTPUT など)	
 (TC/UB SET)メニュー	97
タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMAT など)	
 (OTHERS)メニュー	99
撮影時の設定や、各種基本設定(AREA SET/BEEP など)	

他機器と接続する

外付けメディアを使って保存する	103
ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って保存する	105
レコーダーなどで標準画質(SD)のディスクを作る	106
パソコンを使って保存する	107

困ったときは

故障かな?と思ったら	109
警告表示とお知らせメッセージ	116

その他

記録時間と撮影枚数について	118
海外で使う	120
メモリーカード / フラッシュメモリーユニットのファイル / フォルダー構成	121
使用上のご注意とお手入れ	122
AVCHD 規格について	122
メモリーカードについて	122
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	123
本機の取り扱いについて	124
主な仕様	127
保証書とアフターサービス	129
索引	130

準備する

準備 1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内は個数。

- メモリーカード、リチャージャブルバッテリーパック、チャージャーは別売です。本機で使えるリチャージャブルバッテリーパックについては18ページをご覧ください。

ACアダプター(AC-PW10)(1)(19ページ)



電源コード(1)(19ページ)



ワイヤレスリモコン(RMT-845)(1)(11ページ)

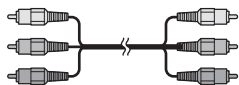


ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

コンポーネントビデオケーブル(1)(71ページ)



A/V接続ケーブル(1)(71、106ページ)



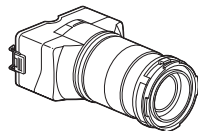
USBケーブル(1)(105、107ページ)



USBアダプターケーブル(1)(103ページ)



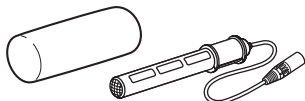
大型LCDビューファインダー(1)(29ページ)



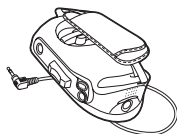
大型アイカップ(1)(29ページ)



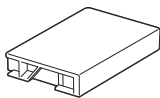
ウインドスクリーン(1)、マイク(ECM-XM1)(1)(25ページ)



グリップ(1)(26ページ)



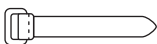
フラッシュメモリーユニット端子カバー(1)(31ページ)



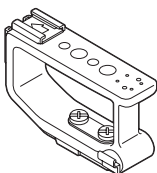
ボディーキャップ(本体に装着)(1)(20ページ)



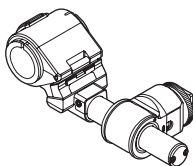
ケーブル留め(1)(7ページ)



ハンドル(1)(本体に装着)(24ページ)



マイクホルダー(1)(25ページ)



CD-ROM「Manuals for Interchangeable Lens Digital HD Video Camera Recorder」(1)

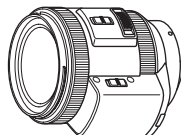
取扱説明書 (3)

保証書(1)

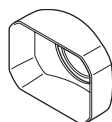
ソニー業務用商品相談窓口のご案内(1)

NEX-FS700RHのみ

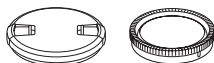
高倍率電動ズームレンズ(E PZ 18-200mm F3.5-6.3 OSS)(1)(20ページ)



レンズフード(1)(22ページ)



レンズフロントキャップ(1)、レンズリヤキャップ(1)(レンズに装着)(20ページ)



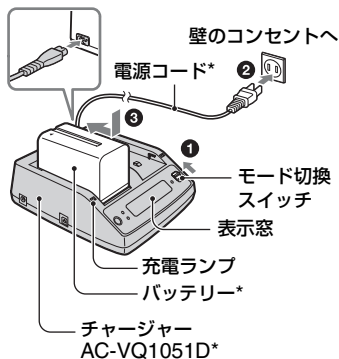
準備 2: バッテリーを充電する

別売のアクセサリキットの取扱説明書もあわせてご覧ください。

専用の“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)をチャージャーに取り付けて充電します。


ⓘ ご注意

- 高容量バッテリーNP-F770/F970(別売)がお使いいただけます。NP-F570はお使いいただけません。



* 別売の ACCKIT-D12B に付属

充電が終わると

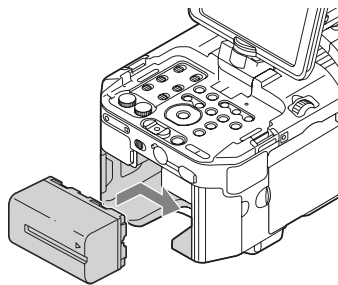
表示窓のバッテリーマークがすべて点灯します(「」実用充電)。

充電ランプが消え、表示窓に「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使えます(満充電)。

充電が終わったら、バッテリーをチャージャーから取り外してください。

バッテリーを取り付けるには

バッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。



💡 ちょっと一言

- ステータスチェックでバッテリー残量を確認できます(70ページ)。

1 モード切換スイッチを「CHARGE」にする。

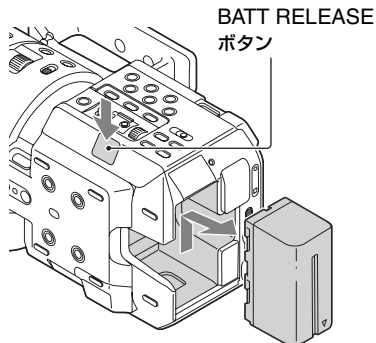
2 電源コードをチャージャーとコンセントにつなぐ。

3 バッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。

充電ランプが点灯し、充電が始まります。

バッテリーを取り外すには

POWERスイッチを「OFF」にする。BATT RELEASEボタンを押しながら、矢印の方向にずらしてバッテリーを取り外す。



保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください(124ページ)。

充電時間

チャージャーの取扱説明書を参照してください。

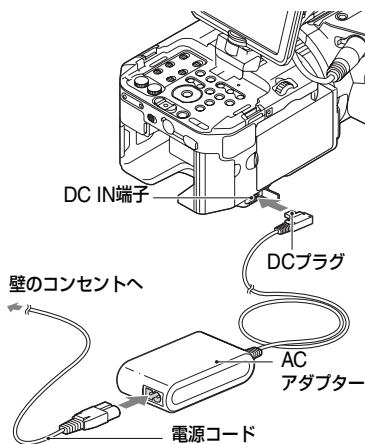
バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- 次のとき、バッテリーインフォ(70ページ)が正しく表示されないことがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けしていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーが劣化しているとき

コンセントにつないで使うには

付属のACアダプターをつなぐと、バッテリーが切れることを心配しないでお使いいただけます。

ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。



●ご注意

- 接続コードDK-415、DK-215は使えません。

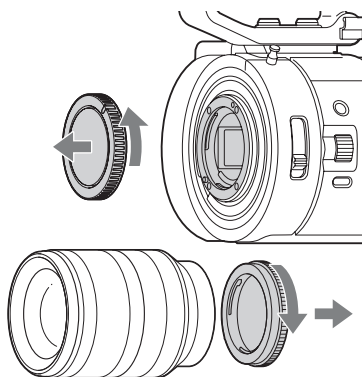
ACアダプター、チャージャーについて

- ACアダプター、チャージャーは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプター、チャージャーを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 充電が完了してCHG(充電)ランプが消えても電源からは遮断されません。
- ACアダプター、チャージャーのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備 3: レンズを取り付ける

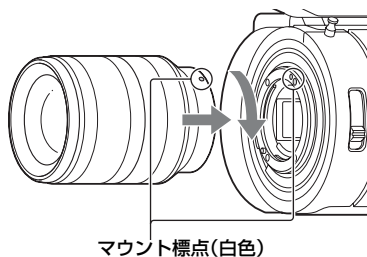
E 18-200mm F3.5-6.3 OSSレンズを例に、レンズの装着方法を説明します。他のレンズをお使いになる場合は、レンズの取扱説明書も合わせてご覧ください。本体内部にゴミやほこりが入らないように、マウント部を下に向けて、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。

1 本体とレンズから、キャップやカバーを外す。



2 本体とレンズのマウント標点(白色)を合わせ、レンズを軽く本体に押し付けながら、時計方向にゆっくり回す。

「カチッ」と音がしてロックし、装着が完了します。



● ご注意

- レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。
- レンズに無理な力を加えないで、まっすぐに合わせてください。マウント部に強い力がかかると、レンズマウントやNDフィルターの故障、破損の原因となります。
- お使いのレンズによっては、レンズ取り付け状態に余裕がある場合がありますが、故障ではありません。

🗨️ ちよっと一言

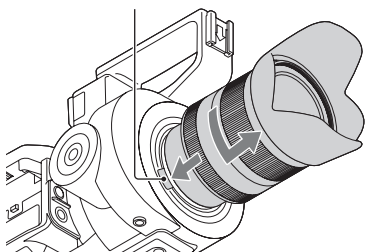
- レンズを交換したときは、レンズフロントキャップを付けた状態で、撮影前にブラックバランスを調整することをおすすめします(47ページ)。

取り外し

1 レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを反時計方向に回して外す。

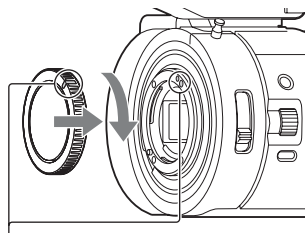
レンズと本体の両方を持って取り外してください。

レンズ取り外しボタン



2 本体とレンズにキャップを取り付ける。

マウント標点にキャップの目印を合わせて、時計方向に回して取り付けてください。



合わせる。

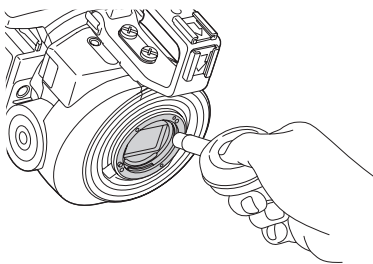
キャップはほこりを落としてから取り付けてください。

●ご注意

- レンズ交換の際に、カメラマウント部のガラス面へゴミやほこりが付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。カメラマウント部のガラス面はアンチダストコーティングによってゴミやほこりが付きにくくなっていますが、レンズの取り付け/取り外しを行う際は、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。
- レンズやボディキャップを外した状態のまま、本機を放置しないでください。

カメラマウント部のガラス面にゴミやほこりが付着したら

本機の電源を切り、レンズを外して、別売のプロアーでカメラマウント部のガラス面とその周辺のほこりを吹き飛ばし、レンズを取り付けてください。



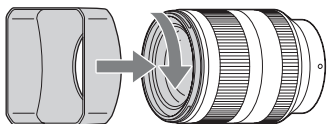
●ご注意

- スプレー式のプロアーは、水滴が本体内部に飛び散るので使用しないでください。
- ほこりが落ちやすいよう、本体をやや下向きにしてください。
- この手順でクリーニングを行ってもほこりが取れない場合は、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

準備3: レンズを取り付ける(つづき)

レンズフードの取り付け

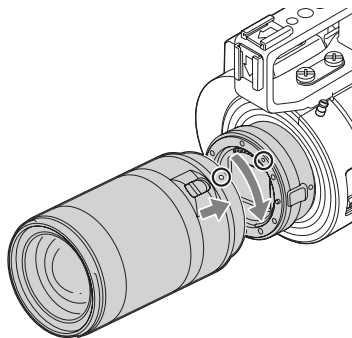
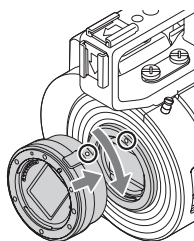
レンズフードの赤線をレンズの赤線に合わせてはめ込み、レンズフードの赤点とレンズの赤線が合って「カチッ」というまで時計方向に回します。



レンズフードは、レンズに対して逆向きに装着することはできません。

マウントアダプターについて

マウントアダプター(別売)を使うと、Aマウントレンズ(別売)も本機に取り付けられます。詳しくはマウントアダプターの取扱説明書をご覧ください。



マウントアダプターの種類によって使用できる機能が異なります。

LA-EA1

機能	
オートフォーカス	SAM、SSMレンズで、静止画モードの場合のみ可能*
AF方式	コントラストAF
フォーカス切替	レンズ側の操作スイッチで切り換え

LA-EA2

機能	
オートフォーカス	動画:コンティニュアス 静止画:シングル
AF方式	位相差AF
フォーカス切換	SAM:レンズ側の操作スイッチ SSM:レンズ側の操作スイッチと本体側のFOCUSスイッチの両方 それ以外のレンズ:本体側のFOCUSスイッチ

* LA-EA1 では、A マウントレンズ装着時のオートフォーカスは、E マウントレンズ装着時より遅くなります。(約 2 秒～約 7 秒(当社測定条件に基づいて撮影した場合)。被写体や撮影時の明るさなどにより変わる場合があります。)

LA-EA2装着時の動作について

- 動画撮影時の絞りは、オートフォーカスではF3.5に固定されます。また、開放絞りがF3.5以上のレンズの場合は開放値に固定されます。手動フォーカスにすると絞りを設定できます。撮影中に絞りを変更すると作動音がしたり、作動中に画面が明るくなる場合があります。
- 動画モードでアイリスを自動調整する事はできません。

ⓘ ご注意

- 一部、お使いいただけないレンズや機能に制限があるレンズがあります。レンズの互換性は、専用サポート、もしくはソニーの相談窓口にご確認ください。
- 動画記録中はカメラやレンズの作動音、操作音などが記録されてしまうことがあります。マイクを外して撮影、もしくはCH 1(AUTO/MAN)スイッチまたはCH 2(AUTO/MAN)スイッチを「MAN」にして、AUDIO LEVELダイヤルを0にして撮影することで、音声を記録しないように設定できます(52ページ)。
- お使いのレンズや被写体によっては、ピント合わせに時間がかかったりピントが合いにくい場合があります。

AFエリア枠表示

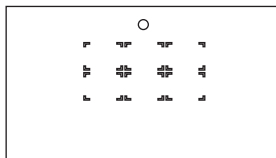
マウントアダプターを使用してAマウントレンズを装着したとき、フォーカス合焦枠が表示されます。

オートフォーカス時:ピントが合うと緑色になります。

手動フォーカス時:ピントを合わせると緑色になります。フォーカスアシスト機能として使えます。

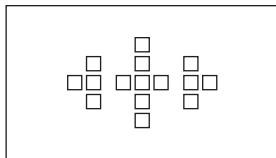
LA-EA1装着時(静止画のみ)

オートフォーカス時のみ表示

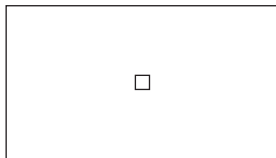


LA-EA2装着時

オートフォーカス時



手動フォーカス時



ⓘ ご注意

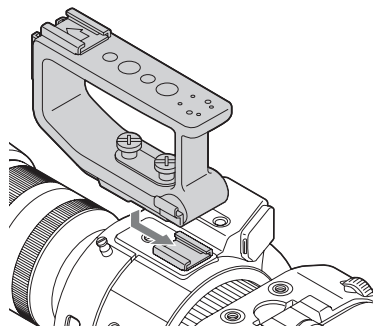
- スーパースローモーション中は、AFエリア枠表示は行いません。

準備 4: ハンドル、マイク、グリップを取り付ける

ハンドルを取り付ける

お買い上げ時は、本機にハンドルが取り付けられています。

1 アクセサリーシューに、ハンドルを矢印の方向に差し込む。

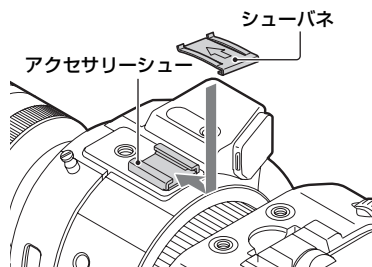


ちょっと一言

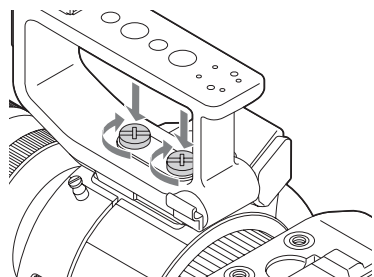
- ハンドルのネジ穴は1/4-20UNCのネジ(長さ22mm)に対応しています。

ハンドルの代わりにアクセサリーを取り付けるには

ハンドルを取り外して、シューバネ(25ページ)を矢印の方向に挿入し、コの字部分がハンドル取付け部の溝にはまるように取り付ける。



2 ネジを押しながら、時計方向に回して締める。

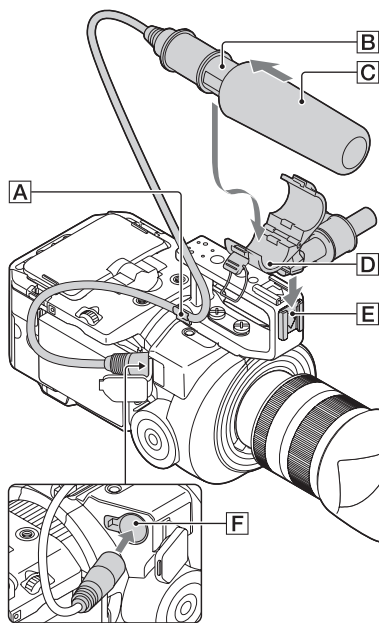


ハンドルを取り外すには

取り付けの逆の手順で取り外してください。

マイクを取り付ける

ハンドルにマイクホルダーを取り付けます。



1 マイクホルダー[D]をハンドルのアクセサリースュー[E]に取り付けて、マイクホルダーの固定ネジで固定する。

2 付属のマイク[B]にウインドスクリーン[C]をかぶせる。

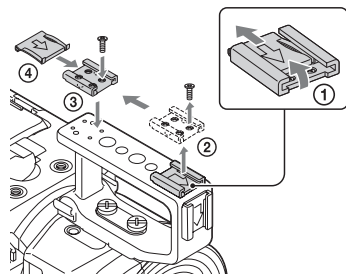
3 マイク[B]を、型名が上になるようにマイクホルダー[D]に取り付ける。

4 マイクケーブルをINPUT 2端子[F]につなぐ。

マイクケーブルをケーブルクランパー[A]に取り付ける。

レンズ光線がさえぎられるときは

お使いのレンズによっては、マイクの影響でレンズ光線がさえぎられることがあります。その場合は、アクセサリースューとマイクホルダーの取り付け位置を変更してください。

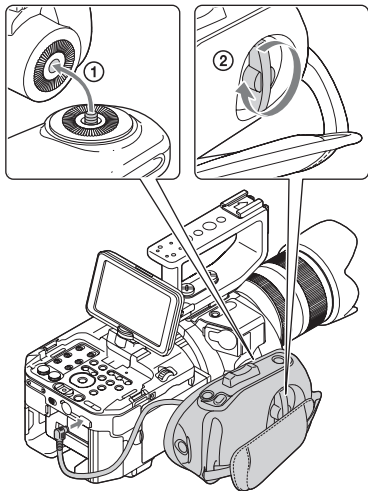


- ① ハンドル前方に取り付けてあるシューバネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。
- ② ハンドル前方のアクセサリースューの4本のネジを外す。
- ③ 後方のアクセサリースュー取り付け部の凹部とアクセサリースューの凸部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。
- ④ アクセサリースューバネを矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリースューの端部にはまるように取り付ける。
- ⑤ 後方に移動したアクセサリースューにマイクホルダーを取り付ける。

準備 4: ハンドル、マイク、グリップを取り付ける(つづき)

グリップを取り付ける

撮影アングルに合わせて、グリップを回転させられます。

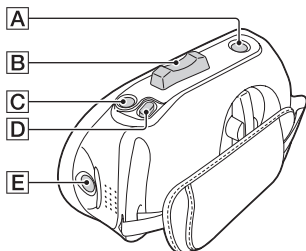


1 本体の金属エッジ①にグリップの金属エッジを合わせる。グリップの角度を決め、ツマミ②を押しながら時計方向に回して締める。

2 REMOTE端子にケーブルをつなぐ。

グリップのボタンについて

グリップには、以下のボタンが付いています。



- ▲ IRIS PUSH AUTOボタン(42ページ)
- ズームレバー(電動ズームレンズ装着時は、グリップのズームレバーを使ってズームできます。)
- PHOTOボタン(32ページ)
- EXPANDED FOCUSボタン(37ページ)
- START/STOPボタン(32ページ)

グリップの角度を変えるときは

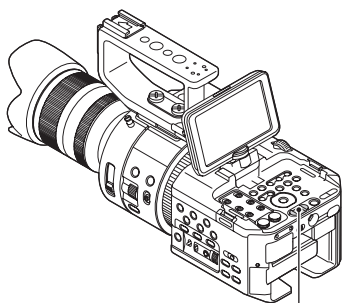
グリップのツマミをゆるめてから角度を変え、再度ツマミを締めてください。

準備 5:電源を入れて日時を合わせる

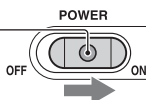
電源を入れる

緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。

初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります。



押しながら矢印の方向へずらす。



電源を切るには
POWERスイッチを「OFF」にする。

ⓘ ご注意

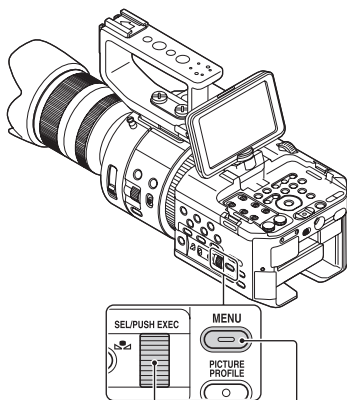
- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

日時を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。


💡 ちょっと一言

- 3か月近く使わないでよくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(126ページ)。

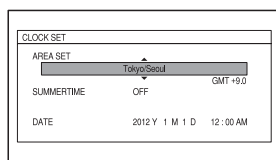


SEL/PUSH EXEC
ダイヤル

MENUボタン

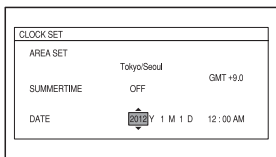
日時合わせをやり直すときは、MENUボタンを押して、 (OTHERS)メニュー→[CLOCK SET]を選んでください。

1 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してエリアを選び、押して決定する。



準備5:電源を入れて日時を合わせる(つづき)

2 同様に、[SUMMERTIME]、[Y]、[M]、[D]、時、分を合わせ、SEL/PUSH EXECダイヤルを押し決定する。




時計が動き始めます。

- [SUMMERTIME]を[ON]にすると、時計が1時間進みます。
- [Y]は2037年まで設定できます。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

💡ちよっと一言

- 日付時刻は撮影した記録メディアに自動的に記録され、再生時に表示させることができます(DATA CODEボタン、69ページ)。

[60i/50i SEL]を変える

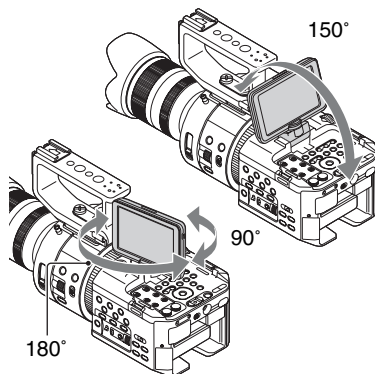
お買い上げ時の設定は[60i]です。設定を変えるには、MENUボタンを押して、 (OTHERS)メニュー→[60i/50i SEL]を選んでください(101ページ)。

準備6:液晶モニターを調節する

液晶モニターを使う

被写体の光軸上に液晶モニターが設置されるので、よりイメージ通りに撮影ができます。

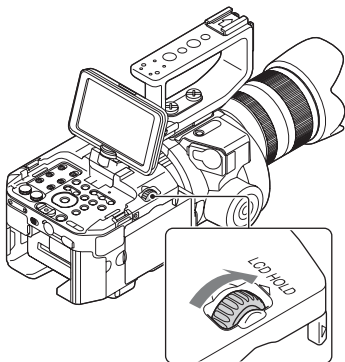
液晶モニターは左右に回転させられるので、撮影者以外が映像を確認することもできます。



液晶モニターを好みの角度で保持するには

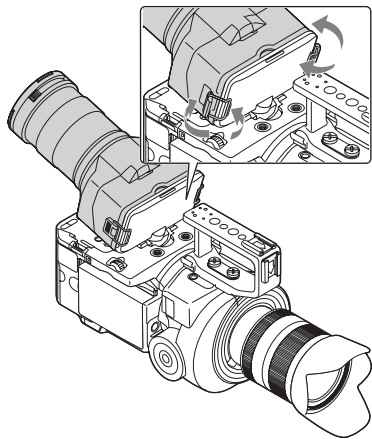
LCD HOLD(液晶モニター保持)ダイヤルを回して固定します。

角度を変える場合は、LCD HOLDダイヤルを反対方向に回してゆるめてください。

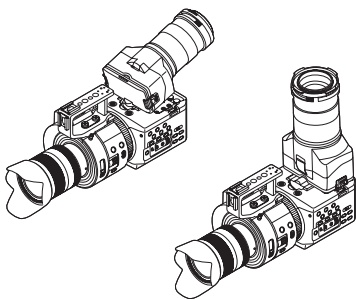


大型LCDビューファインダーを取り付けて使う

液晶モニターに大型LCDビューファインダーを取り付けて、ファインダーとして使用することもできます。



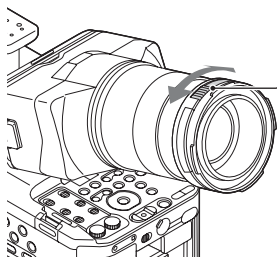
撮影スタイルに合わせたビューファインダーの使いかた



視度を調節する

視度調節リングを操作すると、視力に合わせてファインダーの画像がはっきり見えるように調節できます。

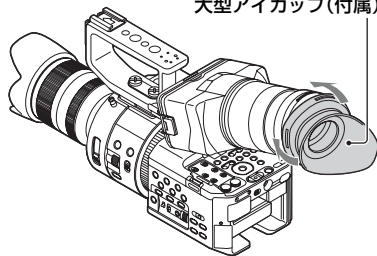
視度調節リング



ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型LCDビューファインダーの溝に合わせて取り付けます。大型アイカップは左右どちらの向きでも取り付けられます。

大型アイカップ(付属)



👁️ ちょっと一言

- 遠視補正のため、視度調節リングに口径52mmのクローズアップレンズ(別売)を取り付けられます。

準備 7:記録メディアの準備をする

メモリーカードを入れる

本機で使えるメモリーカード

	SDスピードクラス
“メモリスティック PRO デュオ” (Mark2)*	—
“メモリスティック PRO-HG デュオ”*	
SDメモリーカード**	Class 4以上
SDHCメモリーカード**	
SDXCメモリーカード**	

スロー&クイックモーション撮影およびスーパースローモーション撮影で使えるメモリーカード

	SDスピードクラス
“メモリスティック PRO-HG デュオ”*	—
SDメモリーカード**	Class 10以上
SDHCメモリーカード**	
SDXCメモリーカード**	

* 本書では、“メモリスティック PRO デュオ”と表現しています。

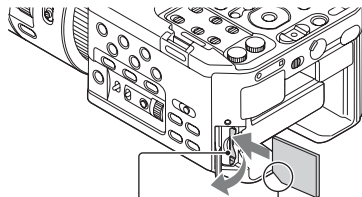
**本書では、SD カードと表現しています。

⓪ご注意

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 標準の“メモリスティック”の約半分の大きさの“メモリスティック PRO デュオ”、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因になります。
- 本機で動作確認されている“メモリスティック PRO デュオ”は32GB、SDカードは64GBまでです。

- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT(SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステム)に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容が全て失われます。

カバーを開けて、メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして「カチッ」というまで押し込む。



メモリーカードスロット

切り欠き部の向きに注意する。

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを軽く1回押して取り出す。

⓪ご注意

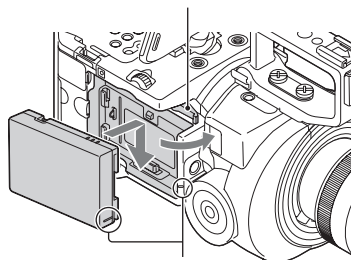
- [The image database file is corrupted. The media must be restored to use again.]と表示されたときは、メモリーカードを初期化してください(78ページ)。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

フラッシュメモリーユニットを取り付ける

別売のフラッシュメモリーユニットHXR-FMU128を本機に取り付けて記録できません。

RELEASEレバーを押しながら、本機とフラッシュメモリーユニットのマークを合わせて、フラッシュメモリーユニットを矢印の方向に押し。

RELEASEレバー

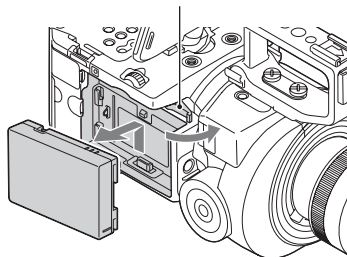


マークを合わせる。

フラッシュメモリーユニットを取り外すには

電源を切って、RELEASEレバーを押しながら、フラッシュメモリーユニットを矢印の方向に取り外す。

RELEASEレバー



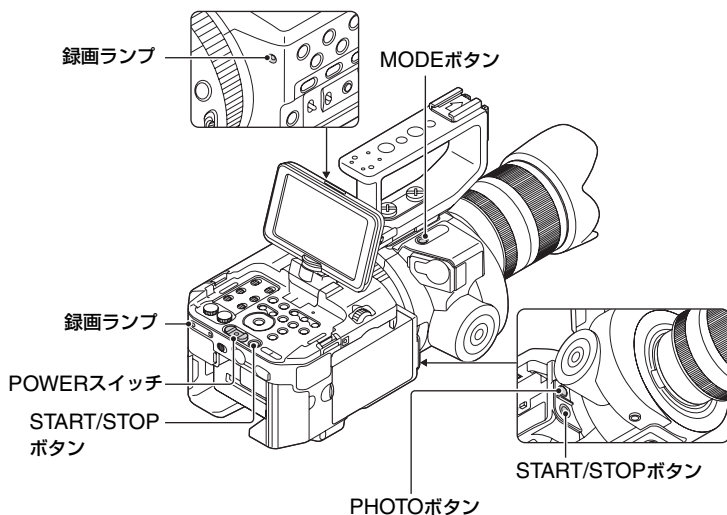
フラッシュメモリーユニットを使わないときは

フラッシュメモリーユニット端子カバーを取り付けてください。

💡ちよつと言

- 本機には、リレー記録機能はありません。記録中のメモリーがいっぱいになると録画は停止します。
- メモリーカードとフラッシュメモリーユニットの両方に記録することができます(33ページ)。

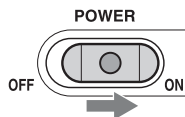
撮影する 撮影する



動画を撮影する

本機は動画をメモリーカードやフラッシュメモリーユニットに記録します。お買い上げ時は、動画はハイビジョン画質 (HD) で記録されます。下記の手順で動画を撮影します。

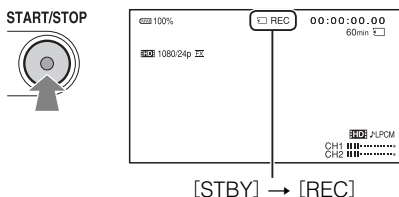
- 1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。



- 2 緑のボタンを押しながら、MODEボタンを押す。



3 START/STOPボタンを押して撮影を始める。



撮影中は録画ランプが点灯します。

動画撮影を止めるには、START/STOPボタンをもう一度押します。

ⓘ ご注意

- アクセスランプが赤色で点灯中または点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、記録メディアやバッテリー、ACアダプターを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 動画の記録時間については118ページをご覧ください。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 撮影中の動画ファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。
- メニューの設定や、ピクチャプロフィールの設定、AUTO/MANUALスイッチを使った設定はPOWERスイッチを「OFF」にすると保存されます。保存処理中はアクセスランプが点灯します。ただし、途中でバッテリーやACアダプターを取り外すとお買い上げ時の設定に戻る可能性があります。

💡 ちょっと一言

- ハイビジョン画質 (HD) での撮影時は、画像のアスペクト比は16:9に固定されます。標準画質 (SD) で撮影するときは、4:3に切り換えられます ([SD] WIDE REC)、90ページ)。
- 撮影中の画面表示の切り換えについては69ページをご覧ください。
- 撮影中の画面表示については12ページをご覧ください。
- 録画ランプが点灯しないように設定できます ([REC LAMP [F]]、[REC LAMP [R]]、100ページ)。
- 本機では、記録した動画から静止画を作成できます (77ページ)。

メモリーカードとフラッシュメモリーユニットの両方に記録するには(同時記録)

メモリーカードとフラッシュメモリーユニットの両方の記録メディアを使って同時記録が行えます。



MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、**⇄** (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [**HD**] SIMULTANEOUS REC → [ON] (お買い上げ時の設定)にする。

撮影する(つづき)

🗨️ちょっと一言

- 同時記録をする場合、[HDD]/[HSD] SETを[HDD]に設定してください。
- 同時記録中に一方の記録メディアが記録不可能になっても、もう一方の記録メディアは記録を続けま
す。
- [HDD] SIMULTANEOUS RECが[ON]のときは、[MEDIA SELECT]の設定に関係なく、両方のメ
ディアに記録可能になります。

どちらか一方の記録メディアだけに記録するには

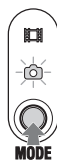
- ① MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [HDD] SIMULTANEOUS REC → [OFF]にする。
- ②  (REC/OUT SET)メニュー → [MEDIA SELECT] → [MEMORY CARD] (メモリー
カード)または[FMU] (フラッシュメモリーユニット)を選ぶ。

🗨️ちょっと一言

- 記録メディアにアクセスエラーが発生した場合は、メッセージが出ます。

静止画を撮影する

1 MODEボタンを押して、 (静止画)ランプを点灯させる。



2 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、深く押す。




オートフォーカス時のフォーカス表示について

点灯/点滅でピント合わせの状況を表示します。

- 点灯: ピントが固定されています。
- 点滅: ピントが合っていません。自動でピントを合わせられないので、構図やフォーカス
設定などを変えてください。

💡ちよつと一言

-  (動画)ランプ点灯時は、静止画を撮影できません。
- 静止画の撮影可能枚数については、119ページをご覧ください。
- 本機の静止画撮影はローリングシャッターを使用しているため、撮影する条件によっては、被写体のゆがみ、フリッカー、フラッシュによる明暗の差が生じることがあります。

ズームする

お使いになるレンズのズームリングを左右に回して、被写体の大きさを決めてください。ズームはフォーカス調節前に行います。

電動ズームレンズ装着時はレンズのズームレバーでも調整することができます。

🔍ご注意

- 装着しているレンズによってできることや操作方法が異なります。お使いになるレンズの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- ズームにより繰り出されたレンズ部分を掴んだり、強い力を加えないでください。レンズが破損することがあります。
- ズームレバーから急に指を離さないでください。操作音が記録される場合があります。

💡ちよつと一言

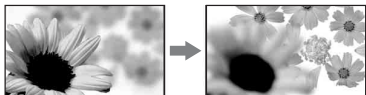
- ズームの表示を変更できます(96ページ)。

フォーカスを調節する

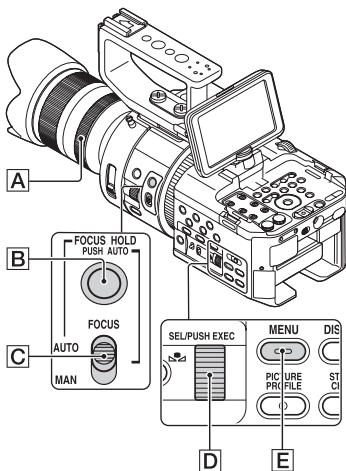
撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



- 三脚で撮影する静止した被写体



ⓘ ご注意

- お使いのマウントアダプター(別売)とAマウントレンズ(別売)の組み合わせにより、以下が使えなくなる場合があります。
 - [B]ボタン
 - [C]FOCUSスイッチの「AUTO」

1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUSスイッチ[C]を「MAN」にする。

☑が表示されます。

2 フォーカスリング[A]を回してピントが合うように調節する。

☑は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近くに合わせられないとき■に変わります。

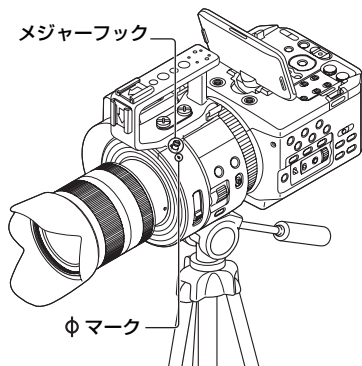
自動調整にするには

FOCUSスイッチ[C]を「AUTO」にする。
☑が消え自動調整に戻ります。

🗣 ちょっと一言

- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します。)を約3秒間表示します。
 - FOCUSスイッチ[C]を「MAN」にして☑を表示させたとき
 - ☑表示中にフォーカスリング[A]を回したとき
- フォーカス距離情報はメートル表示とフィート表示で切り換えられます([FOCUS DISPLAY], 96ページ)。

撮影距離を正確に測るには



φ マーク、メジャーフックがイメージセンサー面の位置となります。本機から被写体までの距離を正確に測るには、このマークまたはメジャーフックの位置を参考にしてください。

メジャーフックにメジャーの先端をかけた、被写体からの距離を実測できます。

⚠️ご注意

- お使いのレンズの最短撮影距離よりも近いものにはピントが合いません。撮りたいものに近づきすぎているか、確認してください。

一時的にオートフォーカス／フォーカス固定で撮る(プッシュオートフォーカス／フォーカスホールド)

プッシュオートフォーカスを使う

FOCUSスイッチ[C]を「MAN」にして、FOCUS HOLD/PUSH AUTOボタン[B]を押して撮影する。押している間は、オートフォーカスで撮影できます。指を離すと手動ピント合わせに戻ります。

フォーカスホールドを使う

FOCUSスイッチ[C]を「AUTO」にして、FOCUS HOLD/PUSH AUTOボタン[B]を押して撮影する。押している間は、ボタンを押したときのフォーカスを固定して撮影できます。指を離すと自動ピント合わせに戻ります。

⚠️ご注意

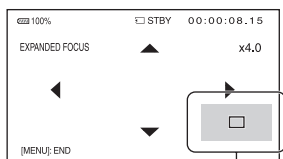
- レンズ側に同機能のボタンがある場合は、本体と同じ動作をします。例えば、本体側でフォーカスホールドが動く状態のときは、レンズ側のボタンもフォーカスホールドが働きます。

拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス)

選択された領域の画面を拡大して表示します。ピントが合っているかを確認するときに便利です。

グリップのEXPANDED FOCUSボタンを押す(26ページ)。

押すたびに設定が切り替わります。



拡大表示位置

本機の▲/▼/◀/▶ボタンで拡大表示の位置を変更できます。EXECボタンを押すと、拡大表示位置が中央に戻ります。

⚠️ご注意

- 拡大フォーカスで表示されていても、記録される画像は拡大されません。

フォーカスを調節する(つづき)


👁️ちょっと一言

- [EXPANDED FOCUS MAG]で拡大する倍率を切り換えられます(95ページ)。
- ASSIGNボタンに割り当てることができます(63ページ)。

画面をタッチしてピントを合わせる(スポットフォーカス)

画面をタッチしたポイントにフォーカスを合わせます。

1 MENUボタン[E]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[D]で、 (CAMERA SET)メニュー → [SPOT FOCUS]を選ぶ。

3 フォーカスを合わせたいポイントの液晶モニターをタッチする。

📌ご注意

- [SPOT FOCUS]は、FOCUSスイッチ[C]が「MAN」のときのみ行えます。

👁️ちょっと一言


- ASSIGNボタンに割り当てることができます(63ページ)。

スポットフォーカスを止めるにはMENUボタン[E]を押す。

検出した顔にピントを合わせる(顔認識)

人物の顔を検出して、その顔にピントを合わせられます(お買い上げ時の設定は[OFF])。FOCUSスイッチ[C]が「AUTO」のときに使用できます。

1 MENUボタン[E]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[D]で、 (CAMERA SET)メニュー → [FACE DETECTION] → [ON]を選ぶ。
顔を検出します。
検出すると、枠が表示されます。

3 SEL/PUSH EXECダイヤル[D]を回して選択カーソル(オレンジ色の枠)を移動して、優先する顔を選び、押して決定する。

選択カーソル(オレンジ)



優先顔枠(二重)

優先されている顔枠が二重枠に変わります。

顔認識を止めるには

SEL/PUSH EXECダイヤル[D]で優先設定している顔枠(二重枠)に選択カーソル(オレンジ色の枠)を合わせて、押して決定する。

ⓘ ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は[FACE DETECTION]を[OFF]にしてください。

💡 ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(63ページ)。
- 顔検出をしやすいするためには以下のような状況で撮影してください。
 - 適度に明るい場所で撮影する
 - 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする
 - 顔をカメラ正面に向ける
- [FACE DETECTION]が[ON]のときは、シャッタースピードなどの操作が行えません。ただし、FOCUSスイッチ[C]を「MAN」にすると、[FACE DETECTION]が一時的に[OFF]になり、シャッタースピードなどを操作できます。

フォーカストランジションを使う

Eマウントレンズを使用している動画撮影時に、フォーカスの位置を事前に登録し、登録した位置へなめらかに遷移(フォーカストランジション)できます。

例えば、画面手前にフォーカスが合っている状態から徐々に画面奥の被写体にフォーカス送りができます。手ブレや、撮影場所のずれを防ぐために三脚を使うことをおすすめします。

1 ASSIGNボタンに[FOCUS TRANSITION]を設定する(63ページ)。

フォーカストランジションは、ASSIGN4/5/6ボタンに同時に設定されます。

ASSIGN4ボタンを押すたびに、STORE → CHECK → EXEC → 解除の順に切り替わります。

2 フォーカス位置を登録する。

- ① ASSIGN4ボタンを繰り返し押して、登録画面([STORE]画面)にする。
 - ② 手動でフォーカス位置を調節する。
 - ③ FOCUS-Aに登録するにはASSIGN5ボタン、FOCUS-Bに登録するにはASSIGN6ボタンを押す。
- 登録中やチェック中は、対象のフォーカス位置のアイコンが点滅します。点滅中は操作ができません。

3 登録したフォーカス位置を確認する。

- ① ASSIGN4ボタンを繰り返し押して、確認画面([CHECK]画面)にする。
 - ② FOCUS-Aを確認するにはASSIGN5ボタンを、FOCUS-Bを確認するにはASSIGN6ボタンを押す。手順2で登録したフォーカス位置に変わります。
- 確認画面では、[TRANSITION TIME](88ページ)で設定した時間で遷移しません。

4 フォーカストランジションを使って撮影する。

- ① ASSIGN4ボタンを繰り返し押し、実行画面([EXEC]画面)にする。
- ② START/STOPボタンを押す。
- ③ FOCUS-Aで撮影するにはASSIGN5ボタンを、FOCUS-Bで撮影するにはASSIGN6ボタンを押す。現在のフォーカス位置から、登録した設定に遷移します。

- FOCUS-AまたはFOCUS-Bに遷移する時間を変更できます([TRANSITION TIME]、88ページ)。
- ASSIGN5ボタンまたはASSIGN6ボタンを押してから、遷移を開始する時間を設定できます([START TIMER]、88ページ)。
- START/STOPボタンを押したタイミングにリンクして撮影を始めることもできます([REC LINK]、88ページ)。

フォーカストランジションを止めるには

ASSIGN4ボタンを繰り返し押し解除する。または、MENUボタン[**E**]を押す。

📌ご注意

- 任意のフォーカス位置からフォーカストランジションを実行したとき、登録したFOCUS-A、またはFOCUS-Bから元に戻すことはできません。
- フォーカストランジション操作中に次のボタンを押したり、操作したりすると、フォーカストランジションが解除されます。
 - MENUボタン
 - VISUAL INDEXボタン
 - EXPANDED FOCUSボタン
 - S&Qボタン
 - [LAST SCENE REVIEW]、[VISUAL INDEX]、[SPOT FOCUS]、[EXPANDED FOCUS]を割り当てたASSIGNボタン
 - レンズを取り外したとき
 - ズーム操作を行ったとき

- 登録したFOCUS-A、FOCUS-Bのフォーカス位置は、以下の操作を行うと消去されます。
 - POWERスイッチを「OFF」にしたとき
 - レンズを取り外したとき
 - ズーム操作を行ったとき

💡ちょっと一言

- 登録したFOCUS-AからFOCUS-Bへ、またはその逆に遷移することもできます。例えば、FOCUS-AからFOCUS-Bに遷移するときは、確認画面でASSIGN5ボタンを押して、FOCUS-Aの状態にしてから実行画面でASSIGN6ボタンを押してください。
- 手順4でSTART/STOPボタンを押す前に、ASSIGN5ボタンまたはASSIGN6ボタンを押すと、フォーカストランジションのリハーサルができます。

録画設定 / 画像サイズを変更する

ハイビジョン画質(HD)の録画フォーマットを選ぶ

録画フォーマット(ビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式)を選べます。お買い上げ時は[**[HD]** 1080/24p **[FX]**]に設定されています。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルで、
 ⇄ (REC/OUT SET)メニュー
 → [REC SET] → [**[HD]** REC
 FORMAT] → 希望の録画フォーマットを選択する。

設定値

60i	50i
1080/60p PS	1080/50p PS
1080/60i FX	1080/50i FX
1080/60i FH	1080/50i FH
1080/60i HQ	1080/50i HQ
1080/60i LP	1080/50i LP
1080/30p FX	1080/25p FX
1080/30p FH	1080/25p FH
1080/24p FX	-
1080/24p FH	-
720/60p FX	720/50p FX
720/60p FH	720/50p FH

設定値について

- ビットレート
 PS:最大28Mbps
 FX:最大24Mbps
 FH:約17Mbps(平均)
 HQ:約9Mbps(平均)
 LP:約5Mbps(平均)
- 画サイズ
 PS:1,920×1,080
 FX:1,920×1,080/1,280×720
 FH:1,920×1,080/1,280×720
 HQ:1,440×1,080
 LP:1,440×1,080
- フレームレート
 60、50、30、25、24のいずれか
- スキャン方式
 i:インターレース
 p:プログレッシブ

設定値の値がそれぞれ何を表しているかを1080/24p **[FX]** を例に説明します。

- 1080:有効走査線数を表しています。
- 24:フレームレートを表します。
- p:スキャン方式を表します。
- FX:録画モードを表します。

[60i]選択時のフレームレート表示について

画面に表示されるフレームレートは実際と異なります。

フレームレート表示	実際のフレームレート
24	23.98
30	29.97
60	59.94

ⓘご注意

- スキャン方式がプログレッシブ時の録画モードは、FX/FHのいずれかに固定されます。
- [**[HD]** REC FORMAT]で、PSまたはFXの録画モードに設定して撮影した動画は、外付けメディアとブルーレイディスクのみに保存できます(103、105ページ)。

録画設定/画像サイズを変更する (つづき)

👁️ちょっと一言

- 標準画質 (SD)は480/60i HQ(576/50i HQ)に固定されます。

ハイビジョン画質(HD)/標準画質(SD)を設定する

本機では、ハイビジョン画質(HD)と標準画質(SD)の2種類から画質を選べます(お買い上げ時の設定は[**H/D**])。撮影する場面や再生機器に合わせて、好みの画質を選んでください。

1 MENUボタンを押す。

- #### 2 SEL/PUSH EXECダイヤルで、 ←(REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [**H/D**] / [**S/D**] SET] → [**H/D**] または [**S/D**] を選 択する。

静止画の画像サイズを設定する

静止画の画像サイズを選べます。お買い上げ時は[3:2(7.0M)]に設定されています。

1 MENUボタンを押す。

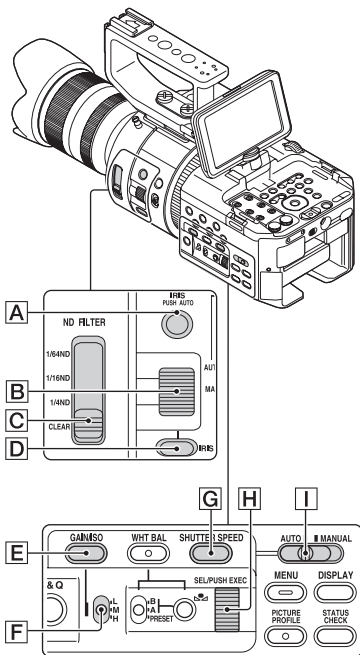
- #### 2 SEL/PUSH EXECダイヤルで、 ←(REC/OUT SET)メニュー → [IMAGE SIZE] → お好みの 画像サイズを選ぶ。

設定値

▶3:2(7.0M)/16:9(8.3M)

明るさを調節する

アイリス、ゲイン、ISO感度、シャッタースピード、NDフィルターを使って光量などを調節して、明るさを調節できます。



📌ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[I]を「AUTO」にすると、アイリス、ゲイン、ISO感度、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調節はできません。

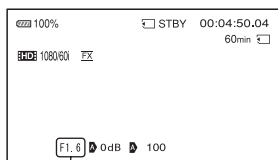
アイリスを調節する

背景をぼけさせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。

- #### 1 AUTO/MANUALスイッチ[I]を「MANUAL」にする。

2 IRISボタン[D]を押す。

アイリス値の横から **A** が消えた状態にします。



アイリス値

3 アイリスリング[B]を回して調節する。

絞りを開く(アイリス値を小さくする)と光量が増えます。絞りを閉じる(アイリス値を大きくする)と、光量が減ります。

一時的に自動調整にするには

IRIS PUSH AUTOボタン[A]を押し続ける。

押し続けている間だけ、自動で調整されます。

自動調整にするには

IRISボタン[D]を押す。

アイリス値の横に **A** が表示されます。

●ご注意

- Eマウントレンズでのみ調整できます。
- Aマウントレンズ(別売)使用時の動画モードでは、アイリスは手動になります。アイリスリング[B]で調節してください。ただし、以下の条件を満たしたときIRIS PUSH AUTOボタン[A]が使えます。
 - LA-EA2とAマウントレンズ装着時
 - 手動フォーカスのとき

👁️ちよっと一言

- 絞りの重要な効果であるピントの合う範囲のことを「被写界深度」といいます。被写界深度は絞りを開けると浅く(ピントの合う範囲が狭く)なり、絞りを閉じると深く(ピントの合う範囲が広く)なります。撮影の意図によって絞りの効果を上手に使い分けてください。

ゲイン/ISO感度を調節する

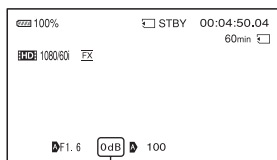
AGC(オートゲインコントロール)やISO感度の自動調整によって、値を上げたくないときに使います。

ゲインとISO感度の設定は別々に行われます。

1 AUTO/MANUALスイッチ[I]を「MANUAL」にする。


2 GAIN/ISOボタン[E]を押す。

ゲイン値またはISO値の横から **A** が消えた状態にします。



ゲイン/ISO値

3 ゲイン/ISOスイッチ[F]でH/M/Lを選択する。

設定されたゲイン値またはISO値が表示されます。H/M/Lの値は、 (CAMERA SET) メニューの [GAIN SET] または [ISO SET] でそれぞれ設定します(85ページ)。

自動調整にするには

GAIN/ISOボタン[E]を押す。
ゲイン値またはISO値が消えます。もしくは、ゲイン値またはISO値の横にAが表示されます。

🗨️ちよっと一言

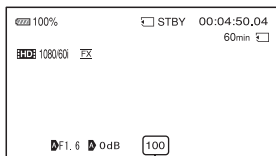
- 動画撮影モードでは、[GAIN/ISO SEL]で、表示される値をゲインとISO感度の間で切り換えられます。また、ゲインとISO感度は別々の値で個別に保存されます(85ページ)。

シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するとき便利です。

1 AUTO/MANUALスイッチ[I]を「MANUAL」にする。

2 SHUTTER SPEEDボタン[G]を押して、シャッタースピード値を反転表示させる。



シャッタースピード値

3 SEL/PUSH EXECダイヤル[H]を回して、シャッタースピードを調節する。

シャッタースピードの値を以下の範囲から調節できます。

- 動画モード
[60i]選択時:
1/4~1/10000(ただし、24p撮影時は1/3~1/10000)
[50i]選択時:
1/3~1/10000
 - 静止画モード
1/4~1/4000
- シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

4 SEL/PUSH EXECダイヤル[H]を押して、シャッタースピードを固定する。

再度変更したい場合は、手順2から行います。

🗨️ちよっと一言

- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変わったりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。
- シャッタースピード表示は秒表示と角度表示で切り換えられます([SHUTTER DISPLAY]、96ページ)。

自動調整するには

SHUTTER SPEEDボタン C を2回押す。シャッタースピード値が消えます。または、シャッタースピード値の横に A が表示されます。

[60i/50i SEL]を切り換えた際の設定値について

設定変更後のシャッタースピードは、設定前のレベルが継承されます。各レベルのシャッタースピードは以下をご覧ください。静止画のシャッタースピードは影響ありません。

レベル	60i/60p/30p	24p	50i/50p/25p
0	-	3	-
1	4	6	3
2	8	12	6
3	15	24	12
4	30	40	25
5	60	48	50
6	90	50	60
7	100	60	100
8	125	96	120
9	180	100	150
10	250	120	215
11	350	144	300
12	500	192	425
13	725	200	600
14	1000	288	1000
15	1500	400	1250
16	2000	576	1750
17	3000	1200	2500
18	4000	2400	3500
19	6000	4800	6000
20	10000	10000	10000

光量を調節する(NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときに使うと、被写体を鮮明に撮影できます。

ND FILTERスイッチ C を設定します。1/4NDは光量を約1/4に、1/16NDは約1/16に、1/64NDは約1/64に削減するようにそれぞれ設定されています。

⚠️ご注意

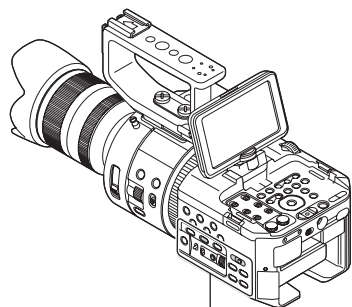
- 撮影中にND FILTERスイッチ C を切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- ND FILTERスイッチ C の位置(CLEAR、1/4ND、1/16ND、1/64ND)を検出できないときは、画面上に**ND**が点滅します。ND FILTERスイッチが正しく設定されているか確認してください。

💡ちょっと一言

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。ND FILTERスイッチ C を使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

色合いを調節する

自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。

A(A)またはB(B)を選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。

「PRESET」を選ぶと、あらかじめ (CAMERA SET)メニューの[WB PRESET]で選んだ[OUTDOOR]、[INDOOR]、[MANU WB TEMP]のいずれかが設定されます。

🗨️ ちょっと一言

- [WB PRESET]をASSIGNボタンに割り当てることができます(63ページ)。

1 AUTO/MANUALスイッチ[E]を「MANUAL」にする。

2 WHT BALボタン[A]を押して、WHT BAL表示を表示させる。

3 ホワイトバランスメモリースイッチ[B]を、PRESET/A/Bのいずれかにセットする。

■ A/Bの設定値

A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するときに設定します。

調整値を記憶する方法は47ページをご覧ください。







- 市販のNDフィルターをお使いの場合は、この調整を行うことをおすすめします。

■ PRESETの設定値









(CAMERA SET)メニュー → [WB PRESET]でお好みの設定を選ぶ。

設定値	撮影状況例
屋外 ([OUTDOOR])	<ul style="list-style-type: none">• 夜景やネオン、花火などを撮るとき• 日の出、日没などを撮るとき• 昼光色蛍光灯の下
屋内 ([INDOOR])	<ul style="list-style-type: none">• パーティ会場など照明条件が変化する場所• スタジオなどビデオライトの下• ナトリウムランプや水銀灯の下
色温度設定 ([MANU WB TEMP])	<ul style="list-style-type: none">• (CAMERA SET)メニュー → [WB TEMP SET]で、2300K～15000Kの範囲でお好みの色温度を設定できます(お買い上げ時の設定は6500K)。




☺ちよつと一言

- ☀ (OUTDOOR) に設定しているときに  (one push) ボタン  を押し SEL/PUSH EXEC ダイヤル  を回すと、屋外のホワイトバランス値を変更できます。-7 (青め) ~ 0 (標準、お買い上げ時の設定) ~ +7 (赤め) から選べます。メニューで設定することもできます ([WB OUTDOOR LEVEL]、[WB TEMP SET]、87ページ)。
- [MANU WB TEMP] に設定しているときに  (one push) ボタン  を押し SEL/PUSH EXEC ダイヤル  を回すと、色温度の値を変更できます。

メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

- AUTO/MANUAL スイッチ  を「MANUAL」にする。
- WHT BAL ボタン  を押し、WHT BAL 表示を表示させる。
- A () または B () を選ぶ。
- 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱい映す。
-  (one push) ボタン  を押し、 A または  B に調整値が記憶されます。取り込まれた色温度が3秒ほど表示されます。


📌ご注意

- ホワイトバランスの調整ができなかったときは、 A または  B が遅い点滅に変わりまます。被写体を適切に調節し、シャッタースピードをオートまたは1/60 (1/50) 付近に設定し、再度ホワイトバランスを調整してください。
- 撮影条件によって、ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります。調整終了前に他の操作を行いたいときは、ホワイトバランスメモリースイッチ  を一時的に他の位置へセットして、ホワイトバランスの調整を中止してください。

自動調整に戻すには

WHT BAL ボタン  を押し。


📌ご注意

- AUTO/MANUAL スイッチ  を「AUTO」にすると、他の手動調節 (アイリス、ゲイン、ISO 感度、シャッタースピード) も解除されます。

ブラックバランスを調整する

撮影条件などにより黒の色ずれが気になる場合、ブラックバランスを調整してください。また、レンズを交換した後も調整することをおすすめします。調整値は保持されます。

1 スタンバイ中にMENUボタンを押す。

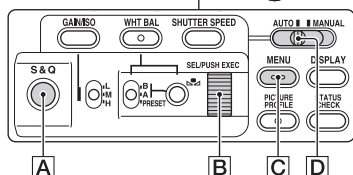
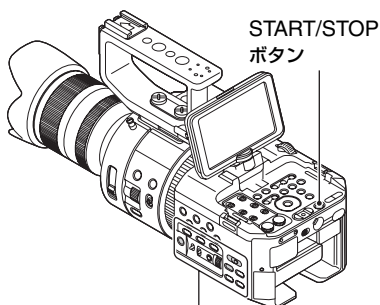
2 SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、 (CAMERA SET) メニュー → [BLACK BALANCE] を選ぶ。

3 画面に従って、レンズのフロントキャップを取り付け、[YES] を押し決定する。
調整が実行されます。

4 [Completed.] と表示されたら MENU ボタンを押して終了する。

[Could not adjust.] と表示されたときは再度実行する。

スロー&クイック撮影をする



スロー&クイックモーション撮影をする

再生するフレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。スロー&クイックモーション撮影は、ハイビジョン画質(HD)のみ行えます。

●ご注意

- スロー&クイックモーション撮影時は、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、またはSDカードのClass10以上をお使いください。
- クイックモーション撮影の場合、START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります(最大30秒程度)。液晶モニターの表示が[REC]で点滅している間は本体を操作せず、[STBY]に切り替わるまでお待ちください。
- 本機では、撮影を停止した後も再生時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を継続します。

1 MENUボタン[C]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[B]で、CAMERA SET)メニュー → [SLOW & QUICK] → [S&Q MOTION]で[REC FORMAT]/[FRAME RATE]を選ぶ。

[REC FORMAT]:録画されるフォーマットを以下から選べます。

[60i]選択時

1080/60p PS、1080/30p FX、
1080/30p FH、1080/24p FX、
1080/24p FH

[50i]選択時

1080/50p PS、1080/25p FX、
1080/25p FH

[FRAME RATE]:撮影時のフレームレートを以下から選べます。

[60i]選択時

1fps、2fps、4fps、8fps、15fps、
30fps、60fps

[50i]選択時

1fps、2fps、3fps、6fps、12fps、
25fps、50fps

- [FRAME RATE]と[REC FORMAT]の関係については、49ページをご覧ください。

3 [EXECUTE]を選ぶ。

スロー&クイックモーション撮影画面になります。

4 START/STOPボタンを押して、撮影を開始する。

記録を停止するには

START/STOPボタンを押す。

フレームレートの変更するには

スタンバイ中に、S&Qボタン[A]を長押しして、SEL/PUSH EXECダイヤル[B]で設定を変更できます。

S&Qボタンをもう1度長押しすると、元に戻ります。

解除するには

スタンバイ中に、S&Qボタン[A]またはMENUボタン[C]を押す。

スロー&クイックモーション時の
[FRAME RATE]と[REC FORMAT]
の設定による再生速度

録画フォーマットとフレームレートの設定によって、再生速度は以下のようになります。

[60i] 選択時

FRAME RATE	REC FORMAT		
	1080/24p	1080/30p	1080/60p
60	40% スロー	50% スロー	100% (標準)
30	80% スロー	100% (標準)	200% クイック
15	160% クイック	200% クイック	400% クイック
8	300% クイック	375% クイック	750% クイック
4	600% クイック	750% クイック	1500% クイック
2	1200% クイック	1500% クイック	3000% クイック
1	2400% クイック	3000% クイック	6000% クイック

[50i] 選択時

FRAME RATE	REC FORMAT	
	1080/25p	1080/50p
50	50% スロー	100% (標準)
25	100% (標準)	200% クイック
12	208% クイック	417% クイック
6	417% クイック	833% クイック
3	833% クイック	1667% クイック
2	1250% クイック	2500% クイック
1	2500% クイック	5000% クイック

❗ ご注意

- 連続撮影可能時間は約13時間ですが、スローモーション撮影時はそれより短い時間になります。
- スロー&クイックモーション撮影中は、フレームレートの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- スロー&クイックモーション撮影では、タイムコードは[REC RUN]で記録されます(98ページ)。
- 本機のPOWERスイッチを[OFF]にした場合も、スロー&クイックモーションは自動的に解除されます。ただしフレームレートの設定値は保持されます。
- 100%(標準)のときのみ音声を記録できます。
- メモリーカードとフラッシュメモリーユニットへの同時記録はできません。
- 標準画質(SD)では、スロー&クイックモーション撮影はできません。

スーパースローモーション撮影をする

再生フレームレートよりはるかに高いフレームレートで撮影することによって、通常で撮影した映像を低速再生するよりも、滑らかなスーパースローモーション映像が得られます。

⓪ ご注意

- スーパースローモーション撮影時は、「メモリースティックPRO-HGデュオ」またはSDカードのClass10以上をお使いください。
- スーパースローモーション撮影の場合、START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります(最大6分程度)。液晶モニターの表示が[REC]で点滅している間は本体を操作せず、[STBY]に切り替わるまでお待ちください。
- 本機では、撮影を停止した後も撮影時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を継続します。

1 MENUボタン[C]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[B]で、 (CAMERA SET)メニュー → [SLOW & QUICK] → [SUPER SLOW MOTION]で [FRAME RATE]/[REC FORMAT]/[REC TIMING]を選ぶ。

[FRAME RATE]:撮影時のフレームレートを以下から選べます。

[60i] 選択時

120fps、240fps、480fps、960fps

[50i] 選択時

100fps、200fps、400fps、800fps

[REC FORMAT]:録画されるフォーマットを以下から選べます。

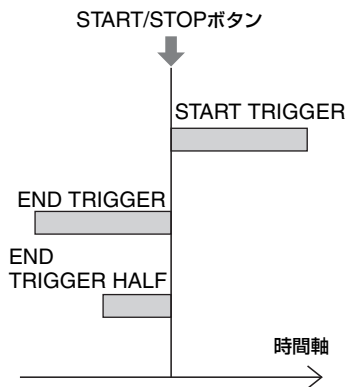
[60i] 選択時

1080/60p PS、1080/30p FX、
1080/30p FH、1080/24p FX、
1080/24p FH

[50i] 選択時

1080/50p PS、1080/25p FX、
1080/25p FH

[REC TIMING]:START/STOPボタンを押したときに録画するタイミングを選べます。



- [FRAME RATE]と[REC FORMAT]の関係については、51ページをご覧ください。
- [REC TIMING]による録画時間の違いについては、51ページをご覧ください。

3 [EXECUTE]を選ぶ。

スーパースローモーション撮影画面になります。

4 START/STOPボタンを押して、撮影を開始する。

録画時間を手動で決めたいときは

[REC TIMING]を[START TRIGGER]にしているときは、START/STOPボタンを押して、お好みのタイミングで撮影を止められます。

フレームレートの設定を変更するには

撮影スタンバイ画面で、S&Qボタン[A]を長押しして、SEL/PUSH EXECダイヤル[B]でフレームレートの値を変更できます。

S&Qボタンをもう1度長押しすると、元に戻ります。

撮影に失敗したときは

記録中の画面で[Cancel]をタッチして、記録を中止できます。中止するため、撮影内容は保存されません。

撮影をすぐにやり直したいときに便利です。

解除するには

スタンバイ中に、S&Qボタン[A]またはMENUボタン[C]を押す。

スーパースローモーション時の[FRAME RATE]と[REC FORMAT]の設定による再生速度

録画フォーマットとフレームレートの設定によって、再生速度は以下ようになります。

[60i]選択時

FRAME RATE	REC FORMAT		
	1080/24p	1080/30p	1080/60p
960	2.5% スロー	3.125% スロー	6.25% スロー
480	5% スロー	6.25% スロー	12.5% スロー
240	10% スロー	12.5% スロー	25% スロー
120	20% スロー	25% スロー	50% スロー

[50i]選択時

FRAME RATE	REC FORMAT	
	1080/25p	1080/50p
800	3.125% スロー	6.25% スロー
400	6.25% スロー	12.5% スロー
200	12.5% スロー	25% スロー
100	25% スロー	50% スロー

[REC TIMING]と[FRAME RATE]の設定による記録時間

録画タイミングとフレームレートの設定によって、記録できる時間の目安は以下のようになります。

[60i]選択時


FRAME RATE	REC TIMING		
	START TRIGGER	END TRIGGER	END TRIGGER HALF
960	19秒	19秒	9秒
480	10秒	10秒	5秒
240	8秒	8秒	4秒
120	16秒	16秒	8秒

スロー&クイック撮影をする(つづき)

[50i] 選択時

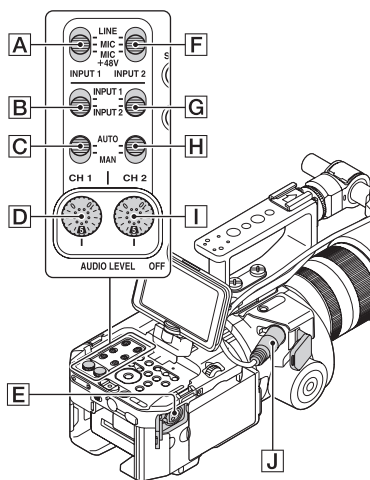
FRAME RATE	REC TIMING		
	START TRIGGER	END TRIGGER	END TRIGGER HALF
800	23秒	23秒	11秒
400	12秒	12秒	6秒
200	9秒	9秒	5秒
100	19秒	19秒	10秒

ⓘ 注意

- スーパースローモーション撮影は、AUTO/MANUALスイッチ[D]が「MANUAL」のときのみ行えます。また、アイリス、ゲイン、シャッタースピードが手動に固定されます。
- [FRAME RATE]で[960]([800])を選択した場合、表示、記録される映像が約2倍テレシフトします。
- [FRAME RATE]で[480]、[960]([400]、[800])を選択した場合、通常撮影時より画質は劣化します。
- スーパースローモーション記録中にゲインやシャッタースピードの操作をしたり、ホワイトバランスを変更すると、液晶モニター上の映像は変化しますが、記録した映像には撮影終了時点のカメラ設定が反映されます。
- スーパースローモーション撮影中は、フレームレートの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- スーパースローモーション撮影では、タイムコードは[REC RUN]で記録されます(98ページ)。
- 本機のPOWERスイッチを「OFF」にした場合も、スーパースローモーションは自動的に解除されます。ただしフレームレートの設定値は保持されます。
- スーパースローモーション撮影では、フリッカー補正が効きません。
- 音声は記録できません。
- メモリーカードとフラッシュメモリーユニットへの同時記録はできません。
- シャッタースピードはフレームレートより低速の値は選べません。
- スーパースローモーション撮影では、 (one push) (取り込み) ボタンは使用できません。

音の設定をする

下の端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。マイクの接続については、25ページをご覧ください。



外部音声の入力端子と切り換えスイッチ

- INPUT 1端子[E]
- INPUT 2端子[J]
- INPUT 1スイッチ[A]
- INPUT 2スイッチ[F]

音源の設定用スイッチ

- CH1(INPUT 1/INPUT 2)スイッチ[B]
- CH2(INPUT 1/INPUT 2)スイッチ[G]

音源レベルの設定用スイッチ

- CH 1(AUTO/MAN)スイッチ[C]
- CH 2(AUTO/MAN)スイッチ[H]
- AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル[D]
- AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル[I]

付属のマイクで収録する

モノラル音声を収録できます。

1 付属のマイクを取り付け(25ページ)、INPUT 2端子[J]につなぐ。

2 CH 1(INPUT 1/INPUT 2)スイッチ[B]とCH 2(INPUT 1/INPUT 2)スイッチ[G]を「INPUT 2」にする。

CH1とCH2の両方に同じ音声が記録されます。

3 INPUT 2スイッチ[F]を「MIC+48V」にする。

外部音声機器などを使う

付属マイク以外のマイクや外部音声機器を使う場合は、以下のように設定してください。

1 入力する音源を選ぶ。

INPUT 1/INPUT 2端子に接続する機器に合わせて、INPUT 1/INPUT 2スイッチを設定します。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器(ミキサーなど)	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源(ファンタム電源)対応のマイク	MIC+48V





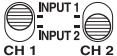


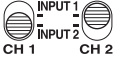


- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音に気になるときは、INPUT 1/INPUT 2スイッチを「LINE」にしてください。

2 マイクの入力レベルを設定する。

- メニューの[INPUT 1 TRIM]/[INPUT 2 TRIM](92ページ)でXLRマイクの入力レベルを設定できます。マイクの感度に応じて調節してください。付属マイク(ECM-XM1)の場合は、「0dB」をおすすめします。
- 入力レベルは、-60dBu(+12dB)～-30dBu(-18dB)の範囲で、6dBごとに設定できます。お買い上げ時の設定は、-48dBu(0dB)です。

3 録音するチャンネルを選ぶ。

CH 1/CH 2スイッチで、それぞれのチャンネルに録音する音声を選びます。

入力端子と録音されるチャンネル	スイッチの設定
INPUT 1  CH1 CH2	 INPUT 1 INPUT 2 CH 1 CH 2
INPUT 1  CH1 INPUT 2  CH2	 INPUT 1 INPUT 2 CH 1 CH 2
INPUT 1  CH1 INPUT 2  CH2	 INPUT 1 INPUT 2 CH 1 CH 2
INPUT 2  CH1 CH2	 INPUT 1 INPUT 2 CH 1 CH 2

音の設定をする(つづき)

🗣️ちょっと一言

- XLRプラグが2個付いているステレオマイクを使うときは、INPUT 1端子にL(左)チャンネル、INPUT 2端子にR(右)チャンネルを接続し、CH 1スイッチをINPUT 1、CH 2スイッチをINPUT 2に設定してください。

好みの音量に設定する

INPUT 1/INPUT 2端子に取り付けたマイクを好みの音量に調節できます。

1 調節するチャンネルのAUTO/MANスイッチ(ⒸまたはⒽ)を「MAN」にする。

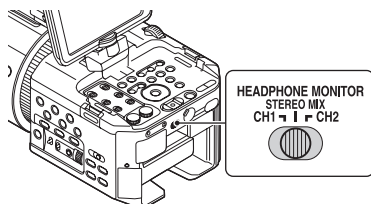
画面に $\text{M}\frac{1}{2}$ が表示されます。

2 撮影中またはスタンバイ中に、調節するチャンネルのAUDIO LEVELダイヤル(ⒹまたはⒾ)を回して、マイク音量を調節する。

自動調整に戻すには

手動調節したチャンネルのAUTO/MANスイッチ(ⒸまたはⒽ)を「AUTO」にする。

ヘッドホンの音声を設定する

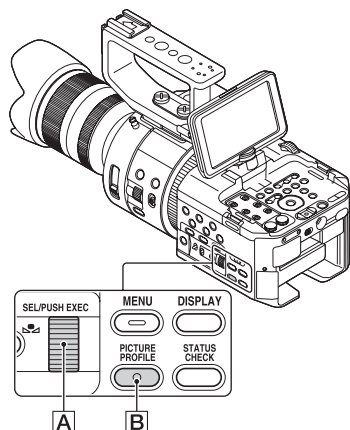


ヘッドホンの音声をCH1/CH2に切り換えます。

「STEREO MIX」時の音声については、[HEADPHONE OUT]をご覧ください(92ページ)。

便利な機能を使う

あらかじめ設定した画質で撮る
(ピクチャープロフィール)



[GAMMA]や[DETAIL]などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、[PP1]から[PP6]に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

④ご注意

- 動画と静止画で設定値が共通のため、撮影モードを変更した場合は設定値を調節してください。

ピクチャープロフィール番号	設定例
PP1	[STANDARD]ガンマを用いた設定例
PP2	[STILL]ガンマを用いた設定例
PP3	[ITU-709]ガンマを用いた自然な色合いの設定例
PP4	[ITU-709]規格に忠実な色合いの設定例
PP5	[CINE1]ガンマを用いた設定例
PP6	[CINE2]ガンマを用いた設定例

これらの設定例は動画用の設定です。静止画モードで使用する場合は、設定値を調節してください。

1 スタンバイ中にPICTURE PROFILEボタン \square を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル A を回してピクチャープロフィール番号を選び、押して決定する。

選択したピクチャープロフィールの設定で撮影できます。

3 SEL/PUSH EXECダイヤル A を回して[OK]を選び、押して決定する。

ピクチャープロフィール撮影をやめるには

手順2で[OFF]を選び、SEL/PUSH EXECダイヤル A を押して決定します。

便利な機能を使う(つづき)

ピクチャープロファイルの内容を変更するには

[PP1]～[PP6]の設定内容を変更できません。

- ① PICTURE PROFILEボタン[B]を押す。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して設定を変更するピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[SETTING]を選び、押して決定する。
- ④ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して調節したい項目を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して画質を調節し、押して決定する。
- ⑥ 手順④、⑤を繰り返して他の項目を調節する。
- ⑦ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[↩RETURN]を選び、押して決定する。
- ⑧ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[OK]を選び、押して決定する。
ピクチャープロファイルの表示が出ます。

BLACK LEVEL

黒レベルを設定する。

設定項目	調節する内容
	黒レベルを設定する。 -15~+15

GAMMA

ガンマカーブを選ぶ。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	動画用の標準ガンマカーブ
[STILL]	静止画用の標準ガンマカーブ
[CINE1]	暗部のコントラストをなだらかにし、かつ明部の諧調変化をはっきりさせて、落ち着いた調子の映像にする(HG4609G33相当)。
[CINE2]	[CINE1]とほぼ同様の効果が得られるが、編集などにおいてビデオ信号100%以内で扱いたいときは、こちらを選択する(HG4600G30相当)。
[CINE3]	[CINE1]、[CINE2]より明部と暗部のコントラストを強め、かつ黒側の諧調変化をはっきりさせる。
[CINE4]	[CINE3]よりさらに暗部のコントラストを強める。[STANDARD]より暗部のコントラストは弱く、明部のコントラストは強い。
[ITU709]	ITU-709相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン:4.5

BLACK GAMMA

低輝度部のガンマ補正をする。

設定項目	調節する内容
[RANGE]	補正範囲を選ぶ。 HIGH / MIDDLE / LOW
[LEVEL]	補正の強さを設定する。 -7(ブラックコンプレッス最大)~+7(ブラックストレッチ最大)

便利な機能を使う(つづき)

KNEE

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白つぶれを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

[GAMMA]で[CINE1]、[CINE2]、[CINE3]、[CINE4]、[STILL]を選択しているときは、[MODE]を[AUTO]にしていると[KNEE]は[OFF]になります。[MODE]を[MANUAL]にすると[KNEE]の機能を使用できます。

設定項目	調節する内容
[MODE]	自動/手動設定を選ぶ。 [AUTO] : ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。 [MANUAL] : ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。
[AUTO SET]	[AUTO]を選択した場合の設定 [MAX POINT] : ニーポイントの最大値を設定する。 90%~100% [SENSITIVITY] : 感度を設定する。 HIGH / MIDDLE / LOW
[MANUAL SET]	[MANUAL]を選択した場合の設定 [POINT] : ニーポイントを設定する。 75%~105% [SLOPE] : ニースロープの傾きを設定する。 -5(傾きが小さい)~+5(傾きが大い) +5に設定すると、[KNEE]は[OFF]になります。

COLOR MODE

発色のタイプやレベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[TYPE]	発色のタイプを設定する。 [STANDARD] : [GAMMA]が[STANDARD]のときに適した色合い。 [STILL] : [GAMMA]が[STILL]のときに適した色合い。 [CINEMA] : [GAMMA]が[CINE1]のときに適した色合い。 [PRO] : ソニー業務用カメラの標準画質に近い色合い (ITU-709と組み合わせをした場合)。 [ITU709 MATRIX] : ITU-709相当。
[LEVEL]	[TYPE]を[STANDARD]以外に設定したとき、標準の色合いと選択したタイプの色合いとの間で発色のレベルを設定する。 1(選択したタイプの効果を弱めて標準に近づける)~8(選択したタイプの効果をそのまま使う)

COLOR LEVEL

色の濃さを設定する。

設定項目	調節する内容
	-8:白黒で撮影する、-7(薄くなる)~+7(濃くなる)

COLOR PHASE

色相を設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(緑がかる)～+7(赤みがかる)

COLOR DEPTH

色の深さを色相別に変更する。

濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。-側にすると明るくなり、色が浅く見える。[COLOR LEVEL]を-8(モノトーン)にしたときにも有効。

設定項目	調節する内容
[R]	-7(赤が浅くなる)～+7(赤が深くなる)
[G]	-7(緑が浅くなる)～+7(緑が深くなる)
[B]	-7(青が浅くなる)～+7(青が深くなる)
[C]	-7(シアンが浅くなる)～+7(シアンが深くなる)
[M]	-7(マゼンタが浅くなる)～+7(マゼンタが深くなる)
[Y]	-7(黄が浅くなる)～+7(黄が深くなる)

WB SHIFT

ホワイトバランスシフトを設定する。

フィルターのタイプによって、調節できる項目が異なります。

設定項目	調節する内容
[FILTER TYPE]	ホワイトバランスをシフトさせる色の組み合わせを選ぶ。 [LB-CC] : フィルムタイプ(色温度変換と色補正をする) [R-B] : ビデオタイプ(RとBのレベルを補正する)
[LB [COLOR TEMP]]	色温度変換の設定をする。 -9(青みがかる)～+9(赤みがかる)
[CC [MG/GR]]	色補正の設定をする。 -9(緑がかる)～+9(マゼンタがかる)
[R GAIN]	Rのレベルを設定する。 -9(Rのレベルが下がる)～+9(Rのレベルが上がる)
[B GAIN]	Bのレベルを設定する。 -9(Bのレベルが下がる)～+9(Bのレベルが上がる)

便利な機能を使う(つづき)

DETAIL

ディテールを設定する。

設定項目	調節する内容
[LEVEL]	[DETAIL]の強さを設定する。 -7~+7
[MANUAL SET]	[ON/OFF] : [DETAIL]の手動詳細設定をON/OFFする。 [ON]にすると、[DETAIL]の手動詳細設定を行う (自動最適化は行われない)。 [V/H BALANCE] : 垂直(V)DETAIL/水平(H)DETAILのバランスを 設定する。 -2(垂直(V)が強い)~+2(水平(H)が強い) [B/W BALANCE] : 下側(B)DETAIL/上側(W)DETAILのバランスを 選ぶ。 TYPE1(下側(B)が強い)~TYPE5(上側(W)が 強い) [LIMIT] : [DETAIL]のリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい)) ~7(リミットレベルが高い(リミットされにくい)) [CRISPENING] : クリスプニングレベルを設定する。 0(クリस्पニングレベルが浅い)~7(クリस्पニ ングレベルが深い) [HI-LIGHT DETAIL] : 高輝度部分のDETAILレベルを設定する。 0~4

COPY

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

RESET

ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

ボタンの位置は、55ページをご覧ください。

- ① PICTURE PROFILE ボタン **[B]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回してコピー元のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回して [SETTING] → [COPY] を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回してコピー先のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回して [YES] → [↵ RETURN] → [OK] を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。ボタンの位置は、55ページをご覧ください。

- ① PICTURE PROFILE ボタン **[B]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回してお買い上げ時の設定に戻したいピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回して [SETTING] → [RESET] → [YES] → [↵ RETURN] → [OK] を選ぶ。

タイムデータを設定する

本機では、タイムコード、ユーザービットなどのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。

タイムコードを設定する

- ① MENU ボタンを押し、SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して **[00:00]** (TU/UB SET) × ニュー → [TC PRESET] を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して [PRESET] を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。タイムコードは以下の範囲で設定します。
[60i] 選択時
00:00:00:00 ~ 23:59:59:29
• 24p設定時は、末尾2桁を0~23のうちの4の倍数のフレームで設定できます。
[50i] 選択時
00:00:00:00 ~ 23:59:59:24
- ④ 手順 ③ と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して [OK] を選び、押して決定する。

タイムコードをリセットするには

「タイムコードを設定する」の手順②で [RESET] を選び、タイムコードをリセット(00:00:00:00)します。

リモコンを使ってタイムコードをリセットするには

リモコンのTC RESETボタンを押しても、タイムコードをリセット(00:00:00:00)できません。

便利な機能を使う(つづき)

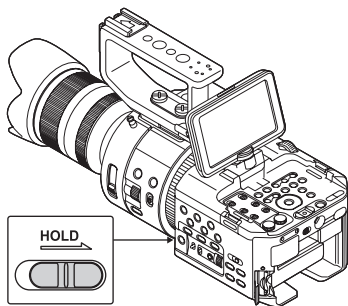
ユーザーピットを設定する

- ① MENU ボタンを押し、SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して 00:00 (TU/UB SET)メニュー → [UB PRESET] を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して [PRESET] を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して最初の 2 桁の数値を選び、押して決定する。
- ④ 手順 ③ と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して [OK] を選び、押して決定する。

ユーザーピットをリセットするには「ユーザーピットを設定する」の手順②で [RESET] を選び、ユーザーピットをリセット(00 00 00 00)します。

誤操作を防止する(HOLDスイッチ)

誤操作による撮影ミスを防止するのに便利です。



HOLDスイッチを矢印の方向にずらす。

お買い上げ時の設定では、START/STOP ボタン、PHOTOボタン以外の操作がロックされます。

解除するには

HOLDスイッチの黄色部分が見えなくなるまで、矢印の反対方向にずらす。

⚠️ ご注意

- ロックされている間に設定が変更された場合、解除したタイミングで設定が反映されます。
- 以下のボタンやスイッチはロックできません。
 - POWERスイッチ
 - ND FILTERスイッチ
 - AUDIO LEVEL (CH1/CH2)ダイヤル
 - CH1/CH2 (INPUT1/INPUT2)スイッチ
 - レンズのボタン
 - ワイヤレスリモコンの十字キーとENTERキー以外のボタン

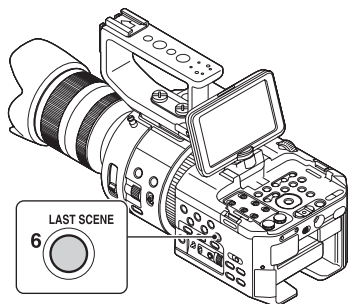
💡 ちょっと一言

- [HOLD SW MODE] でロックされる機能を変更できます(101ページ)。

ASSIGN ボタンに機能を割り当てる

最後に撮影した映像を再生する (ラストシーンレビュー)

直前に記録したシーンを画面で確認できます。



録画を停止したら、LAST SCENE ボタンを押す。

最後のシーンの先頭から再生が始まります。終わりまで再生すると終了し、スタンバイに戻ります。

レビューを中断するには

再生中にLAST SCENEボタンを押すと中断し、スタンバイに戻ります。

⚠️ ご注意

- 録画後に編集やメディアの抜き差しなどの操作を行った場合、ラストシーンレビューが正しく実行できない場合があります。
- スーパースローモーション中は、ラストシーンレビューが実行できません。

🗣️ ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(63ページ)。

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作することができます。ASSIGN1～6ボタンに1つずつ割り当てられます。各機能については、「メニュー一覧」(82ページ)をご覧ください。

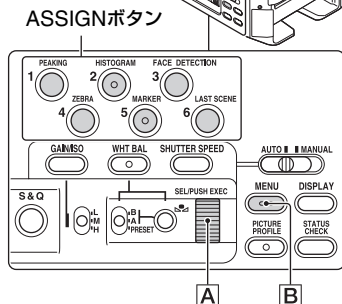
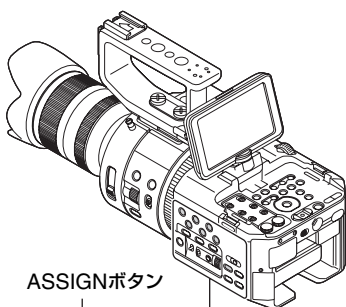
お買い上げ時にASSIGNボタンに割り当てられている機能

- ASSIGN1: PEAKING(94ページ)
- ASSIGN2: HISTOGRAM(93ページ)
- ASSIGN3: FACE DETECTION(38ページ)
- ASSIGN4: ZEBRA(94ページ)
- ASSIGN5: MARKER(94ページ)
- ASSIGN6: LAST SCENE(63ページ)

割り当てられる機能

- —(機能なし)
- EXPANDED FOCUS(37ページ)
- LAST SCENE REVIEW(63ページ)
- WB PRESET(46ページ)
- AE SHIFT(87ページ)
- STEADYSHOT(87ページ)
- SPOT FOCUS(38ページ)
- FACE DETECTION(38ページ)
- COLOR BAR(89ページ)
- HISTOGRAM(93ページ)
- ZEBRA(94ページ)
- PEAKING(94ページ)
- MARKER(94ページ)
- CAMERA DATA DISPLAY(95ページ)
- AUDIO LEVEL DISPLAY(96ページ)
- REC LAMP[F](100ページ)
- REC LAMP[R](101ページ)
- VISUAL INDEX(65ページ)
- FOCUS TRANSITION(39ページ)

ASSIGNボタンに機能を割り当てる(つづき)



- [FOCUS TRANSITION]を選んだときは、[YES]を選んで、手順5から行ってください。


4 SEL/PUSH EXECダイヤル**[A]**
を回して割り当てる機能を選び、
押し決定する。

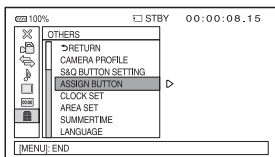
5 SEL/PUSH EXECダイヤル**[A]**
を回して[OK]を選び、押し決定
する。

💡ちよっと一言

- [FOCUS TRANSITION]はASSIGN4/5/6ボタンに割り当てられます(39ページ)。
[FOCUS TRANSITION]の割り当てを解除すると、設定前の割り当てに戻ります。
- [FOCUS TRANSITION]を解除するには、手順3で[FOCUS TRANSITION] → [YES]を再度選んでください。

1 MENUボタン**[B]**を押す。

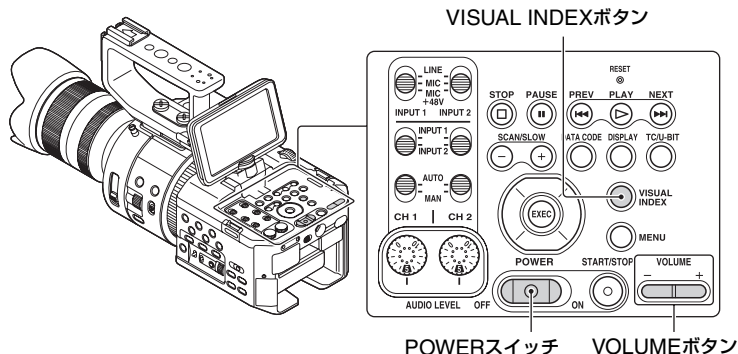
2 SEL/PUSH EXECダイヤル**[A]**
で  (OTHERS)メニュー →
[ASSIGN BUTTON]を選ぶ。



3 SEL/PUSH EXECダイヤル**[A]**
を回して設定したいASSIGNボ
タンを選び、押し決定する。

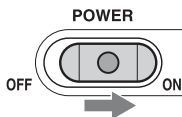
- 機能が割り当てられていないボタンには、
[-----]が表示されます。

本機で再生する



動画を再生する

- 1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。



- 2 VISUAL INDEXボタンを押す。

数秒後にVISUAL INDEX画面が表示されます。

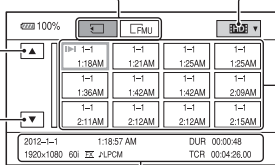
記録メディア

再生モード

前へ

次へ

選ばれている動画の
情報(66ページ)

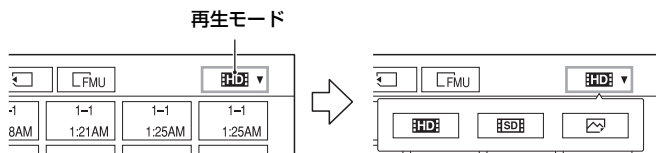


動画のサムネイル

- DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示できます。

3 動画を再生する。

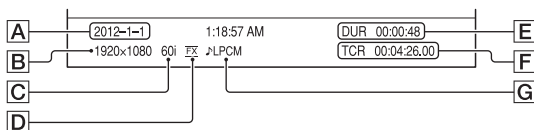
- 再生したい記録メディアをタッチする。
 :メモリーカード
 FMU :フラッシュメモリーユニット
- 再生モードをタッチして、表示される再生モードから選ぶ。



HD : ハイビジョン画質 (HD)

SD : 標準画質 (SD)

- 再生したい動画のサムネイルを 2 度タッチする。
 ◀/▶/⏪/⏩ ボタンで再生したいサムネイルを選択して、EXEC ボタンを押すことでも再生できます。
 サムネイルを 1 度タッチすると画面の下部分にタッチした動画の情報が表示されます。



A 撮影開始日時

B 動画の解像度

C フレームレート

D 録画モード

E 動画記録時間

F 記録開始タイムコード

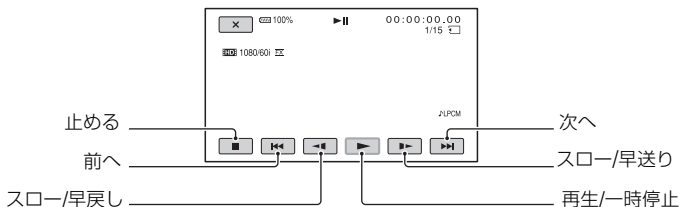
タイムコードが記録されていない記録メディアや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録された記録メディアを再生すると、タイムコードが正常に表示されません。

G LPCM 記録

音声は LPCM 記録されている場合にのみ表示されます。標準画質 (SD) の動画の場合は表示されません。

- 最後に再生・撮影した動画に▶が表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。

動画の再生が始まります。



📢ご注意

- サムネイルに1度タッチしてPLAYボタンを押すと、最後に記録した場面または最後に再生した場面が再生されます。

🗨️ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、VISUAL INDEX画面に戻ります。
- 一時停止中に◀️/▶️をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、⏮️/⏭️をタッチする回数によって、約5倍速 → 約10倍速 → 約30倍速 → 約60倍速で再生されます。
- VISUAL INDEX画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」といいます。
- 再生中は、本機のPREV/PLAY/NEXT/STOP/PAUSE/SCAN/SLOWボタンを使っても操作ができません。

音量を調節するには

VOLUMEボタンで調節する。

撮影モードに戻すには

VISUAL INDEXボタンを押す。

再生に際してのご注意

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。
- SDカードに記録した標準画質 (SD) の動画は、他社製のAV機器では再生できません。

静止画を再生する

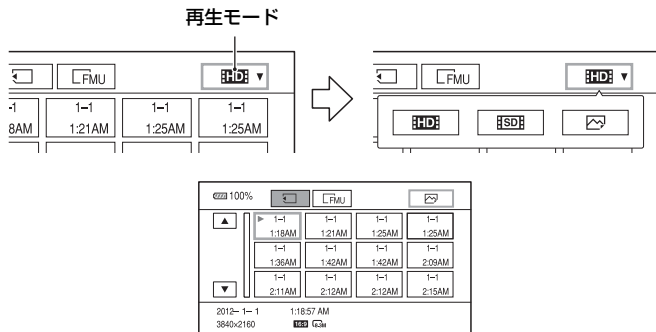
静止画を再生する。

- ① VISUAL INDEX 画面で、再生したい記録メディアをタッチする。

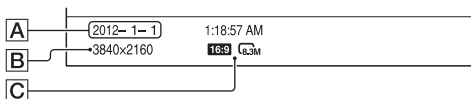
◀ :メモリーカード

CFMU :フラッシュメモリーユニット

- ② 再生モードで、🖼️ (静止画) を選ぶ。

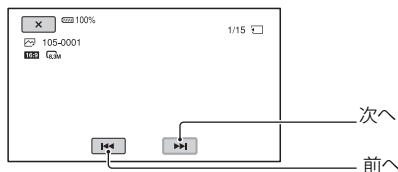


- ③ 再生したい静止画のサムネイルを 2 度タッチする。
サムネイルを 1 度タッチすると画面の下部分にタッチした静止画の情報が表示されます。

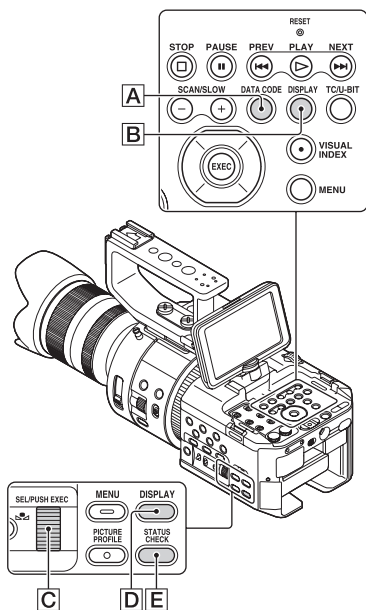


- A 撮影日時
- B 縦横解像度
- C 画像サイズ

静止画が再生されます。



本機の設定を変更 / 確認する



画面表示を切り換える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAYボタン([B]または[D])を押す。

押すたびに、非表示 ↔ 表示と切り替わります。撮影モードのときは、詳細表示 → 簡易表示 → 非表示の順に切り替わります。

👁️ ちよつと一言

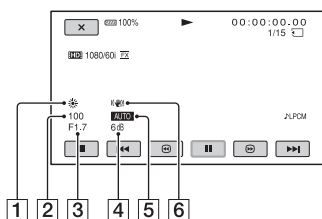
- テレビにつないで見るときは、[DISPLAY OUTPUT]を[ALL OUTPUT]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます(97ページ)。

再生時に情報を表示する(データコード)

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に表示できます。

再生または一時停止中に**DATA CODE**ボタン[A]を押す。

押すたびに、日付時刻表示 → カメラデータ → 表示なしの順に切り替わります。



- 1 ホワイトバランス
[MANU WB TEMP]で撮影した画像を再生すると、**PWB**が表示されます。
- 2 シャッタースピード
- 3 アイリス
- 4 ゲイン / ISO 感度
- 5 明るさ調節
アイリス、ゲイン、ISO 感度、シャッタースピードを自動調整で撮影すると**AUTO**、手動調節で撮影すると**MANUAL**と表示されます。
- 6 手ブレ補正

📌 ご注意

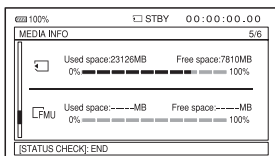
- 静止画再生時は、露出補正值(EV)とシャッタースピード、アイリス、ISO感度、フラッシュの有無が表示されます。
- 本機で撮影したメモリーカードを他機で再生した際に、正しいカメラデータの情報が表示されないことがあります。正しいカメラデータは本機でご確認ください。

再生する

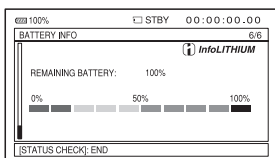
本機の設定を確認する(ステータスチェック)

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

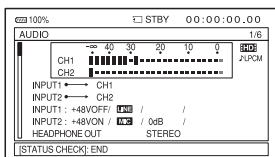
- 音声に関する設定(92ページ)
- 出力に関する設定(90ページ)
- ASSIGNボタンに割り当てた機能(63ページ)
- カメラに関する設定(85ページ)
- 記録メディア情報
使用領域と空き領域の目安を確認できます。



- バッテリーインフォ
装着しているバッテリー残量を確認できます。



1 STATUS CHECKボタン[E]を押す。



2 SEL/PUSH EXECダイヤル[C]を回して、項目を表示する。

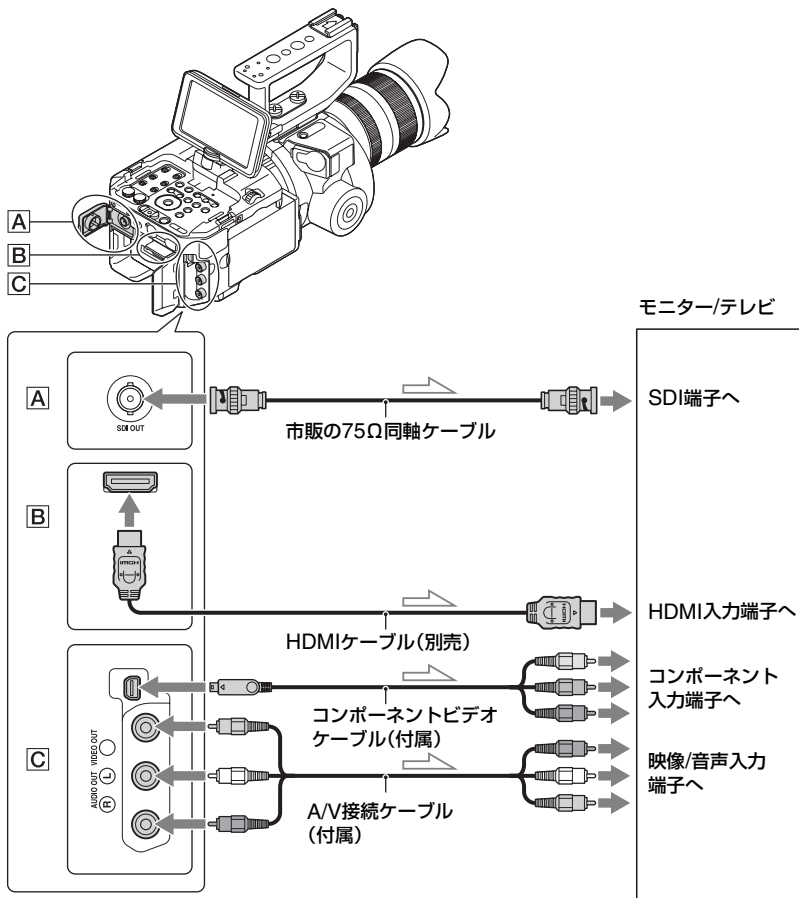
AUDIO → OUTPUT → ASSIGN → CAMERA → MEDIA INFO → BATTERY INFOの順に切り替わります。

起動時の条件によって、表示されないものもあります。

情報表示を消すには
STATUS CHECKボタン[E]を押す。

モニターやテレビにつなぐ

モニターやテレビの種類、接続する端子によって接続方法や、再生される画質が異なります。



[OUTPUT SELECT]が[SDI/HDMI/COMPONENT]のとき、SDI OUT端子、HDMI OUT端子、COMPONENT OUT端子は同時に出力できます。同時に出力されるときフォーマットについては、90ページをご覧ください。

[OUTPUT SELECT]が[VIDEO]のときのみ、VIDEO OUT端子から出力できます。

出力解像度について

[OUTPUT SELECT]の設定が[SDI/HDMI/COMPONENT]のとき、[VIDEO OUT]の[SDI/HDMI/COMPONENT]の設定によって、出力解像度が変わります。

[60i]選択時

HD/SD	[SDI/HDMI/ COMPONENT]の設定	出力解像度			
		SDI OUT	HDMI OUT	COMPONENT OUT	VIDEO OUT
HD	1080p/480i	1080p*	1080p*	1080p	出力しない
	720p/480i	720p	720p	720p	出力しない
	1080i/480i	1080i	1080i	1080i	出力しない
	480p	出力しない	480p	480p	出力しない
	480i	480i	480i	480i	出力しない
SD	1080p/480i	480i	480i	480i	出力しない
	720p/480i	480i	480i	480i	出力しない
	1080i/480i	480i	480i	480i	出力しない
	480p	出力しない	480p	480p	出力しない
	480i	480i	480i	480i	出力しない

* [HD] REC FORMAT]で、30p または 24p を選んで撮影した動画の場合、[VIDEO OUT]の[24p/30p OUTPUT]の設定によって出力される解像度が以下のように変わります。

[HD] REC FORMAT]	[24p/30p OUTPUT]	出力解像度	
		SDI OUT	HDMI OUT
1080/30p FX 1080/30p FH	60p(Pull Down)	1080/60p	1080/60p
	24p/30p	1080/30p	1080/30p
	24PsF/30PsF	1080/30PsF	1080/30p
1080/24p FX 1080/24p FH	60p(Pull Down)	1080/60p	1080/60p
	24p/30p	1080/24p	1080/24p
	24PsF/30PsF	1080/24PsF	1080/24p

[50i]選択時

HD/SD	[SDI/HDMI/ COMPONENT]の設定	出力解像度			
		SDI OUT	HDMI OUT	COMPONENT OUT	VIDEO OUT
HD	1080p/576i	1080p**	1080p**	1080p	出力しない
	720p/576i	720p	720p	720p	出力しない
	1080i/576i	1080i	1080i	1080i	出力しない
	576p	出力しない	576p	576p	出力しない
	576i	576i	576i	576i	出力しない

HD/SD	[SDI/HDMI/ COMPONENT]の設定	出力解像度			
		SDI OUT	HDMI OUT	COMPONENT OUT	VIDEO OUT
SD	1080p/576i	576i	576i	576i	出力しない
	720p/576i	576i	576i	576i	出力しない
	1080i/576i	576i	576i	576i	出力しない
	576p	出力しない	576p	576p	出力しない
	576i	576i	576i	576i	出力しない

** [HD] REC FORMAT で、25p を選んで撮影した動画の場合、[VIDEO OUT] の [25p OUTPUT] の設定によって出力される解像度が以下のように変わります。

[HD] REC FORMAT	[25p OUTPUT]	出力解像度	
		SDI OUT	HDMI OUT
1080/25p FX	50p(Pull Down)	1080/50p	1080/50p
1080/25p FH	25p	1080/25p	1080/25p
	25PsF	1080/25PsF	1080/25p

ⓘ ご注意

- [OUTPUT SELECT] の設定によって、信号を出力する端子を選択できます。
- [SDI/HDMI/COMPONENT] を [480p] ([60i] 選択時) または [576p] ([50i] 選択時) に設定すると、SDI OUT 端子から信号を出力できません。
- [OUTPUT SELECT] の設定が [VIDEO] のとき、VIDEO OUT 端子から 480i ([60i] 選択時) または 576i ([50i] 選択時) で出力されます。
- HDMI ケーブルは HDMI ロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を HDMI OUT 端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因になります。
- [HD] REC FORMAT と [24p/30p OUTPUT] ([60i] 選択時) または [25p OUTPUT] ([50i] 選択時) の設定によって、変換して出力されます。
- [HD] REC FORMAT が [1080/60p PS] ([60i] 選択時) または [1080/50p PS] ([50i] 選択時) のとき、もしくはスロー&クイックモーション、スーパースローモーションの録画中に 720p と 480p ([60i] 選択時) または 576p ([50i] 選択時) の出力ができません。[SDI/HDMI/COMPONENT] の設定が [720p/480i] ([60i] 選択時) または [720p/576i] ([50i] 選択時) もしくは [480p] ([60i] 選択時) または [576p] ([50i] 選択時) になっていると、録画中は黒い画面になります。
- テレビやモニターに出力中、編集画面を表示するとメニューの一部が正しく表示できない場合があります。
- 本機はブラビアリンクに対応しておりません。

編集する

記録した動画・静止画を保護する(プロテクト)

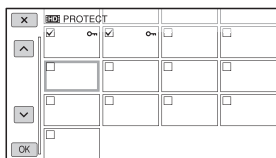
動画・静止画を誤って削除してしまうことを防げます。

1 VISUAL INDEX画面でMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して \square (EDIT)メニュー → [PROTECT]を選ぶ。

3 プロテクトしたい動画・静止画をタッチする。

画像に✓マークが表示されます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。[X]で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

4 \square → \square → \square をタッチする。

プロテクトを解除するには

手順**3**で✓マークがついている動画・静止画をタッチする。

✓マークが消えます。

動画を分割する

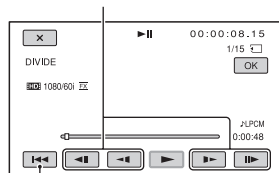
指定した場面で動画を分割できます。

1 動画の再生中にMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して \square (EDIT)メニュー → [DIVIDE]を選ぶ。

3 分割したい場面でIIをタッチする。

IIで場面を決定してから、これらのボタンで微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

4 \square → \square をタッチする。

④ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプター、分割対象の記録メディアを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、IIで決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。
- プロテクトされた動画は分割できません。分割するにはプロテクトを解除してください(74ページ)。

🗨️ちょっと一言

- 本機では簡単な編集ができます。さらに編集する場合は、市販のソフトウェアをお使いください。

動画・静止画を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分の記録メディアの容量を元に戻せます。

ⓘ ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター、削除対象の記録メディアを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(74ページ)。
- 大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください(103、107ページ)。

💡 ちょっと一言

- 記録メディアに保存されているすべてのデータを削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(78ページ)。

- プロテクトされている画像にはサムネイルの右上に🔒が表示されます。
- プロテクトされている画像にはチェックボックスは表示されません。

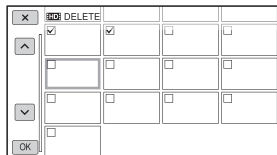
4 → → をタッチする。

1 VISUAL INDEX画面でMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して (EDIT)メニュー → [DELETE] を選ぶ。

3 削除する動画・静止画をタッチする。

画像に✓マークが表示されます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

動画・静止画をコピーする

撮影した動画や静止画を以下のメディア間でコピーできます。


メモリーカード ↔ フラッシュメモリーユニット

メモリーカード → 外付けメディア

フラッシュメモリーユニット → 外付けメディア

コピーする際は、各メディアを取り付けておいてください。


❗注意

- フラッシュメモリーユニットに管理ファイルがない場合は、コピーできません。その場合は、MENUボタンを押して、 (OTHERS)メニュー → [REPAIR IMAGE DB FILE] → [FMU]で管理ファイルを作成してください。
- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

🗨️ちょっと一言




- コピーしても、元の動画や静止画は削除されません。

1 VISUAL INDEX画面でMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して (EDIT)メニュー → [COPY]を選ぶ。

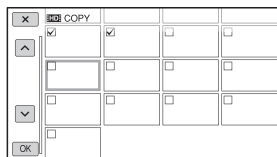
3 コピー元とコピー先を選ぶ。


4 [Multiple Images]を選ぶ。




5 画像の種類を選ぶ
([] MOVIE)、([] MOVIE)、([] PHOTO))。

6 コピーする動画や静止画をタッチする。

画像に✓マークが表示されます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

7  →  → をタッチする。

すべての動画や静止画をコピーするには

手順4で[ALL]を選び、手順5で画像の種類を選ぶ。

動画から静止画を作成する

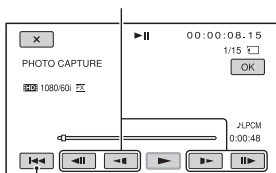
記録済みの動画からお好みの場面を静止画として記録できます。

1 動画の再生中にMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して \square (EDIT)メニュー → [PHOTO CAPTURE] を選ぶ。

3 静止画にしたい場面でIIをタッチする。

IIで場面を決定してから、これらのボタンで微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

4 [OK]をタッチする。

静止画は、再生している動画の記録メディアに記録されます。静止画の記録が完了すると一時停止の状態に戻ります。

④ご注意

- 静止画の画像サイズは、動画の種類によって次のとおりに固定されます。
 - ハイビジョン画質(HD)のときは[2.1M]
 - 標準画質(SD)でワイド(16:9)のときは[0.2M]
 - 標準画質(SD)で4:3のときは[VGA(0.3M)]

- 静止画を記録するメディアに空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日付になります。
- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

記録メディアを初期化する

初期化とは記録メディア内のデータをすべて削除して、記録メディアの容量を元に戻すことです。

ⓘ ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。
- 大切な画像データは保存(103、107ページ)してからデータ消去を行ってください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されません。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して (OTHERS)メニュー → [MEDIA FORMAT] を選ぶ。

3 初期化する記録メディアを選ぶ。

4 → をタッチする。

ⓘ ご注意

- [Executing...]が表示されているときは、電源の入/切やボタンを操作したり、記録メディアやACアダプターを取り外したりしないでください。(初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します。)

記録メディア上のデータを復元しにくくする

記録メディアに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。初期化ではすべてのデータを削除できないので、記録メディアを廃棄したり譲渡したりする前に、情報の漏洩を防ぐためメディアデータ消去を行うことをおすすめします。

ⓘ ご注意

- データ消去を行うと、保存されているデータはすべて消去されます。大切な画像データは保存(103、107ページ)してからデータ消去を行ってください。
- ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと、データ消去を行うことはできません。
- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- データ消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

1 ACアダプターと電源コードを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(19ページ)。

2 MENUボタンを押す。

3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して (OTHERS)メニュー → [MEDIA FORMAT] を選ぶ。

4 初期化する記録メディアを選ぶ。

初期化の画面が表示されます。

5 [Empty] → をタッチする。

管理ファイルを修復する

ⓘ ご注意

- データ消去の実行には、容量によって数分から数時間かかる場合があります。実際にかかる時間は液晶モニター上でご確認ください。
- [Executing...]が表示されている間に中止した場合は、中止した記録メディアを使う前に、[MEDIA FORMAT]またはデータ消去を実行して完了させてください。

管理情報と記録メディアの動画・静止画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

ⓘ ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して (OTHERS)メニュー → [REPAIR IMAGE DB FILE]を選ぶ。

3 管理ファイルを確認する記録メディアを選ぶ。

4 OK をタッチする。

管理ファイルの確認が始まります。不整合が見つからなかった場合は、 OK をタッチして終了してください。

5 OK → OK をタッチする。

ⓘ ご注意

- [Repairing the Image Database File]が表示されている間に中止した場合は、中止した記録メディアを使う前に、管理ファイルを再度修復してください。

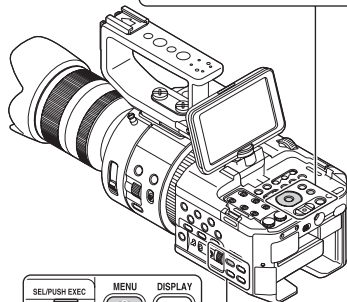
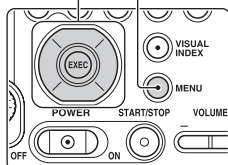
メニューで設定を変更する

メニューの使いかた

画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。

◀/▶/⏪/⏩/EXECボタン

MENUボタン

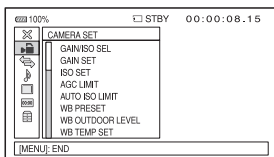


MENUボタン

SEL/PUSH EXEC
ダイヤル

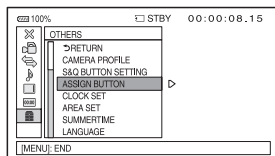
1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

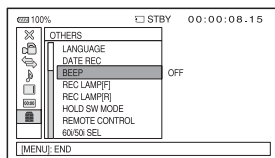


2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してメニューアイコンを選び、押して決定する。

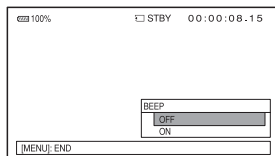
- CAMERA SET (85ページ)
- REC/OUT SET (90ページ)
- AUDIO SET (92ページ)
- DISPLAY SET (93ページ)
- TC/UB SET (97ページ)
- OTHERS (99ページ)
- EDIT (85ページ)



3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して設定する項目を選び、押して決定する。



4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して希望の設定を選び、押して決定する。



5 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

[↩ RETURN]を選ぶと1つ前の階層に戻ります。



🔔ご注意

- 表示される項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- 他のメニューの設定状況によって選択できない状態にある項目や設定値はグレー表示されます。

💡ちょっと一言

- SEL/PUSH EXECダイヤルの代わりに、▲/▼/◀/▶/EXECボタンでも操作できます。

(CAMERA SET) (85ページ)

GAIN/ISO SEL	▶GAIN, ISO
GAIN SET	H 0dB ~ 30dB (▶18dB) M 0dB ~ 30dB (▶9dB) L 0dB ~ 30dB (▶0dB)
ISO SET	H ISO500 ~ ISO16000*1 (▶ISO3200) M ISO500 ~ ISO16000*1 (▶ISO1600) L ISO500 ~ ISO16000*1 (▶ISO500)
AGC LIMIT	▶OFF, 27dB ~ 0dB
AUTO ISO LIMIT	▶OFF, ISO500 ~ ISO12800*1
WB PRESET	▶OUTDOOR, INDOOR, MANU WB TEMP
WB OUTDOOR LEVEL	-7 ~ +7 (▶0)
WB TEMP SET	2300K ~ 1500K (▶6500K)
BLACK BALANCE	
AE SHIFT	ON/OFF ▶OFF, ON LEVEL -2.0EV ~ +2.0EV (▶0EV)
 STEADYSHOT	▶STANDARD, ACTIVE, OFF
 STEADYSHOT	▶ON, OFF

SLOW & QUICK

S&Q MOTION

REC FORMAT

[60i] 選択時
1080/60p PS,
1080/30p FX,
1080/30p FH,
▶1080/24p FX,
1080/24p FH

[50i] 選択時
1080/50p PS,
▶1080/25p FX,
1080/25p FH

FRAME RATE

[60i] 選択時
1fps ~ 60fps
(▶60fps)

[50i] 選択時
1fps ~ 50fps
(▶50fps)

SUPER SLOW MOTION

REC FORMAT

[60i] 選択時
1080/60p PS,
1080/30p FX,
1080/30p FH,
▶1080/24p FX,
1080/24p FH

[50i] 選択時
1080/50p PS,
▶1080/25p FX,
1080/25p FH

FRAME RATE

[60i] 選択時
120fps ~ 960fps
(▶120fps)

[50i] 選択時
100fps ~ 800fps
(▶100fps)

REC TIMING

START TRIGGER,
▶END TRIGGER,
END TRIGGER
HALF

FOCUS TRANSITION

TRANSITION TIME
3.5sec ~ 90.0sec
(▶4.0sec)

START TIMER

▶OFF, 5sec ~
20sec

REC LINK

▶OFF, FOCUS-A,
FOCUS-B

SPOT FOCUS

FACE DETECTION	▶OFF, ON
AF MICRO ADJUSTMENT	ON/OFF ▶OFF, ON AMOUNT -20 ~ +20 (▶0) CLEAR ALL
COLOR BAR	ON/OFF ▶OFF, ON TONE ▶OFF, ON



(REC/OUT SET) (90ページ)

REC SET	[HD] / [SD] SET ▶HD, SD [HD] REC FORMAT [60i] 選択時 ▶1080/24p FX, 1080/24p FH, 1080/30p FX, 1080/30p FH, 1080/60p PS, 1080/60i FX, 1080/60i FH, 1080/60i HQ, 1080/60i LP, 720/60p FX, 720/60p FH [50i] 選択時 ▶1080/25p FX, 1080/25p FH, 1080/50p PS, 1080/50i FX, 1080/50i FH, 1080/50i HQ, 1080/50i LP, 720/50p FX, 720/50p FH [HD] SIMULTANEOUS REC ▶ON, OFF [SD] WIDE REC ▶ON, OFF
MEDIA SELECT	▶MEMORY CARD, FMU
IMAGE SIZE	▶3:2(7.0M), 16:9(8.3M)

VIDEO OUT	OUTPUT SELECT ▶SDI/HDMI/ COMPONENT, VIDEO SDI/HDMI/ COMPONENT [60i] 選択時 ▶1080p/480i, 720p/480i, 1080i/480i, 480p, 480i [50i] 選択時 ▶1080p/576i, 720p/576i, 1080i/576i, 576p, 576i 24p/30p OUTPUT*2 ▶24p/30p, 24PsF/30PsF, 60p(Pull Down) 25p OUTPUT*3 ▶25p, 25PsF, 50p(Pull Down) DOWN CONVERT TYPE ▶SQUEEZE, LETTER BOX(16:9), EDGE CROP [SD] WIDE CONVERT ▶SQUEEZE, LETTER BOX(16:9), EDGE CROP HDMI TC OUT ▶OFF, ON
-----------	--



(AUDIO SET) (92ページ)

[HD] AUDIO FORMAT	▶LINEAR PCM, DOLBY DIGITAL
AUDIO LIMIT	▶OFF, ON
HEADPHONE OUT	▶STEREO, MONO

メニュー一覧(つづき)

XLR SET	XLR AGC LINK ▶SEPARATE、LINKED
	INPUT1 TRIM -18dB ~ +12dB (▶0dB)
	INPUT1 WIND ▶OFF、ON
	INPUT2 TRIM -18dB ~ +12dB (▶0dB)
	INPUT2 WIND ▶OFF、ON



(DISPLAY SET) (93ページ)

HISTOGRAM	▶OFF、ON、 On[Zebra Point]
ZEBRA	ON/OFF ▶OFF、ON LEVEL 70 ~ 100、100+ (▶70)
PEAKING	ON/OFF ▶OFF、ON COLOR ▶WHITE、RED、 YELLOW LEVEL HIGH、▶MIDDLE、 LOW
MARKER	ON/OFF ▶OFF、ON CENTER ▶ON、OFF ASPECT ▶OFF、4:3、13:9、 14:9、15:9、1.66:1、 1.85:1、2.35:1 SAFETY ZONE ▶OFF、80%、90% GUIDEFAME ▶OFF、ON
EXPANDED FOCUS MAG	×4.0、×8.0、▶×4.0/ ×8.0
CAMERA DATA DISPLAY	OFF、▶ON
AUDIO LEVEL DISPLAY	▶ON、OFF
ZOOM DISPLAY	▶BAR、NUMBER
FOCUS DISPLAY	▶METER、FEET

SHUTTER DISPLAY	▶SECOND、DEGREE
LCD BRIGHT	▶NORMAL、BRIGHT
DISPLAY OUTPUT	▶LCD PANEL、 ALL OUTPUT



(TC/UB SET) (97ページ)

TC PRESET	▶PRESET、RESET
UB PRESET	▶PRESET、RESET
TC FORMAT*2	▶DF、NDF
TC RUN	▶REC RUN、 FREE RUN
TC MAKE	▶PRESET、 REGENERATE
UB TIME REC	▶OFF、ON



(OTHERS) (99ページ)

CAMERA PROFILE	LOAD、SAVE、 DELETE
S&Q BUTTON SETTING	▶S&Q/SUPER SLOW、 S&Q MOTION、 SUPER SLOW MOTION
ASSIGN BUTTON	ASSIGN1、ASSIGN2、 ASSIGN3、ASSIGN4、 ASSIGN5、ASSIGN6、 FOCUS TRANSITION
CLOCK SET	
AREA SET	
SUMMERTIME	▶OFF、ON
LANGUAGE	
DATE REC	▶OFF、ON
BEEP	▶OFF、ON
REC LAMP[F]	▶ON、OFF
REC LAMP[R]	▶ON、OFF
HOLD SW MODE	FULL、▶EXCEPT REC、EXCEPT REC+CAMERA
REMOTE CONTROL	▶ON、OFF
60i/50i SEL	▶60i、50i
MEDIA FORMAT	MEMORY CARD、 FMU、EXTERNAL MEDIA
REPAIR IMAGE DB FILE	MEMORY CARD、 FMU、EXTERNAL MEDIA
USB CONNECT OPERATION TIME	

VERSION DISPLAY
CALIBRATION



(EDIT)

PROTECT
DIVIDE
DELETE
PHOTO CAPTURE
COPY

- *1 動画モード時で、ピクチャープロフィールが[OFF]のときの設定範囲
- *2 [60i/50i SEL]で[60i]を選んでいるときのみ設定できます。
- *3 [60i/50i SEL]で[50i]を選んでいるときのみ設定できます。

💡ちょっと一言

- [EDIT]は、VISUAL INDEX画面や、再生画面でMENUボタンを押すと表示されます。

📷 (CAMERA SET) メニュー

撮影状況に合わせるための設定(GAIN SET/📷 STEADYSHOTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は80ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、📷 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

GAIN/ISO SEL(ゲイン/ISO 切換)

動画モード時のゲイン表示をdBとISO感度で切り換えられます。

▶ GAIN

dBで扱う。

ISO

ISO感度(推奨露出指数)で扱う。

📌ご注意

- 静止画モード時は[ISO]固定になります。
- ゲインとISO感度は別々の値で個別に保存されます。
- [GAIN/ISO SEL]は、AUTO/MANUALスイッチが「MANUAL」のときのみ設定できます。

GAIN SET(ゲイン設定)

ゲイン/ISOスイッチ「H」「M」「L」のゲイン値を設定するときを選びます。

お買い上げ時の設定:

[H]: 18dB, [M]: 9dB, [L]: 0dB

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[H][M][L]のいずれかを選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルでゲインの設定値を選び、押して決定する。
0dB~30dBの間で、3dB間隔で選択できます。数値が大きくなるほど、ゲインが上がります。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選ぶ。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

👁️ちょっと一言

- [GAIN/ISO SEL]で[GAIN]を選んでいる動画モードのときに設定できます。
- [ISO SET]で設定した値とは独立して設定できます。

ISO SET (ISO設定)

ゲイン/ISOスイッチ[H][M][L]のISO値を設定するときに選びます。

お買い上げ時の設定:

[H]:ISO3200, [M]:ISO1600,
[L]:ISO500

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[H][M][L]のいずれかを選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルでISO感度の設定値を選び、押して決定する。
ISO500～ISO16000(動画) / ISO400～ISO12800(静止画)の間で、1/3EV間隔で選択できます。数値が大きくなるほどISO感度が上がります。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選ぶ。

設定値について

ピクチャープロファイルの[GAMMA]の設定によって設定できる範囲が異なります。

- STANDARD: ISO500～ISO16000
- STILL: ISO400～ISO12800
- CINE1: ISO400～ISO12800
- CINE2: ISO320～ISO10000
- CINE3: ISO500～ISO16000
- CINE4: ISO640～ISO20000
- ITU709: ISO500～ISO16000

👁️ちょっと一言

- [GAIN/ISO SEL]で[ISO]を選んでいるとき、または静止画モードのときに設定できます。
- [GAIN SET]で設定した値とは独立して設定できます。

AGC LIMIT (AGCリミット)

オートゲインコントロール(AGC)の上限値を選びます。

▶OFF、27dB～0dB(3dB単位)

📌ご注意

- ゲインを手動調節していると効果はありません。

👁️ちょっと一言

- [GAIN/ISO SEL]で[GAIN]を選んでいる動画モードのときに設定できます。
- [AUTO ISO LIMIT]で設定した値とは独立して設定できます。

AUTO ISO LIMIT (AUTO ISOリミット)

ISO AUTO時の上限値を選びます。

▶OFF、ISO500～ISO12800(動画)
/ ISO400～ISO10000(静止画)
(1/3EV単位)

設定値について

ピクチャープロファイルの[GAMMA]の設定によって設定できる範囲が異なります。

- STANDARD: ISO500～ISO12800
- STILL: ISO400～ISO10000
- CINE1: ISO400～ISO10000
- CINE2: ISO320～ISO8000
- CINE3: ISO500～ISO12800
- CINE4: ISO640～ISO16000
- ITU709: ISO500～ISO12800

📌ご注意

- ISOを手動調節していると効果はありません。

👁️ちょっと一言

- [GAIN/ISO SEL]で[ISO]を選んでいるとき、または静止画モードのときに設定できます。
- [AGC LIMIT]で設定した値とは独立して設定できます。

WB PRESET(WBプリセット)

プリセットホワイトバランスを使うときに選びます。詳しくは46ページをご覧ください。

WB OUTDOOR LEVEL(WB屋外レベル)

プリセットホワイトバランスが[OUTDOOR]のときのオフセット量を設定します。

-7~▶0~+7
(青め~標準~赤め)

WB TEMP SET(WB色温度設定)

プリセットホワイトバランスが[MANU WB TEMP]のときの色温度の値を設定します。

2300K~▶6500K~15000K(100K単位)

BLACK BALANCE(ブラックバランス)

47ページをご覧ください。

AE SHIFT(AEシフト)

■ ON/OFF

▶ OFF

AEシフト機能を使わない。

ON

AEシフト機能を使う。設定した数値が表示されます(例:-2.0EV)。

■ LEVEL

SEL/PUSH EXECダイヤルで明るさを調節できます。

-2.0EV~▶0EV~+2.0EV(1/3EV単位)
(暗い~標準~明るい)

📌 ご注意

- アイリス、シャッタースピード、ゲイン(ISO感度)のすべてを手動調節していると効果はありません。

🗣️ ちょっと一言

- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることが出来ます(63ページ)。

STeadySHOT(手ブレ補正)

手ブレ補正対応レンズ装着時のみ

動画モード時の手ブレ軽減の設定をします。

▶ STANDARD(📷)

比較的安定した状態での撮影時、手ブレ補正機能を使う。

ACTIVE(📷)

強い手ブレ補正効果が得られる。

OFF(📷)

手ブレ補正機能を使わない。

三脚使用時は[OFF]にすることをおすすめします。

📌 ご注意

- [ACTIVE]はアクティブ手ブレ補正対応レンズを使用し、動画を撮影するときのみ選択できます。

🗣️ ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることが出来ます(63ページ)。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

STEADYSHOT(手ブレ補正)

手ブレ補正対応レンズ装着時のみ

静止画モード時の手ブレ軽減の設定をします。

▶ ON()

手ブレ補正機能を使う。

OFF()

手ブレ補正機能を使わない。

三脚使用時は[OFF]にすることをおすすめします。

ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(63ページ)。

SLOW & QUICK

48ページをご覧ください。

FOCUS TRANSITION (フォーカストランジション)

■ TRANSITION TIME

フォーカスを遷移する時間を設定します。

3.5sec、▶4.0sec、4.5sec～15.0sec
(0.5sec単位)、20.0sec、30.0sec、
45.0sec、60.0sec、90.0sec

■ START TIMER

ASSIGN5ボタンまたはASSIGN6ボタンを押してから、遷移を開始する時間を設定します。

▶OFF、5sec、10sec、20sec

■ REC LINK

撮影が開始されるタイミングにリンクしてフォーカスが遷移します。

▶OFF、FOCUS-A、FOCUS-B

ご注意

- [FOCUS TRANSITION]の設定は、[EXEC]画面でのみ有効です。

SPOT FOCUS(スポットフォーカス)

38ページをご覧ください。

FACE DETECTION(顔認識)

38ページをご覧ください。

AF MICRO ADJUSTMENT (AF微調整)

マウントアダプターLA-EA2(別売)を使用してAマウントレンズを装着時、レンズごとにピント合わせの位置を調整して登録できます。

■ ON/OFF

▶ OFF

AF微調整を無効にする。

ON

AF微調整を有効にする。

■ AMOUNT

装着しているレンズの調整値を設定します。値を大きくするとピントが合う位置がカメラから遠ざかり、値を小さくするとピントが合う範囲がカメラに近づきます。

-20～▶0～+20

■ CLEAR ALL

すべてのレンズに対する調整値を取り消します。

ご注意

- [AF MICRO ADJUSTMENT]が[ON]に設定されていないと調整値は登録できません。
- 調整は実際に撮影する環境で行うことをおすすめします。

- すでに登録されたレンズを装着するときは、登録された調整値が表示されます。未登録レンズの場合は[±0]が表示されます。
- レンズの登録が30種類になると、[AMOUNT]がグレー表示されて選択できなくなります。あらたに登録するには、登録を削除するレンズを装着して調整値を[±0]にするか、[CLEAR ALL]ですべての登録された調整値を削除してください。
- 他社のレンズをお使いの際にAF微調整を行うと、ソニー、ミノルタ、コニカミノルタ製のレンズでの調整値に影響が出る場合があります。他社のレンズではAF微調整を設定しないでください。
- ソニー、ミノルタ、コニカミノルタで同じ仕様のレンズをお使いの場合、個々にAF微調整の設定はできません。

COLOR BAR(カラーバー)

■ ON/OFF

▶ OFF

カラーバーを表示しない。

ON

カラーバーを表示、記録し、音声トーン信号を出力する。

本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です。

●ご注意

- フォーマットを切り換えたり、MENUによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に[OFF]に戻ります。
- [COLOR BAR]の設定は、録画中、拡大フォーカス中は変更することができません。

■ TONE

▶ OFF

音声トーン信号を出力しない。

ON

音声トーン信号(1kHz:フルビット -20dB([60i]選択時)、-18dB([50i]選択時))を出力する。

[ON/OFF]も[ON]に設定してください。

💡ちょっと一言

- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができません(63ページ)。
- [TONE]を[OFF]にしてカラーバーを記録した場合、マイクからの音声記録されません。

↔ (REC/OUT SET) メニュー

録画、入出力に関する設定(REC SET/
VIDEO OUT)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は80ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH
EXECダイヤルで、↔ (REC/OUT
SET)を選択すると表示されます。

REC SET(録画設定)

■ [HD] / [SD] SET

42ページをご覧ください。

■ [HD] REC FORMAT

41ページをご覧ください。

■ [HD] SIMULTANEOUS REC

33ページをご覧ください。

■ [SD] WIDE REC

標準画質(SD)で録画する場合のアスペクト
比を設定します。

▶ ON

16:9で記録する。

OFF([4:3])

4:3で記録する。

📌 ご注意

● ハイビジョン画質(HD)で録画する場合は、ア
スペクト比は16:9に固定され、4:3にできませ
ん。

MEDIA SELECT(メディア設 定)

34ページをご覧ください。

IMAGE SIZE(画像サイズ)

42ページをご覧ください。

VIDEO OUT(映像出力)

■ OUTPUT SELECT

映像の出力先を選びます。

▶ SDI/HDMI/COMPONENT VIDEO

■ SDI/HDMI/COMPONENT

SDI/HDMI/COMPONENT端子からの出力
信号の解像度を選びます。

[60i] 選択時

▶ 1080p/480i

720p/480i

1080i/480i

480p

480i

[50i] 選択時

▶ 1080p/576i

720p/576i

1080i/576i

576p

576i

👉 ちょっと一言

● 接続するケーブルによる出力信号の解像度は
72ページをご覧ください。

■ 24p/30p OUTPUT ([60i] 選択時)

[HD] REC FORMATで、[1080/30p
FX]、[1080/30p FH]、[1080/24p FX]、
[1080/24p FH]を選んでいるときの出力
フォーマットを設定します。

▶ 24p/30p

24PsF/30PsF

60p(Pull Down)

■ 25p OUTPUT ([50i] 選択時)

[HDMI] REC FORMAT で、[1080/25p FX]、[1080/25p FH] を選んでいるときの出力フォーマットを設定します。

▶ 25p

25PsF

50p(Pull Down)

■ DOWN CONVERT TYPE

映像信号出力形式を設定します。

16:9 で撮影された動画や、静止画を出力する際に有効です。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

LETTER BOX (16:9)

垂直方向を圧縮することにより、アスペクト比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

■ [SD] WIDE CONVERT

映像信号出力形式を設定します。

[SD] WIDE REC を [ON] にして録画した SD 動画を出力する際に有効です。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

LETTER BOX (16:9)

垂直方向を圧縮することにより、アスペクト比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

● ご注意

- [SD] WIDE REC を [ON] にして標準画質 (SD) で撮影した動画を 4:3 テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのまま、水平方向を圧縮して再生します。そのような 4:3 テレビで見るときは、[LETTER BOX (16:9)] または [EDGE CROP] に設定してください。
- [SQUEEZE] からその他の設定、その他の設定から [SQUEEZE] に切り換えるときに、一時画面が消えて、画像と音声途切れます。

■ HDMI TC OUT

HDMI を利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかの設定ができます。

▶ OFF

タイムコード情報を HDMI 出力信号に乗せない。

ON

タイムコード情報を HDMI 出力信号に乗せる*。画面に出す映像としてではなく、デジタルデータとして伝送し、接続先機器がそのデータを参照することでタイムデータを知ることができます。

- * 24p のときは、2-3PullDown を行って、その情報を自動付加して伝送します。

♪ (AUDIO SET) メニュー

録音に関する設定 (HDMI AUDIO
FORMAT/XLR SETなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は80ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH
EXECダイヤルで、♪ (AUDIO SET)を
選択すると表示されます。

HDMI AUDIO FORMAT (HDMI 録 音フォーマット)

ハイビジョン画質(HD)時の録音音声
フォーマットを切り換えます。

▶ LINEAR PCM (♪ LPCM)
リニアPCM方式で記録する。

DOLBY DIGITAL (♪ Dolby D)
ドルビーデジタル方式で記録する。

📌 ご注意

- 標準画質(SD)の撮影では音声記録は
[DOLBY DIGITAL]に固定されます。

AUDIO LIMIT (音声リミッ ター)

CH1/CH2に音割れ防止機能の設定をし
ます。

▶ OFF

音割れ防止機能が働かない。

ON

音割れ防止機能が働く。

📌 ご注意

- AUTO/MAN(CH1/CH2)スイッチが「MAN」
のときのみ有効です。

HEADPHONE OUT (ヘッドホ ン出力)

HEADPHONE MONITORスイッチが
「STEREO MIX」のときのヘッドホンに出
力する方式を設定します。

▶ STEREO

ステレオで出力する。

MONO

モノラルで出力する。

XLR SET (XLR設定)

■ XLR AGC LINK

外部マイク使用時のチャンネル1/2のAGC
(オートゲインコントロール)の連動/非連動
を切り換えます。

▶ SEPARATE

AGC非連動にする(チャンネル1/2を
別々の音声として記録する)。

LINKED (♪ A₂)

AGC連動にする(チャンネル1/2をステ
レオのように1組の音声として記録す
る)。

ステータスチェック画面にA [が表示さ
れます。

📌 ご注意

- AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに
「AUTO」で、INPUT1、INPUT2スイッチが両
方とも「MIC」または両方とも「LINE」のときに
有効です(52ページ)。

■ INPUT1 TRIM

INPUT1端子から録音するときの入力信号の
レベルを調節します。

-18dB、-12dB、-6dB、▶0dB、+6dB、
+12dB

📌 ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無
効です。

■ (DISPLAY SET) メニュー

画面の表示設定(MARKER/DISPLAY OUTPUTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は80ページをご覧ください。


MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、■ (DISPLAY SET) を選択すると表示されます。

■ INPUT1 WIND

▶ OFF

INPUT1端子の風音低減をしない。

ON

INPUT1端子の風音低減をする。
ステータスチェック画面に  が表示されます。

👁️ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT2 TRIM

■ INPUT2 WIND

INPUT2にも、それぞれINPUT1と同じ機能があります。

👁️ちょっと一言

- 本機は-48dBuを0dBとして設計しています。
- 付属のマイクをお使いのときは、INPUT TRIMを[0dB]に設定してください。
- INPUT TRIM機能は外部マイクの入力レベルを調節します。感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。
- 大音量で音がひずむ理由として、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT TRIM機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手動で全体的なレベルを下げてください。
- INPUT TRIMをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。
- 使用するマイクや音場に合わせて、あらかじめ[XLR SET]の効果をテストしてご使用ください。

HISTOGRAM(ヒストグラム)

ヒストグラムは、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。

▶ OFF

ヒストグラムを表示しない。

ON

ヒストグラムを表示する。
100%の位置にラインが表示され、それ以上の背景色が変わる。



ヒストグラム

On[Zebra Point]

ヒストグラムにゼブラポイントとして表示される。[ZEBRA]で設定されているレベルにラインが表示される。

👁️ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができません(63ページ)。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

ZEBRA(ゼブラ)

明るさ調節をするときの目安にするとう便利です。

■ ON/OFF

▶ OFF

ゼブラを表示しない。

ON(とレベル)

記録した画像にゼブラは記録されません。

■ LEVEL

輝度レベルを選べます。

▶70~100または100+

🗨️ちょっと一言

- ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示される縞模様のことです。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(63ページ)。

PEAKING(ピーキング)

■ ON/OFF

▶ OFF

ピーキングを表示しない。

ON(PEAKING)

画面上に画像の輪郭が強調して表示される。
ピントが合わせやすくなります。

■ COLOR

ピーキングの色を選べます。

▶WHITE、RED、YELLOW

■ LEVEL

ピーキング感度を選べます。

HIGH、▶MIDDLE、LOW

🗨️ご注意

- 輪郭強調された画像は記録メディアに記録されません。

🗨️ちょっと一言

- 拡大フォーカス(37ページ)と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(63ページ)。

MARKER(マーカー)

■ ON/OFF

▶ OFF

マーカーを表示しない。

ON

マーカーを表示する。

マーカーは記録メディアに記録されません。

■ CENTER

▶ ON

画面の中心にマーカーを表示する。

OFF

センターマーカーを表示しない。



■ ASPECT

▶ OFF

アスペクト比を表示しない。

4:3、13:9、14:9、15:9、1.66:1、
1.85:1、2.35:1

アスペクト比位置にマーカーを表示する。



■ SAFETY ZONE

▶ OFF

セーフティゾーンを表示しない。

80%、90%

どれかを選ぶと、一般的な家庭用テレビで受像できる範囲を選んでマーカを表示する。



■ GUIDEFAME

▶ OFF

ガイドフレームを表示しない。

ON

ガイドフレームを表示する。
被写体が水平/垂直になっているかを確認できます。



🔔ご注意

- マーカー表示中は、[DISPLAY OUTPUT]の設定を[ALL OUTPUT]にしているも、タイムコード以外は何も出力されません。
- [EXPANDED FOCUS]中は、マーカを表示できません。
- マーカー表示は、液晶モニターのみに表示されます(外部に出力することはできません)。

🔔ちょっと一言

- すべてのマーカを同時に表示できます。
- [GUIDEFAME]の交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることがができます(63ページ)。

EXPANDED FOCUS MAG (拡大フォーカス倍率)

拡大フォーカスの倍率を設定できます。

×4.0

×8.0

▶ ×4.0/×8.0

EXPANDED FOCUSボタンを押すたびに[×4.0]→[×8.0]→[OFF]の順に切り替わります。

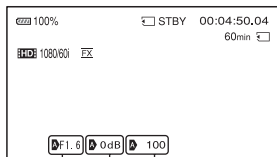
CAMERA DATA DISPLAY(カメラデータ表示)

OFF

アイリス、ゲイン、ISO感度、シャッタースピードの値を表示しない。

▶ ON

アイリス、ゲイン、ISO感度、シャッタースピードの値を常に表示する。



アイリス値 シャッタースピード値

ゲイン/ISO値

🔔ちょっと一言

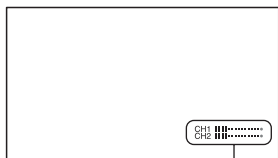
- カメラデータ表示の設定に関わらず、手動設定時は設定値が表示されます。
- **A** は自動設定されていることを示します。
- DATA CODEボタンを押したときに表示される項目とは異なります(69ページ)。
- ASSIGNボタンに割り当てることがができます(63ページ)。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

AUDIO LEVEL DISPLAY(音声レベル表示)

▶ ON

オーディオレベルメーターを表示する。



オーディオレベルメーター

OFF

オーディオレベルメーターを表示しない。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(63ページ)。

ZOOM DISPLAY(ズーム表示)

▶ BAR

ズーム位置をバーで表示する。

NUMBER

ズーム位置を数値(0~99)で表示する。

FOCUS DISPLAY(フォーカス表示)

▶ METER

フォーカス距離をメートルで表示する。

FEET

フォーカス距離をフィートで表示する。

SHUTTER DISPLAY(シャッター表示)







▶ SECOND

シャッター表示を秒で表示する。

DEGREE

シャッター表示を角度で表示する。

本機がイメージセンサーから画像データを読み込む時間に等しいシャッタースピードを360°と定義します。この定義を元に角度は計算され、表示されます。

-  REC FORMAT] でフレームレートの値が60の設定値を選択時は、1/60で360°
 -  REC FORMAT] でフレームレートの値が30の設定値を選択時は、1/30で360°
 -  REC FORMAT] でフレームレートの値が24の設定値を選択時は、1/24で360°
 -  REC FORMAT] でフレームレートの値が50の設定値を選択時は、1/50で360°
 -  REC FORMAT] でフレームレートの値が25の設定値を選択時は、1/25で360°
-  REC FORMAT] の設定について詳しくは、41ページをご覧ください。

🔔ご注意

- DATA CODEボタンを押したときに表示されるシャッタースピードは、この設定に関わらず秒表示となります。

💡ちょっと一言

- 360°より長いシャッタースピードの場合、360°の整数倍(360° x2など)で表示します。

LCD BRIGHT(パネル明るさ)

液晶モニターの明るさを調節できます。録画される画像に影響はありません。

▶ NORMAL

BRIGHT

DISPLAY OUTPUT(画面表示出力)

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

▶ LCD PANEL

液晶モニターに出力する。

ALL OUTPUT

SDI OUT/HDMI OUT/COMPONENT OUT/VIDEO OUTの各端子と液晶モニターに出力する。ゼブラとピーキング、顔枠表示も出力されます。

ⓘ ご注意

- [MARKER]が[ON]で、画面に表示されているときは、タイムコード、ゼブラ、ピーキング、顔枠表示以外は出力されません。

00:00 (TC/UB SET)

メニュー

タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMATなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は80ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、00:00 (TC/UB SET)を選択すると表示されます。

TC PRESET

61ページをご覧ください。

UB PRESET

62ページをご覧ください。

TC FORMAT

[60i/50i SEL]が[60i]のときにタイムコードの記録方式を選びます。[50i]のときは、[NDF]に固定されます。

▶ DF

タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

NDF

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

ⓘ ご注意

- [60i/50i SEL]が[60i]のときでも、**[HD]** 1080/24pで記録するときは、[NDF]に固定されます。

🗨️ ちよっと一言

ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、00:00 (TC/UB SET)を選択すると表示されます。

TC RUN

タイムコードの歩進を選びます。

▶ REC RUN

記録中のみタイムコードが歩進する。
最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。

FREE RUN

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

📌ご注意

- [REC RUN]モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
 - 録画フォーマットを切り換えたとき
 - メモリーカードとフラッシュメモリーユニットに同時記録したとき
 - 記録メディアを取り外したとき
- スロー&クイックモーション撮影時およびスーパースローモーション撮影時は、自動で[REC RUN]に固定されます。

TC MAKE

▶ PRESET

新たに設定したタイムコードを記録メディアに記録する。

REGENERATE

記録メディアに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。

[TC RUN]の設定に関係なく、タイムコードは[REC RUN]モードで歩進する。

UB TIME REC

▶ OFF

時刻をユーザービットコードとして記録しない。

ON

時刻をユーザービットコードとして記録する。

📌ご注意

- [ON]のときは、下位2桁は00に固定されます。

☰ (OTHERS) メニュー

撮影時の設定や、各種基本設定 (AREA SET/BEEPなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は80ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、☰ (OTHERS)を選択すると表示されます。

CAMERA PROFILE (カメラプロフィール)

カメラの設定内容をカメラプロフィールとしてメモリーカードに99個まで保存できます。保存した設定を使って、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

また、本機を複数台同じ設定で使用したい場合に、設定値をメモリーカードに保存して、他のカメラで保存した設定値を読み出すことができます。

📌 ご注意

- [60i/50i SEL] の設定が異なるカメラプロフィールには互換性はありません。
- パソコンでファイル名を変えたり、生成途中で電源を切ったりしたときは、ファイルが正しく見えない場合があります。
- メモリーカードを初期化すると、保存したカメラプロフィールも削除されます。

👁️ ちょっと一言

- カメラプロフィールで保存される項目は、メニュー、ピクチャープロフィール、ボタンなどの設定値です。これらの設定値をまとめてカメラプロフィールに保存します。

■ LOAD

カメラプロフィールを読み込んで、設定を実行します。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイヤルで読み込むカメラプロフィールを選ぶ。
- ② 確認画面で [YES] を選択する。
いったん本機が再起動して、選択したカメラプロフィールが反映されます。

📌 ご注意

- 異なる型名の機種で保存したカメラプロフィールやパソコンなどで編集したカメラプロフィールは読み込めません。

■ SAVE

カメラプロフィールを保存します。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイヤルで [NEW FILE]、または既存のプロファイル名を選ぶ。
- ② 確認画面で [YES] を選択する。
カメラプロフィールが保存されます。

👁️ ちょっと一言

- [NEW FILE]を選んだ場合、プロファイル名は [01] (初めて保存する場合) になります。
- 既存のカメラプロフィールを保存先に選んだ場合は、上書きされます。
- 保存した設定はパソコンで編集できません。

■ DELETE

保存したカメラプロフィールを削除します。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイヤルで削除するカメラプロフィールを選ぶ。
- ② 確認画面で [YES] を選択する。

S&Q BUTTON SETTING

S&Qボタンに割り当てる機能を設定できます。

▶ S&Q/SUPER SLOW

S&Qボタンを押すたびに、[S&Q MOTION] → [SUPER SLOW MOTION] → [OFF] の順に切り替わります。

S&Q MOTION

S&Q MOTIONが設定されます。

SUPER SLOW MOTION

SUPER SLOW MOTIONが設定されます。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

ちよっと一言

- AUTO/MANUALスイッチが「MANUAL」のときのみ行えます。また、露出補正は手動になります。

ASSIGN BUTTON(ASSIGN ボタン登録)

63ページをご覧ください。

CLOCK SET(日時あわせ)

27ページをご覧ください。

AREA SET(エリア設定)

時計を止めることなく時差補正ができます。海外で使用するときには現地時刻に合わせられます。

SUMMERTIME(サマータイム)

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。[SUMMERTIME]を[ON]にすると、本機の時計が1時間進みます。

▶ OFF

サマータイムを設定しない。

ON

サマータイムを設定する。

LANGUAGE

日本語

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示する。

▶ ENGLISH

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示する。

ENG[SIMP]

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを簡易英語で表示する。

DATE REC(日付記録)

▶ OFF

日付と時刻を画像に直接記録しない。

ON

撮影時に日付と時刻を画像に直接記録する。

ちよっと一言

- スキャン方式がインターレースのときのみ設定できます。
- ゼブラまたはピーキング操作中は、日付/時刻の文字も信号の影響を受けますが、録画される文字には影響ありません。

BEEP(操作音)

▶ OFF

操作音を出さない。

ON

撮影スタート/ストップの操作時や、警告表示時などにメロディが鳴る。

REC LAMP[F](録画ランプ前)

▶ ON

本体前面の録画ランプが点灯する。

OFF

本体前面の録画ランプが点灯しない。

ちよっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(63ページ)。

REC LAMP[R] (録画ランプ後)

▶ ON

本体後面の録画ランプが点灯する。

OFF

本体後面の録画ランプが点灯しない。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます (63ページ)。

HOLD SW MODE (HOLDスイッチ選択)

HOLDスイッチを入にしたときに、ロックする機能を設定できます。

FULL

すべての機能をロックします。

▶ EXCEPT REC

START/STOPボタン、PHOTOボタン以外の機能をロックします。

EXCEPT REC+CAMERA

START/STOPボタン、PHOTOボタン、カメラ機能*以外の機能をロックします。

- * AUTO/MANUAL、FOCUS AUTO/MAN、FOCUS HOLD/PUSH AUTO、IRIS、アイリスリング、IRIS PUSH AUTO、SHUTTER SPEED、GAIN/ISO、ゲイン/ISO H/M/L、WHT BAL、WHT BAL PRESET/A/B、WHT  (one push)、SEL/PUSH EXEC ダイヤル

REMOTE CONTROL (リモコン)

▶ ON

付属のワイヤレスリモコン(11ページ)を使う。

OFF

他機のリモコンによる誤動作を防ぐため、リモコンを使わない。

60i/50i SEL (60i/50i切換)

本機をお使いになる地域のテレビ方式によって、設定を選びます。

設定を変更すると、本機が自動的に再起動します。

▶ 60i

テレビ方式がNTSCのときに選ぶ。

50i

テレビ方式がPALのときに選ぶ。

❗ご注意

- 60i (50i) でフォーマットや記録を行った記録メディアは、50i (60i) では記録・再生はできません。60i/50i切り換え後、[A movie with a different video signal format from this device has been recorded. Movie recording disabled.] というお知らせメッセージが表示された場合は、別の記録メディアをお使いになるか、[MEDIA FORMAT] をしてください。
- [MEDIA FORMAT] を行うと、プロテクトされた動画も削除されます。

MEDIA FORMAT (メディア初期化)

78ページをご覧ください。

REPAIR IMAGE DB FILE (管理ファイル修理)

79ページをご覧ください。

USB CONNECT (USB接続)

USBケーブルで他機と接続したときに、[USB CONNECT] 画面が表示されない場合に使います。

OPERATION TIME (通電時間)

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示します。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

VERSION DISPLAY(バージョン表示)

お手持ちのカメラとレンズのバージョンを表示します。本機のファームアップデートがリリースされたときなどに確認します。

📌ご注意

- アップデートを行う場合は、ACアダプターを使用してください。

CALIBRATION(キャリブレーション)

125ページをご覧ください。

外付けメディアを使って保存する

外付けハードディスクなどのメディアに、メモリーカードまたはフラッシュメモリーユニットに記録された動画・静止画を保存できます。また、保存した画像を本機などで再生して楽しめます。

⚠ご注意

- お使いの外付けメディアの取扱説明書もあわせてご覧ください。

👁ちょっと一言

- 外付けメディアに保存した画像はソフトウェア「Content Browser」でパソコンに取り込むこともできます。

外付けメディアに保存後にできること

- 本機を経由した画像の再生(104ページ)
- パソコンへの取り込み

使用できない外付けメディアについて
次の機器は外付けメディアとして使えません。

- 容量が2TBを超える外付けメディア
- 一般のDVDドライブやCDドライブなどのディスクドライブ
- ハブを経由してつないでいる外付けメディア
- 内部にハブを構成している外付けメディア
- カードリーダー

⚠ご注意

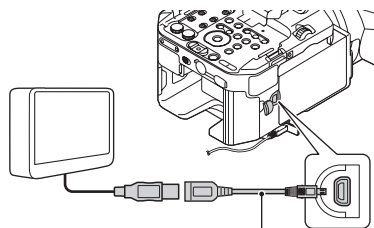
- 暗号機能のある外付けメディアは、使えない場合があります。
- ファイルシステムとしてFATを採用しています。NTFSなど他機で初期化された外付けメディアの場合は、本機で初期化してからお使いください。初期化画面は接続時に表示されます。また、FATのメディアでも初期化画面が表示されることがあります。接続する機器に大切なデータが残っていないことを確認したうえで初期化を行ってください。
- 動作条件に該当するすべての機器の動作を保証するものではありません。

1 ACアダプターと電源コードを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(19ページ)。

2 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ。

3 USBアダプターケーブル(付属)と外付けメディアをつなぐ。

4 本機の電源を入れ、USBアダプターケーブル(付属)と本機の⚡(USB)端子をつなぐ。



USBアダプターケーブル(付属)

5 本機の画面で、[Copy.]をタッチする。

6 [MEMORY CARD]か[FMU]を選ぶ。

記録メディアに記録された画像のうち、外付けメディアに保存されていない画像だけが保存されます。

- 新たに記録した画像がない場合、この画面は表示されません。

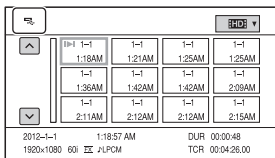
7 終了するには、本機の画面で[OK]をタッチする。


ⓘ ご注意

- 外付けメディアに保存可能なシーン数は次のとおりです。外付けメディアに空き容量があっても、これを超えて保存することはできません。撮影された画像によっては、保存可能なシーン数が減ることがあります。
 - ハイビジョン画質(HD)の動画:最大3,999個
 - 標準画質(SD)の動画:最大9,999個
 - 静止画:最大40,000枚

外付けメディアの画像を本機で見える

外付けメディアと接続中は、外付けメディアに保存した画像が、本機の液晶モニターに表示されます。VISUAL INDEX画面の記録メディアアイコンが図のように変わります。



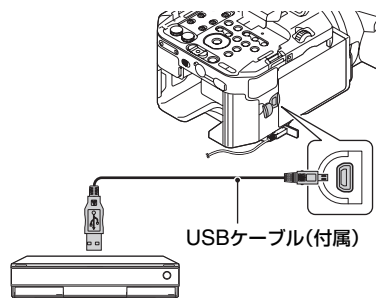
画像の削除など、外付けメディアに関する設定ができます。MENUボタンを押して、 (EDIT)メニューを選んでください。

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って保存する


ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って、ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにコピーできます。お使いの機器によっては操作が異なる場合がありますので、レコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 ACアダプターと電源コードを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(19ページ)。

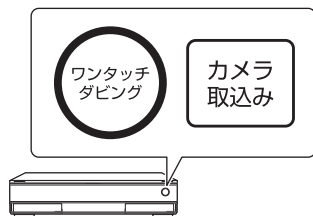
2 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機の(USB)端子とレコーダーなどをつなぐ。



[USB CONNECT]画面が表示されません。

- [USB CONNECT]画面が表示されないときは、MENUボタンを押して、 (OTHERS)メニュー → [USB CONNECT]を選んで表示させてください。

3 ブルーレイディスクレコーダーの「カメラ取込み」ボタンあるいは「ワンタッチダビング」ボタンを押す。



カメラ取り込みがされていない画像が取り込まれます。

- ハイビジョン画質(HD)と標準画質(SD)両方の取り込まれていない動画がある場合は、ハイビジョン画質(HD)のみが取り込まれます。

4 終了するには、本機の画面で → [YES]をタッチする。

④ご注意

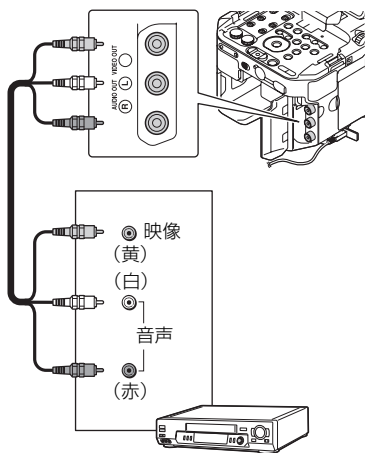
- ディスクに保存する方法については、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ブルーレイディスクレコーダーによってボタンの有無、操作方法や使えるディスクが異なります。ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ブルーレイディスクレコーダーにUSB端子がないときは、A/V接続ケーブルで接続してください。
- [1080/60p PS] ([1080/50p PS])で撮影した動画を保存するには、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。
- [1080/60p PS] ([1080/50p PS])で撮影した動画はブルーレイディスクレコーダーのハードディスクに保存してからディスクを作成してください。詳しくはブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

レコーダーなどで標準画質(SD)のディスクを作る

本機をディスクレコーダーにA/V接続ケーブルで接続すると、本機の画像をディスクやビデオカセットへコピーできます。接続先機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

⓪ご注意

- ハイビジョン画質(HD)で記録された画像は、標準画質(SD)でダビングされます。



1 ACアダプターと電源コードを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(19ページ)。

2 録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

3 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル(付属)でつなぐ。

接続先機器の入力端子につないでください。

4 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

5 コピーが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

⓪ご注意

- アナログデータを経由してコピーするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってコピーできません。
- 接続した機器の画面にカウンターなどを出さない場合は、MENUボタンを押して、**[] (DISPLAY SET)メニュー** → **[DISPLAY OUTPUT]** → **[LCD PANEL]** を選んでください。
- 日時やカメラデータをコピーしたいときは、DATA CODEボタンを押して、お好みの表示に設定してください。さらに、MENUボタンを押して、**[] (DISPLAY SET)メニュー** → **[DISPLAY OUTPUT]** → **[ALL OUTPUT]** を選んでください。
- テレビなどの表示機器の画面サイズに合わせて、**[DOWN CONVERT TYPE]** を設定してください(91ページ)。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつなぎます。

パソコンを使って保存する

パソコンの準備をする

ソフトウェア「Content Browser」を使うと次の操作ができます。

- パソコンへの画像の取り込み
- 取り込んだ画像の閲覧
- フラッシュバンドの検出/補正

パソコンで動画を保存するには、以下のURLにアクセスし、ソフトウェア「Content Browser」をダウンロードしてください。

<http://www.sonycreativesoftware.com/contentbrowser>

画像の編集や、ディスク作成などを行う場合は、市販のソフトウェアをお買い求めください。

準備1パソコン環境を確かめる

Windows

OS*1
Windows 7 SP1 以降 (32bit/64bit) Windows 8 (64bit)
CPU
1080/50p、1080/60p のAVCHD クリップを再生する場合: Intel Core i5 Processor 3.0GHz 以上を推奨 それ以外のフォーマットを再生する場合: Intel Core 2 Duo Processor 3.0GHz 以上を推奨
メモリー
4GB 以上を推奨
ディスプレイ
解像度: 1024 × 768 ピクセル以上を推奨
オーディオ
オーディオ再生機能
その他
Windows Media Player 11 以上 *2 DirectX 9.0 以上 *3 USB端子標準装備 (Hi-Speed USB (USB 2.0準拠))

パソコンを使って保存する(つづき)

Mac

OS ^{*1}
Mac OS X 10.7.3 以降 Mac OS X 10.8 以降
CPU
1080/50p、1080/60p のAVCHD クリップを再生する場合: Intel Core i5 Processor 3.0GHz 以上を推奨 それ以外のフォーマットを再生する場合: Intel Core 2 Duo Processor 3.0GHz 以上を推奨
メモリー
4GB 以上を推奨
その他
Safari 4.0.2 以上 ^{*4} 、 Final Cut Pro 7 または Final Cut Pro X ^{*5} USB端子標準装備 (Hi-Speed USB (USB 2.0準拠))

^{*1}工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

^{*2}クリップを再生する場合

^{*3}クリップリストをもとにプロキシ AV データから WMV ファイルを作成する場合

^{*4}エクスポートしたクリップの一覧情報を閲覧、印刷する場合

^{*5}本ソフトウェアから Final Cut Pro へクリップを登録する機能を使用する場合。どちらのバージョンをお使いになるかは、環境設定で選択してください。デフォルトでは Final Cut Pro X が選択されています。

📌 ご注意

- すべてのパソコン環境についての動作を保証するものではありません。

準備2 ソフトウェア「Content Browser」をダウンロードする

以下のURLにアクセスし、ソフトウェア「Content Browser」をダウンロードしてください。

<http://www.sonycreativesoftware.com/contentbrowser>

ソフトウェア「Content Browser」をダウンロードするにはシリアル番号が必要です。本機に付属されている「ソフトウェアのダウンロードについて」をご覧ください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

困ったときは、以下の流れに従ってください。

① 109～115ページの項目をチェックし、本機を点検する。



② 電源を取り外し、約1分後再び取り付け、本機の電源を入れる。



③ RESETボタン(9ページ)を先の細いもので押してから、電源を入れる。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。



④ ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

- 電源/画面/リモコンについて…109ページ
- メモリーカード/フラッシュメモリーユニットについて…110ページ
- 撮影について…111ページ
- 再生について…113ページ
- テレビ接続について…114ページ
- コピー/編集/外部機器接続について…115ページ
- パソコン接続について…115ページ

電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(18ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(19ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはACアダプター)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。
- RESET(リセット)ボタン(9ページ)を先の細いもので押す。

本体が温くなる。

- 本機使用中に本体が温くなる場合がありますが、故障ではありません。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(18、124ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶モニターを開閉したときは正しい残量を表示するまで約1分かかります。

故障かな？と思ったら(つづき)

バッテリーの消費が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消費が早いときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(18、124ページ)。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 大型LCDビューファインダーを取り付けている場合は、画像がはっきり見えるように視度調節リングを回す(29ページ)。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CONTROL]を[ON]にする(101ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがあります。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(11ページ)。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

REMOTE端子に機器を接続したときに、正常に動作しない。

- リモコン側の機器からの操作に対して反応が遅くなる場合があります。
- 本体側のREMOTE端子を挿したままの状態 で 接続機器側の端子を抜いた場合は、本体の設定に戻らない場合があります。本体側のREMOTE端子を抜いてください。

メモリーカード/フラッシュメモリーユニットについて

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機で初期化する(78ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(121ページ)。

記録メディアのアイコンが点滅している。

- 記録中に異常が発生した記録メディアがある。すべての記録メディアの記録を停止し、データ修復を行う。

記録メディアの画像消去ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトが設定されている。プロテクトを解除する(74ページ)。

撮影について

START/STOPボタンを押しても、撮影が始まらない。

- 再生画面になっている。再生を終了する(67ページ)。
- 記録メディアの空き容量がない。新しい記録メディアに変えるか、初期化する(78ページ)。または不要な画像を削除する(75ページ)。
- 動画のシーン数が本機で撮影できる上限を超えている(119ページ)。不要な画像を削除する(75ページ)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 記録中に異常が発生した記録メディアがある。すべての記録メディアの記録を停止し、データ修復を行う。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなる場合があります(118ページ)。

変更した設定が保持されない。

- メニューの設定は保持されないものがあります。
- 拡大フォーカスの設定は保持されません。
- POWERスイッチが「ON」のまま電源を外した。バッテリーやACアダプターを取り外すときは、POWERスイッチを「OFF」にして、アクセスランプが点灯していないことを確かめてから、外してください。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

静止画撮影に時間がかかる

- ノイズ軽減処理機能が働いています。故障ではありません。

故障かな？と思ったら(つづき)

アスペクト比が切り換えられない。

- ハイビジョン画質(HD)のときは、動画の比率は切り換えられません。

オートフォーカスができない。

- FOCUSスイッチを「AUTO」にして自動調整にする(36ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状況のときは、手動でピントを合わせる(36ページ)。
- Eマウントレンズに交換する(22ページ)。

メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[AE SHIFT]の[ON/OFF]	アイリス、ゲインまたは、ISO感度、シャッタースピードのすべてが手動設定のとき
[ZEBRA]、[PEAKING]	[COLOR BAR]が[ON]のとき
[MARKER]の[ON/OFF]	[EXPANDED FOCUS]が[ON]のとき
[TC PRESET]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき
[COLOR BAR]	動画撮影中 [EXPANDED FOCUS]が[ON]のとき

アイリス、ゲイン、ISO感度、シャッタースピード、ホワイトバランスが手動調節できない。

- AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- シャッタースピード(44ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります(44ページ)。

画面が上下分割されたように見える。

- 連続したフラッシュ光を当てた状態の被写体を撮影すると、画面の上下が分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります。
- ソフトウェア「Content Browser」で修正可能な場合もありますので、お試しください。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- シャッタースピードを調節する(44ページ)。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [DETAIL]を「-」側に調節する(60ページ)。

タイムコードがつかない。

- [HD/SD] SET]や[HD:REC FORMAT]の設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。

再生について

「メモリーカード/フラッシュメモリーユニットについて」(110ページ)もご覧ください。

再生したい画像が見つからない。

画像を再生できない。

- VISUAL INDEX画面上で再生したい画像が記録されている記録メディアと画質を選択する(65ページ)。
- パソコンでフォルダーやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります(静止画再生時はファイル名が点滅)。故障ではありません。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかつたり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません。
- VISUAL INDEX画面を表示して、再生したいサムネイルを2度タッチするか、◀/▶/▶ボタンで再生したいサムネイルを選択して、EXECボタンを押す(66ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(121ページ)。
- フォルダー構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

音声小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(67ページ)。
- [S&Q MOTION]や[SUPER SLOW MOTION]で記録した動画には、音声記録されません。

故障かな？と思ったら(つづき)

静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません。

[— —]が表示される。

- [COLOR BAR]を[ON]にして撮影した動画では、カメラデータがバー表示になります。
- [PHOTO CAPTURE]で作成した静止画では、露出補正值とフラッシュ情報がバー表示になります。

画面上に Multi ch が表示される。

- Multi ch は5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します。

テレビ接続について

コンポーネントビデオケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 接続する機器に合わせて[VIDEO OUT]を正しく設定する(90ページ)。
- コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため、AV接続ケーブルの白と赤のプラグも合わせてつなく(71ページ)。

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- USB接続中は、HDMI出力端子から出力できません。

HDMIケーブルでテレビやプロジェクター、AVアンプにつないで再生するとき、映像や音が出ない。

- HDMIケーブルを使用して、本機とテレビやプロジェクター、AVアンプを接続しても画像や音声が再生されない場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直してください。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。←→ (REC/OUT SET)メニュー → [VIDEO OUT] → [DOWN CONVERT TYPE]で映像信号出力形式を選択してください(91ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。故障ではありません。

コピー/編集/外部機器接続について

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- A/V接続ケーブルを使って接続するときは、[DISPLAY OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(97ページ)。

A/V接続ケーブルを使ってコピーができない。

- A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。A/V接続ケーブルが他機の入力端子へつながれているか確認する。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってコピーができない。

- HDMIケーブルを使ってのコピーはできません。

パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ(107ページ)。

動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むにはソフトウェア「Content Browser」のダウンロードが必要です(108ページ)。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶モニターに、次のように表示されます。

お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C:04:□□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う(123ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□

- 記録メディアを一度取り外し、取り付け直ししてからもう一度操作する。

C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□

- 109ページの②～④の手順をお試しください。

⚡ (バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量表示が10%程度あっても警告表示が点滅することがある。

⚡ (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

📷 (メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、30ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない(30ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか(75ページ)、画像を保存(バックアップ)してから(103、107ページ)、メモリーカードを初期化する(78ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(79ページ)。

📷 (メモリーカード初期化関連の警告)*

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しく初期化されていない(78ページ)。

❗ (非対応メモリーカード関連の警告)*

- 本機で使えないメモリーカードが入っている(30ページ)。

🔒 (メモリーカード誤消去防止に関する警告)*

- メモリーカードの誤消去防止スイッチがロック位置にある。
- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

📷 (フラッシュメモリーユニット関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるフラッシュメモリーユニットについては、31ページをご覧ください。
- フラッシュメモリーユニットが装着されていない(30ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか(75ページ)、画像を保存(バックアップ)してから(103、107ページ)、フラッシュメモリーユニットを初期化する(78ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(79ページ)。

FMU (フラッシュメモリーユニット初期化関連の警告)*

- フラッシュメモリーユニットが壊れている。
- フラッシュメモリーユニットが正しく初期化されていない(78ページ)。

(外付けメディア関連の警告)

- 管理ファイルが壊れている(79ページ)。
- 外付けメディアが壊れている。

(外付けメディアのフォーマット関連の警告)

- 外付けメディアが壊れている。
- 外付けメディアを正しくフォーマットする。それでも表示される場合は、外付けメディアを接続し直したあと、フォーマットする。フォーマットすると、外付けメディアに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- フォーマットに失敗する場合は、本機で対応していない外付けメディアか、もしくは外付けメディアが壊れている可能性があるので交換する。

* [BEEP]が[ON]に設定されていると、警告表示が出るときに、操作音が鳴ります(100ページ)。

お知らせメッセージ

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

記録時間と撮影枚数について

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

満充電からのおよその時間です。

撮影可能時間

(単位:分)

バッテリー型名	連続撮影時		実撮影時	
	60i	50i	60i	50i
NP-F770	185	205	100	125
NP-F970	280	305	155	170

●ご注意

- 録画フォーマット
[60i]選択時:1080/24p FX
[50i]選択時:1080/25p FX
 - E PZ 18-200mm F3.5-6.3 OSSレンズ*使用時
 - ECM-XM1マイクをINPUT1端子に接続して使用したとき
 - メモリーカード使用時
 - 実撮影時とは、撮影スタート/ストップ、電源ON/OFFなどを繰り返したときの撮影時間です。
 - 25℃で使用したときの時間です。
 - 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。10℃～30℃の環境で使用するをおすすめします。
 - 使用状態によって、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- * NEX-FS700RH に付属

再生可能時間

(単位:分)

バッテリー型名	60i	50i
NP-F770	300	305
NP-F970	450	460

動画の撮影可能時間の目安

ハイビジョン画質(HD)

■ [HD] AUDIO FORMATの設定が [LINEAR PCM]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ	LP
16GB	70 (70)	80 (80)	110 (110)	185 (145)	295 (250)
32GB	145 (145)	170 (170)	225 (225)	375 (290)	590 (510)
64GB	290 (290)	340 (340)	450 (450)	750 (590)	1190 (1025)

■ [HD] AUDIO FORMATの設定が [DOLBY DIGITAL]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ	LP
16GB	75 (75)	90 (90)	120 (120)	215 (165)	380 (310)
32GB	150 (150)	180 (180)	245 (245)	440 (330)	770 (630)
64GB	305 (305)	360 (360)	495 (495)	880 (665)	1545 (1260)

標準画質(SD)

(単位:分)

	HQ
16GB	225 (210)
32GB	460 (420)
64GB	920 (845)

- ソニー製メモリーカード使用時

●ご注意

- 撮影可能時間は、撮影環境や、被写体の状態、[REC SET] (90ページ)によっても変わります。
- ()内は最低録画時間です。

👁️ちよっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、ハイビジョン画質(HD)で最大3,999個、標準画質(SD)で9,999個です。
- 動画の連続撮影時間は、約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、記録メディアへの録画時間は変動します。例えば、動きの速い映像は記録メディアの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、記録メディアの録画時間は短くなります。

静止画の撮影枚数

メモリーカード

	3:2(7.0M)	16:9(8.3M)
16GB	4550	4250
32GB	9200	8500
64GB	18000	16500

- ソニー製メモリーカード使用時
- メモリーカードの撮影可能枚数は、本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶モニター上でご確認ください(12ページ)。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。

👁️ちよっと一言

- 各録画モードのビットレート(動画+音声など)、画素数およびアスペクト比は以下のとおりです。
 - HD画質
 - PS:最大28Mbps 1,920×1,080画素/16:9
 - FX:最大24Mbps 1,920×1,080画素/16:9、1,280×720画素/16:9
 - FH:約17Mbps(平均) 1,920×1,080画素/16:9、1,280×720画素/16:9
 - HQ:約9Mbps(平均) 1,440×1,080画素/16:9
 - LP:約5Mbps(平均) 1,440×1,080画素/16:9
 - SD画質
 - HQ:約9Mbps(平均) 720×480画素/16:9、4:3

- 静止画記録画素数およびアスペクト比




- 静止画撮影
 - 3,840×2,160ドット/16:9
 - 3,248×2,160ドット/3:2
- 動画から静止画作成
 - 1,920×1,080ドット/16:9
 - 640×360ドット/16:9
 - 640×480ドット/4:3

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50/60Hz）で使えます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因になることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米	 主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

テレビで見るには

本機で撮影した動画をテレビで見るには、あらかじめ[60i/50i SEL]をご覧になる国や地域で採用されているテレビ方式に合わせて設定して撮影してください。[60i]、[50i]それぞれの設定で見られる国と地域は下記の通りです。

[60i/50i SEL]を[60i]に設定すると見られる国と地域

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

[60i/50i SEL]を[50i]に設定すると見られる国と地域

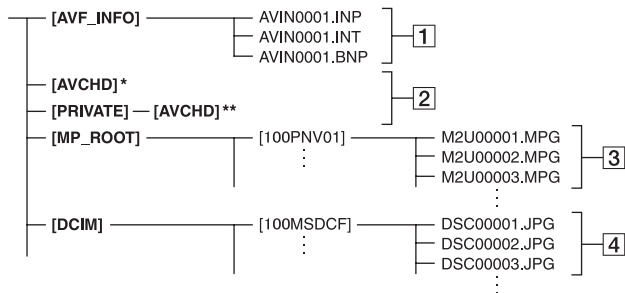
アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラク、イラン、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、オーストラリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、クウェート、クロアチア、シンガポール、スウェーデン、スイス、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、パラグアイ、ハンガリー、フィンランド、ブラジル、フランス領ギアナ、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、モナコ、ルーマニア、ロシアなど

時差補正機能について

海外で使うとき、[AREA SET]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます（100ページ）。

メモリーカード/フラッシュメモリーユニットの ファイル/フォルダー構成

本機の記録メディア上のファイル/フォルダー構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。



* “メモリースティック PRO デュオ”、フラッシュメモリーユニット

** SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

フォルダーが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。フォルダー名は、「100MSDCF」→「101MSDCF」のように繰り返されます。

1 画像管理用ファイル

削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。

隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 HD 動画管理情報フォルダー

本フォルダー以下にハイビジョン画質(HD)の動画用の記録データが保存されます。パソコンから本フォルダーや、本フォルダー内のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

3 SD 動画ファイル(MPEG-2 ファイル)

拡張子は「.MPG」で、ファイルサイズの上限は2GBです。2GBを超えると自動でファイルが分割されます。ファイル名末尾の番号は自動で繰り返されます。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダーが作成されて、新しい動画ファイルはそちらに記録されます。フォルダー名は、「100PNV01」→「101PNV01」のように繰り返されます。

4 静止画ファイル(JPEG ファイル)

拡張子は「.JPG」で、ファイル名末尾の番号は自動で繰り返されます。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しい

- パソコンから本機のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。
- パソコンから本機の記録メディア上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、75ページの手順で行ってください。パソコンから本機の記録メディア内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機の記録メディアをフォーマット(初期化)しないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンから本機の記録メディアにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 記録メディアのデータをパソコンに取り込むには、付属のソフトウェア「Connect Management Utility」をご使用ください。

使用上のご注意とお手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、HD（ハイビジョン）信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、またはリニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがあります。故障ではありません。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、HD（ハイビジョン）記録ができます。また、AVCHD規格でのHD（ハイビジョン）記録に加え、従来のMPEG-2規格で標準（SD）記録することもできます。

映像*：MPEG-4 AVC/H.264

[60i] 選択時

1920×1080/60p、1920×1080/60i、
1920×1080/24p、1280×720/60p、
1440×1080/60i

[50i] 選択時

1920×1080/50p、1920×1080/50i、
1280×720/50p、1440×1080/50i

音声：ドルビーデジタル 2ch、リニアPCM 2ch

記録メディア：メモリーカード、フラッシュメモリーユニット（別売）

- * 本機は、上記以外の AVCHD 規格で記録されたデータの再生には対応していません。

メモリーカードについて

- パソコン（Windows OS/Mac OS）でフォーマット（初期化）したメモリーカードは、本機での動作を保証いたしません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
 - － 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中（アクセスランプが点灯中および点滅中）に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
 - － 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因になります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - － 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - － 直射日光のあたる場所
 - － 湿度の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリーカードアダプターの使用について

- メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分だと正常に動作しない場合があります。

画像の互換性について


- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、78ページの手順に従い、本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ

“メモリスティック”について

“メモリスティック”の種類	記録/再生
“メモリスティック デュオ”(マジックゲート対応)	—
“メモリスティック PRO デュオ”(Mark2)	○
“メモリスティック PRO-HG デュオ”	○

- 本機はパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメディアによって転送速度は異なります。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)の高容量バッテリーNP-F770/F970(別売)がお使いいただけます。NP-F570はお使いいただけません。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズにはInfoLITHIUM  マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売のチャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じたバッテリー残量を%単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、チャージャーの充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた






- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - 高容量バッテリー(NP-F770/F970(別売))を使う。
- 本機で撮影や再生をしないときは、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前のためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- 液晶モニターの残量表示マークと%表示で確認してください。

残量表示マーク	%表示
	61%～100%
	41%～60%
	21%～40%
	1%～20%
	—

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命とされますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ほこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶モニターやファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
液晶モニターやファインダー内部を傷めます。

■ 長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと

- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶モニターの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。故障ではありません。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ


液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。

■ タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。

このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

- ① MENU ボタンを押す → SEL/PUSH EXEC ダイアルで、 (OTEHRS) × ニュー → [CALIBRATION] を選択する。



- ② メモリーカードの角のような先の細いものを使って画面に表示される×マークを3回タッチする。

❗ご注意

- 正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。
- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶モニターを傷つける場合があります。
- 液晶モニターを反転させているときや、反転したまま本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類の使用。
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながらない、またはバッテリーを入れないまままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

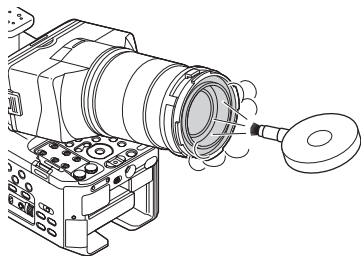
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF」にして24時間以上放置する。

ファインダーのお手入れについて

接眼部の内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブローブラシなどで取り除く。



記録メディアを廃棄・譲渡するときの注意

本機やパソコンの機能による[MEDIA FORMAT]や「DELETE」では、記録メディア内のデータは完全に消去されないことがあります。記録メディアを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、記録メディアを廃棄するときは、記録メディア本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

信号方式	NTSCカラー、EIA標準方式 HDTV 1080/60i、1080/60p、 720/60p方式 PALカラー、CCIR標準方式 HDTV 1080/50i、1080/50p、 720/50p方式
ビデオ記録方式	HD画質：MPEG-4 AVC/H.264 AVCHD規格Ver.2.0準拠 SD画質：MPEG-2 PS
音声記録方式	リニアPCM 2ch(48kHz 16bit) Dolby Digital 2ch(48kHz 16bit) ドルビーデジタルステレオクリ エーター搭載
静止画ファイルフォーマット	DCF Ver.2.0準拠 Exif Ver.2.3準拠 MPF Baseline準拠
記録メディア(動画・静止画)	“メモリスティック PRO デュ オ” フラッシュメモリーユニット SDカード(Class 4以上)
撮像素子	“Exmor” Super35 CMOSセン サー 25.5mm×15.6mm 総画素数：約1160万画素 動画有効画素数：約830万画素 (16:9) 静止画有効画素数：約840万画素 (16:9)、約710万画素(3:2) 静止画記録画素数：約830万画素 (16:9)、約700万画素(3:2)
色温度切り換え	オート ワンプッシュ(A, B) 屋内(3 200K) 屋外(5 800K)
最低被写体照度	1.2 lx(ルクス)* シャッタースピード固定(1/24)、 オートゲインコントロール、アイ リスオート([60i]選択時) 1.5 lx(ルクス)* シャッタースピード固定(1/25)、 オートゲインコントロール、アイ リスオート([50i]選択時)

* E PZ 18-200mm F3.5-6.3 OSS 使用時

入/出力端子

VIDEO OUT 端子	ピンジャック 1Vp-p、75Ω不平衡、同期負
AUDIO OUT 端子	ピンジャック -10dBu(47kΩ負荷時)、 出カインピーダンス2.2kΩ以下 (0dBu=0.775Vrms)
COMPO- NENT OUT 端子	ミニD端子 Y: 1Vp-p、75Ω Pb/Pr. Cb/CR: 0.7Vp-p、75Ω
リモート端子	ステレオミニミニジャック (φ2.5mm)
HDMI OUT 端子	HDMIコネクター(タイプA)
SDI OUT 端子	BNC SMPTE259M/292M/424M/ 425M規格準拠
USB端子	mini-AB
⌚(ヘッドホ ン)端子	ステレオミニジャック (φ3.5mm)
INPUT1/ INPUT2端子	XLR型3ピン×2、 MIC: -48dBu: 3kΩ LINE: +4dBu: 10kΩ (0dBu=0.775Vrms)

液晶モニター

画面サイズ	8.8cm(3.5型、アスペクト比 16:9)
総ドット数	921 600ドット 横1 920×縦480

主な仕様(つづき)

電源部、その他

電源電圧	DC7.2V(バッテリーパック使用時) DC7.6V(ACアダプター使用時)
消費電力	マイク(ECM-XM1)、液晶モニター使用、明るさ標準、E PZ 18-200mm F3.5-6.3 OSS*使用で録画中: [60]選択時:9.9W [50]選択時:9.0W フラッシュメモリーユニット HXR-FMU128使用時は、消費電力が約1.1W増えます。
動作温度	0℃～40℃
保存温度	-20℃～+60℃
本体外形寸法(突起部含む)	約145mm×178.5mm×253.5mm(幅×高さ×奥行き)
撮影時外形寸法(突起部含む)	約195.5mm×202.5mm×569.5mm(幅×高さ×奥行き) (レンズ*、レンズフード*、大型LCDビューファインダー、大型アイカップ、ハンドル、マイク(ECM-XM1)、グリップ(ベルト無し)含む)
本体質量	約1 680g
撮影時総質量	約3 220g (バッテリーパック(NP-F770)、レンズ*、レンズフード*、大型LCDビューファインダー、大型アイカップ、ハンドル、マイク(ECM-XM1)、グリップ(ベルト無し)含む)

* NEX-FS700RH に付属

ACアダプター AC-PW10

定格入力	AC100V-240V、50Hz/60Hz
消費電力	24W
定格出力	DC7.6V*
動作温度	0℃～40℃
保存温度	-20℃～+60℃
外形寸法(突起部除く)	約127mm×35mm×63mm(幅×高さ×奥行き)
本体質量(電源コード除く)	約300g

* その他仕様については、ACアダプターのラベルをご覧ください。

E PZ 18-200mm F3.5-6.3 OSS (NEX-FS700RHに付属)

レンズ	Eマウントレンズ
35mmカメラ換算	(16:9):30.6mm～340mm (3:2):34.2mm～380mm
F値	F3.5～F6.3
手ブレ補正	光学シフト2軸リニア駆動+ホール素子
最短撮影距離*	0.30m(W)～0.50m(T)
最大撮影倍率	0.35倍
最小絞り	F22～F40
フィルター径	67mm
外形寸法(最大径×長さ)	約93.2mm×99.0mm
質量	約649g

* 最短撮影距離とは、イメージセンサー面から被写体までの最短距離を表します。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このレンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用商品相談窓口のご案内”にあるお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はレンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、レンズ*は7年間、本体は8年間保有しています。

この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合もありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

* NEX-FS700RHのみ

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

A行

アイリス.....	42
アフターサービス.....	129
インフォリチウムバッテリー.....	123
大型アイカップ.....	29
屋外.....	46
屋内.....	46
お知らせメッセージ.....	117
主な仕様.....	127
音量.....	54, 67

カ行

海外で使う.....	120
顔認識.....	38
拡大フォーカス.....	37
画面表示.....	12, 69
画面表示出力.....	97
管理ファイル.....	79
記録画質.....	42
記録時間.....	118
グリップ.....	26
警告表示.....	116
ゲイン.....	43
結露.....	124
故障かな?と思ったら.....	109
コピー.....	76
コンセント.....	19

サ行

再生.....	65
削除.....	75
撮影.....	32
撮影枚数.....	118
自己診断表示.....	116
視度調整リング.....	29
シャッタースピード.....	44
充電時間.....	19
充電ランプ.....	18
出力解像度.....	72
準備.....	16
目標.....	133

初期化.....	78
スーパースローモーション.....	50
ズーム.....	35
ステータスチェック.....	70
スポットフォーカス.....	38
スロー&クイックモーション.....	48
静止画.....	34
静止画作成.....	77
接続	
外付けメディアに.....	103
テレビに.....	71
パソコンに.....	107
ブルーレイディスクレコーダーに.....	105
レコーダーに.....	106

タ行

チャージャー.....	18
データコード.....	69
テレビ.....	71
電源コード.....	18
動画.....	32
同時記録.....	33
ドロップフレーム.....	97

ナ行

内蔵充電式電池.....	126
--------------	-----

ハ行

バッテリー.....	18
ピクチャープロファイル.....	55
日付時刻.....	12, 28
日付時刻合わせ.....	27
フォーカス.....	36
フォーカストランジション.....	39, 88
フォーカスホールド.....	37
付属品.....	16
プッシュオートフォーカス.....	37
ブラックバランス.....	47

フラッシュメモリーユニット.....	31
プロテクト.....	74
分割.....	74
ヘッドホン.....	54
保証書.....	129
ボタン電池.....	11
ホワイトバランス.....	46

マ行

マウントアダプター.....	22
メニュー.....	80
一覧.....	82
AUDIO SET.....	92
CAMERA SET.....	85
DISPLAY SET.....	93
OTHERS.....	99
REC/OUT SET.....	90
TC/UB SET.....	97
メニューの使いかた.....	80
メモリーカード.....	122
入れる/取り出す.....	30
“メモリースティック”.....	123
“メモリースティック PRO デュオ”.....	123

ラ行

ラストシーンレビュー.....	63
リチャージャブルバッテリーバック.....	バッテリーへ
リモコン.....	11, 101
レンズ.....	20, 125
録画.....	32

ワ行

ワイヤレスリモコン.....	リモコンへ
----------------	-------

数字

24p/30p OUTPUT.....	90
25p OUTPUT.....	91
60i/50i SEL.....	101

A

ACアダプター	19
ACTIVE	87
AE SHIFT	87, 112
AF MICRO ADJUSTMENT	88
AGC LIMIT	86
AMOUNT	88
AREA SET	100
ASPECT	94
ASSIGN BUTTON	63
AUDIO LEVEL DISPLAY	96
AUDIO LIMIT	92
AUDIO SETメニュー	92
AUTO ISO LIMIT	86

B

BEEP	100
BLACK BALANCE	47
BLACK GAMMA	57
BLACK LEVEL	57

C

CALIBRATION	125
CAMERA DATA DISPLAY	95
CAMERA PROFILE	99
CAMERA SETメニュー	85
CENTER	94
CLEAR ALL	88
CLOCK SET	27
COLOR BAR	89, 112
COLOR DEPTH	59
COLOR LEVEL	58
COLOR MODE	58
COLOR PHASE	59
COPY	76

D

DATE REC	100
DELETE	75
DETAIL	60

DF	97
DISPLAY OUTPUT	97
DISPLAY SETメニュー	93
DIVIDE	74
DOWN CONVERT TYPE	91

E

EXPANDED FOCUS MAG	95
--------------------	----

F

FACE DETECTION	38
FOCUS DISPLAY	96
FOCUS TRANSITION	39, 88
FREE RUN	98

G

GAIN SET	85
GAIN/ISO SEL	85
GAMMA	57
GUIDEFRAAME	95

H

HD AUDIO FORMAT	92
HD REC FORMAT	41
HD SIMULTANEOUS REC	33
HD/SD SET	42
HDMI TC OUT	91
HEADPHONE OUT	92
HISTOGRAM	93
HOLD SW MODE	101

I

IMAGE SIZE	42
INDOOR	46
InfoLITHIUMバッテリー	123
INPUT1 TRIM	92
INPUT1 WIND	93
INPUT2 TRIM	93
INPUT2 WIND	93

ISO SET	86
ISO感度	43

K

KNEE	58
------	----

L

LANGUAGE	100
LAST SCENE	63
LCD BRIGHT	96

M

MANU WB TEMP	46
MARKER	94, 112
MEDIA FORMAT	78
MEDIA SELECT	34
MIC+48V	52

N

NDフィルター	45
NDF	97

O

OPERATION TIME	101
OTHERSメニュー	99
OUTDOOR	46
OUTPUT SELECT	90

P

PEAKING	94, 112
PHOTO CAPTURE	77
PROTECT	74

R

REC LAMP[F]	100
REC LAMP[R]	101
REC LINK	88
REC RUN	98
REC SET	90
REC/OUT SETメニュー	90
REMOTE CONTROL	101

索引(つづき)

REPAIR IMAGE DB FILE
..... 79
RESETボタン 9

S

S&Q BUTTON SETTING
..... 99
S&Q MOTION..... 48
SAFETY ZONE 95
SD WIDE CONVERT..... 91
SD WIDE REC 90
SDI/HDMI/COMPONENT
..... 90
SHUTTER DISPLAY 96
SLOW & QUICK 48
SPOT FOCUS..... 38
START TIMER..... 88
STEADYSHOT 87
SUMMERTIME..... 100
SUPER SLOW MOTION
..... 50

T

TC FORMAT 97
TC MAKE..... 98
TC PRESET 61, 112
TC RUN 98
TC/UB SETメニュー..... 97
TONE..... 89
TRANSITION TIME 88

U

UB PRESET 62
UB TIME REC..... 98
USB CONNECT..... 101

V

VERSION DISPLAY 102
VIDEO OUT 90

W

WB OUTDOOR LEVEL
..... 87
WB PRESET 87

WB SHIFT 59
WB TEMP SET..... 87


X

XLR AGC LINK..... 92
XLR SET 92

Z

ZEBRA 94, 112
ZOOM DISPLAY 96

商標について

- “NXCAM” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、、“メモリースティック デュオ”、“MEMORY STICK Duo”、“メモリースティック PRO デュオ”、“MEMORY STICK PRO Duo”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、“MEMORY STICK PRO-HG Duo”、“マジックゲート”、“MAGIC GATE”、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリースティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート メモリースティック デュオ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™及びBlu-ray™はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby,ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft, WindowsはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac, Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel, Intel Core, Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe, Adobe logo, Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所: 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています:

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといひます)にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO(消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、CD-ROMの「LICENSE」フォルダ内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードするには、以下のURLにアクセスし、モデル名NEX-FS700Hをお選びください。

<http://www.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、CD-ROMの「LICENSE」フォルダ内にあるファイルをご一読ください。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

© 2013 Sony Corporation

Printed in Japan

